

第三十七回 帝國議會 貴族院議事速記錄第十號

行政裁判法中改正法律案
議院法中改正法律案

同日本院ニ於テ可決シタル左ノ政府提出案ハ即日之ヲ衆議院ニ送付セリ

郵便法中改正法律案

鐵道船舶郵便法中改正法律案

電信法中改正法律案

海底電信線保護萬國聯合條約罰則改正法律案
同日請願委員長ヨリ左ノ報告書ヲ提出セリ

請願文書表第七回報告書
一昨十日委員長ヨリ左ノ報告書ヲ提出セリ

華族世襲財產法改正法律案修正報告書
請願委員會特別報告第四號

同日衆議院ヨリ左ノ政府提出案ヲ受領セリ

銀行條例中改正法律案
貯蓄銀行條例中改正法律案

商業會議所法中改正法律案
同日衆議院ヨリ左ノ法律案ヲ提出セリ

齒科醫師法中改正法律案

商社上地下戻ニ關スル法律案

軍人恩給法中改正法律案

○議長(公爵徳川家達君) 是ヨリ本日ノ會議ヲ開キマス、議事日程第一、大正五年度歲入歲出總豫算案並大正五年度各特別會計歲入歲出豫算案、第二、豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スヲ要スル件、第三、大正五年度特別會計歲入歲出豫算追加案、特第一號、會議、委員長報告、豫算委員長岡部子爵要スル件、第四、國籍法中改正法律案(政府提出)

第五、北海道會法中改正法律案(政府提出、衆議院送付)

第六、華族世襲財產法改正法律案(政府提出) 第一讀會ノ續(委員長報告)

第七、砂糖消費稅法中改正法律案(政府提出、衆議院送付) 第一讀會ノ續(委員長報告)

第八、私立學校及公益法人ノ用地免租ニ關スル法律案(衆議院提出)

第九、市制中改正法律案(衆議院提出)

第十、町村制中改正法律案(衆議院提出)

第十一、府縣制中改正法律案(衆議院提出)

○議長(公爵徳川家達君) 是ヨリ諸般ノ報告ヲ致サセマス
〔長谷川試補朗讀〕

去ル九日本院ニ於テ可決シタル左ノ政府提出案ハ即日裁可ヲ奏請シ又可決ノ旨ヲ衆議院ニ通知セリ

東京砲兵工廠及大阪砲兵工廠ノ据置運轉資本增加ニ關スル法律案

朝鮮森林特別會計法廢止法律案

朝鮮事業公債法中改正法律案
會計檢查院法中改正法律案

ノナリト議決セリ依テ及報告候也

大正五年二月八日

貴族院議長公爵徳川家達殿

豫算委員長
子爵岡部長職

一大正五年度特別會計歲入歲出豫算追加案(特第一號)
右衆議院ヨリ送付シタル案ヲ審査シ衆議院議決案ノ通可決スヘキモノナリ
ト議決セリ依テ及報告候也

大正五年二月八日

豫算委員長
子爵岡部長職

豫算委員長
子爵岡部長職

貴族院議長公爵徳川家達殿

〔子爵岡部長職君演壇ニ登ル〕
〔男爵久保田讓君發言ノ許可ヲ求ム〕

○議長(公爵徳川家達君) 久保田君ハ何デスカ
○男爵久保田讓君 豫算委員長ノ報告前ニチヨット・・今日ノ豫算ノ會議ニ
國務大臣ハ誰モ出席ハゴザイマセヌカ
○議長(公爵徳川家達君) 必ズ出席セラルコトト考ヘマス
○男爵久保田讓君 出席ガアリマシテカラ報告ガアリマシタ方ガ宜カラウト
思ヒマスガ、如何デゴザイマスカ

〔「賛成」ト呼フ者アリ〕

○子爵岡部長職君 唯今日程ニ上リマシタ所ノ大正五年度歲入歲出總豫算其
他三案デゴザイマスルガ、便宜ノ爲ニ之ヲ一括イタシテ審査ノ經過並ニ結果
ヲ御報告イタシタ考ヘマス、豫算ノ大體ニ付キマシテハ昨暮豫算委員ニ
各案ヲ付託相成リマシタ節ニ、大藏大臣ヨリ大體ニ付キマシテ説明スル所ガ
アリマシテ、諸君ノ御聽取ニナリマシタルコトデアリマスルカラ、大體ニ付キマ
第一號ハ去ル一月十七日ノ本議ニ於テ豫算委員ノ方ニ付託ニ相成リマシタル案
デゴザイマス、豫算委員會ニ於キマシテハ一月二十日ヨリ二十四日マデ連日

質問ノ會議ヲ開キマシテゴザイマス、此間各委員ヨリノ詳細ナル質疑又ソレ
ニ對スル政府側ヨリノ答辯モ丁寧反覆十分ニ盡サレタコトデアリマス、二十四日
ノ會議ノ終ニ於キマシテ一先ツ質問ヲ終結イタシタモノト見マシテ、各案ノ
審査ヲ分科ニ付託イタシマシテゴザイマス、其分科ノ審査期限ハ本月ノ三日
ト云フコトニ取極メマシテゴザイマス、各分科ニ於キマシテハ熱心ニ審査ニ
從事イタシ、分科會ハ其數ヲ重ネマシタニ拘ラズ、審査上日數ニ於テ不足ヲ
告ゲマスコトニ相成リマシテ、分科會ノ審査期限ヲ三日ヨリ五日マデ延長イ
タスコトニ委員會ニ於キマシテ取極メマシタ次第デアリマシテ、其結果ト致
シテ委員會ノ審査期日ヲ曩ニ本月ノ五日ト定メテ置キマシタル所、本月ノ八
日マデ延期ノコトヲ過日本議ニ於テ諸君ノ御贊同ヲ得マシテ、去ル八日ヲ以
チマシテ議長ノ御手許マデ報告ヲ了リマシタ次第デゴザイマス、各分科會ヨ
リ報告ガ集リマシタニ付キマシテ、去ル七日八日ノ兩日委員會ヲ開會イタシマ
シテ、各案ノ審査ヲ進メマシタ次第デアリマシタ、其結果必要ノ件ト認メマス
ル數箇ノ希望箇條ヲ加ヘマシテ、豫算案ト共ニ此議決ヲ致シテ政府ノ考慮ヲ
求メマスルコトニ致シマシタノデゴザイマス、而シテ豫算各案ニ於キマシテ
ハ一ノ修正ヲモ加ヘズ、衆議院ヨリ送付イタシマシタル所ノ案ヲ總テ可決イ
タシマシタ次第デゴザイマス、唯今申述ベマシタル數箇ノ要件ト申シマスル
モノハ、是ハ後ヨリ御聽キニ達シマセウト存ジマス、審査ノ經過ヲ概略申上げ
マスル順序ト致シテ、先づ委員會ニ於ケル質問中ノ最モ重モナルモノヲ、最
モ簡單ニ申上ゲヤウト存ジマス、各委員ヨリ質問ヲ致サルル便宜ノ爲ニ、質問
ノ初メニ部門ヲ分チマシタ、即チ財政部、外交部、軍事部、其他各種ノ質問
ト、斯ウ四ツニ大別ヲ致シマシテ、財政部ヨリ始メマシテ唯今申述ベマシタ
所ノ順序ヲ逐ウテ質問ヲ進行イタシマシタノデアリマス、其質問ノ概略ヲ申
述ベマスレバ左ノ如クデゴザイマス、大正四年度實行豫算ノ實施上大ナル齟
齬ヲ來シタル事由ハ如何ナルモノデアルカ、ソレニ對スル政府ノ答辯ハ、時
局ノ永續ヲ豫期セザリシヲ以テ、豫想以上ニ歲入ヲ減少セシメタノデアル、
其最モ著シキモノハ關稅及酒稅デアルト答ヘラレマシタ、又國債償還ノ爲
ニスル追加豫算案ヲ總豫算案ヨリ遲レテ提出シタル事由ハ如何ナモノデアル
カ、其問ニハ、果シテ總豫算編製ノ時期ニ於テ正貨ノ激増明カデハナカッタ
ノデアルカ、又當時ハ國內ニ於テ國債借換ノ見込ガ確實ナラザリシコトデ
アツタカト云フヤウナ問デアリマシタ、答ハ、政府ハ正貨問題ヲ忽ニセズ、

然レドモ正貨ノ激増ハ九月十月頃ガ最モ著シク見エテ來タ時デアッタ、又政府ハ佛貨公債買入償還ノ計畫ヲ立テタノデアル、而シテ十二月ニ至リテ漸ク買入レノ見込ガ確實ト相成シタガ故ニ、ソレヲ機トシテ内債募集ノ計畫ヲ發表シタ譯デアル、斯ウ云フ答デゴザイマス、八四艦隊ノ建造ニ必要ナル材料ヲ得ルノ方法ハドウデアルカ、其答ニ、財政状態常道ヲ逸スルヲ以テ、是ガ財源ハ必ズ今日ニ於テ確定スルノ要ナシ、大正六年度豫算ノ編製ニ際シテハ最善ノ力ヲ致サムト云フ考デアル、財源ヲ得ルノ途ハサウ多岐ノモノデハナイ、平和ガ速ニナレバ歲入ノ自然増加モアラム、又速ニナラザレバ歲出ヲ減ズルカ、歲入ヲ増加スルノ外ニハ致シ方ガナイノデアルト云フ答デアリマシタ、而シテ是ガ實施ニ關シテハ大正六年度豫算ノ編製ニ適當ノ計畫ヲナスコトヲ期スル譯合デアル、八四艦隊ノ建造ニ必要ナル經費ハ大正六年度豫算案ニ繼續費トシテ計上セラル積リデアルカ、答、六年度ニ於テ建造ニ著手スペキ艦艇製造費ハ六年度以後ノ繼續費トシテ豫算案ニ計上スルモ、七年度以後ニ著手スペキモノニ對シテハ六年度豫算ニ計上スベキヤ否ヤハ未定デアル、又問ニ、海軍大臣ハ大藏大臣ノ言ヲ信ジテ大正六年度ヨリ艦艇建造ノ根本的計畫ヲ立タルコトヲ期セラレタ、然ラバ大正六年度豫算案ニ於テ全部ノ繼續費ヲ計上スベキニアラズヤト云フ問デゴザイマス、其答ニ、豫算編製ノ方法ハ未定ナルモ、成ルベク大正六年度ノ豫算案ニ全部ノ計畫ヲ繼續費トシテ計上セムコトヲ希望スル、是ガ答デゴザイマスル、又問ニ、大正五年度ニ於ケル海軍艦艇建造費豫算ノ編製方法ハ謂ハユル准繼續費トモ稱スルモノニシテ、批難スベキ方法デハナイカ、ソレニ答ヘテ、サウデハナイ、艦艇ノ竣工ニ要スル經費ハ大正五年度ヨリ大正八年度ニ至ルマデ悉ク計上シテアレバナリ、鐵道資金二千萬圓ハ一般歲入ヨリノ借入ヲ廢シテ公債ニ依ラシメ、減債基金ノ還元ヲナサバ如何、答、國債整理基金二千萬圓ノ増額ハ鐵道ノ資金ヲ公債ニ依ルコトヲ前提トス、而シテ經濟社會ノ狀態ニシテ鐵道公債ノ募集ヲ許スモノトセバ大ニ希望スルコトデアルト云フ答デアリマス、尙ホ答ガ續イテ居リマス、然ルニ既ニ七千萬圓ノ公債ヲ募集セリ、更ニ近ク二千萬圓ヲ募集スルハ經濟界ニ惡影響ナカラズヤラシタル、是ニハ熟考ヲ要スルモノデアル、加之現下ノ變狀ヲ呈セル經濟狀態ニアツテハ鐵道公債ノ募集ハ早計ト考ヘル、國債整理基金ノ增加ヲナセバ之ニ依テ償還スベキ一般會計ノ負擔スベキ英貨公債ノ償還ニ充テザルベカラズ、斯ノ如キハ佛貨公債ノ償還ニ比シテ甚シク不利益

デアル、英貨公債償還年額ハ經驗上三千萬圓内外トス、五千萬圓ノ償還ヲナスガ爲ニハ不利ナル抽籤償還ニ依ラネバナラヌ、之ニ反シテ一億法ノ佛貨公債ヲ償還スル方ガ比較的有利デアル、是レ政府ガ大正五年度ノ豫算案ニ於テ鐵道資金ヲ一般會計ノ借入ニ仰ギ、内債ヲ募集シテ佛貨公債ノ償還ヲ計ル所トデアル、是ガ財政ニ關スル質問並ニ答辯デゴザイマス、次ニハ外交ニ付テノ質問答辯モ隨分ゴザイマシタガ、此質問ノ重モナルモノハ既ニ本議場ニ於テ議員ト政府トノ間ニ問答ガゴザイマシテ、諸君モ御聽ニナシテ居リマスコトデモアリマスシ、又其他ノ細カイコトニ付キマシタハ委員會ニ於キマシテモ、之ヲ祕密會ト致シテ説明ヲ求メマシタコトガゴザイマス、併シ是ハ唯今此處ニ列ネテ御報告ヲ致シマスコトハ却テ諸君ノ御分リモ如何カト存ジマス、又祕密會ノコトハ此處デ申上ゲル譯ニモ參リマセヌカラ外交ニ關スルコトハ省キマセウト思ヒマス、特ニ御尋デモゴザイマスレバ、其事毎ニ付テ御答ヲ致シ得ルコトハ御答ヲ致ス方ガ宜カラウト存ジマス、次ニ軍事ニ關スル質問、是モ種々ゴザイマシタガ、其主要ナルモノハ矢張リ八八艦隊ト八四艦隊トノ比較、又其計畫ヲ遂行セムトスルニ必要ナル財源ハ如何、ト申スヤウナルコトガ一番ノ問題デゴザイマシタ、又造船ニ付テモ其材料ノ價格等ニ付テハ時局ノ推移ニ付テ將來非常ナル變動ガ起ルデアラウガ、ソレニ付テ政府ハドウ云フ考ヲ有フテ居ラルルカト云フ質問デアル、ソレニ付テ政府ノ答辯ガゴザイマシタノデアリマス、先づ軍事ニ關シマシテハ極ク重モナル質問ハ唯今申述ベマシタ位ノモノト考ヘマス、或ハ多少唯今記憶ニ漏レテ居リマシタコトガゴザイマスカモ知レマセヌガ、ソレハ御質問ニ應ジテ御答ヲ致シタ方ガ宜カラウト存ジマス、其次ニハ其他ノ質問ト云フノデゴザイマス、是ニモ色ニゴザイマシタガ、其重モナルモノハ航空學ノ講座ヲ帝國大學ニ設クル爲ニ必要ナル經費ヲ要求セザルハ如何ナル譯デアルカ、答ニ右ハ必要ナル施設ト認ムルガ財政ノ都合上豫算ニ計上シナカツタノデアル、併ナガラ政府ハ段々考慮ノ結果、航空學講座設置ノ爲ニ必要ナル經費ヲ大正五年度ノ追加豫算ニ計上シテ議會へ提出スル積リデアルト、次ニ教育ニ關スル質問、大正二年三月貴族院ハ政府ニ建議シテ有力ナル教育調査機關ヲ設ケテ教育ノ主義方針ト其制度等ヲ調査セシメ國家百年ノ大計ヲ定メムコトヲ要求シタリ、是ガ調査機關タル教育調査會ノ決議ハ屢々動搖矛盾シ、又同一内閣ニ於テモ文部大臣ノ更迭毎ニ學制ニ關スル方針ノ異ナレルハ如何、其答ニ、教育調査會ノ

決議ハ前後必シモ矛盾セズ、又文部大臣ノ學制上ノ意見ハ成ルベク教育調査會ノ決議ヲ尊重スルノ趣旨ニ出デタリト雖モ多少相違スルコトナシトセズ、是レ文部大臣ノ更迭ナキ場合ニ於テモサウ云フヤウナコトハアルト云フ答デゴザイマシタ、國定教科書編纂ノ方法ヲ廢スベシトノ意見ヲ有セラルルヤ否ヤト云フ間ニ對シテ、現在ノ編纂方法ヲ廢止スル考ハナイ、併ナガラ國定教科書ノ弊ハ教科書ヲ單調ニ陷ラシムル虞ガアル、依ッテ現在ノ制度ノ下ニ多少ノ改良ヲ加ヘムトスル考デアルト、鐵道ノ軌制ニ關スル質問、明治四十四年頃ニ貴族院ノ豫算委員會ニ於テ軌制ニ關シテ希望シタルコトガアル、政府ノ意向ハ如何ニ決定ヲナシタルヤト云フ間ニアリマス、其答ニ未ダ廣軌制ヲ實行スル時期ニ達セズト認ムル、而シテ是ガ實行如何ニ付テハ目下案ヲ具シテ廟議ノ決定ヲ待チソツアル場合デアルト云フコトニアリマシタ、然ラバ軌制ニ關スル方針及是ガ廟議ノ決定時期ハイツ頃ニアラウカ、其答ニ廣軌制ヲ必要ト認ムト雖モ財政ノ關係上十分ニ之ヲ實施スルコトヲ得ズ、依ッテ財政ノ現狀ニ鑑ミ先ヅ東京下關間ニ著手シ、漸次他ニ及バムトスル案ヲ目下大藏省ト協議中ナリ、而シテ本會期中ニ是ガ案ヲ提出セムト希望イタシテ居ルノデアル、是ハ大隈總理大臣ノ答ト茲ニ記シテ居リマスデゴザイマス、官業整理ニ關スル調査ノ結果ハドウデアル、調査會ハ成ルベク民業ニ移スノ方針ヲ執テ居ル、是ノ調査ハ既ニ進捗セルモ歐洲戰亂ノ影響ヲ受ケテ未ダ實施ニ至ラヌノデアル、先ヅ質問ノ重モナルモノハ唯今申述べマシタ位ノ所デアルト記憶イタシテ居リマス、其質問ガ終リマシテカラ、各案ヲ各分科ニ付託ヲ致シマシタノデゴザイマス、而シテ分科會ハ去ル五日ヲ以テ委員長ノ手許マデ審査ノ結果ヲ報告ニ相成リマシタ、去ル七日竝ニ八日ノ兩日ニ委員總會ヲ開キマシテ、各主査ノ報告ヲ聽取イタシテ、尙ホ審議ノ結果各案ヲ議了イタシマシタ次第アリマス、主査ノ報告ハ中ミ長クゴザリマシテ、速記錄ヲ御覽相成マス、第一分科主査ノ報告ノ中少シ朗讀ヲ致シマス、「五日ノ日ニ愈々討論採決ヲスルト云フ場合ニナリマシタ、此場合ニ於テ大藏大臣ニ對シテ質問ガ起シタルニアリマス、ソレハ昨年ノ臨時議會ニ於テ國債整理基金ヲ一千萬圓減ジスルニ際シマシテ其極ク必要ト感ジマスル所ノ部分ヲ朗讀ヲ致シタイト考ヘマス、第一分科主査ノ報告ノ中少シ朗讀ヲ致シマス、「五日ノ日ニ愈々討論採決ヲスルト云フ場合ニナリマシタ、此場合ニ於テ大藏大臣ニ對シテ質問ガ起シタルニアリマス、即チ一般會計ヨリ鐵道會計へ貸付ケルコトヲ廢メルト云フ説デアリマス、而シテ其削ッタ所ノ二千萬圓ハ大藏省ノ歲出ノ部ニアリマスル所ノリマシタ、時ノ大藏大臣若槻君カラシテ他日經濟事情ガ公債ヲ募リ得ル場合

ニナツタナラバ、成ルベク之ヲ元ニ返スヤウニ致シマセウト云フコトヲ言明セラレマシテ、貴族院ハ其言責ヲ諒トシテ昨年ノ財政經畫ヲ協贊イタシタノデアリマス、然ルニ五年度ノ總豫算ヲ見マスト云フト、ソレガサウナツテ居ラヌガ爲ニ、先日本議場デモ議論ガアリ段々意見ノ交換モ起シタノデアル、デ我ニハ此貴族院ノ院議ト云ヒ大藏大臣ノ言責ニ向ツテハ、政府ハ之ニ付テ相當ノ積リデアルト云フ趣意デ御尋ネガアリマシタ、ソレニ對シテ武富大藏大臣ハ遂行ヲ努メラレルダラウト思ク所ガ、サウナツテ居ラヌ、此點ニ付テ政府ハ如何ナル措置ヲ執ラルル所ノ御意見デアルカ、其御意見ヲ承ッテ更ニ考慮スルシテ居リマスルシ、一方ニハ其後經濟事情モ慎重ニ熟慮ヲ致シマシテ、政府等ノ進行モ今日ニ至リテ居ル譯デアリマスルカラ、此際ニ之ヲ解決スルト云フコトハ甚ダ困難デアリマスルガ、貴族院ノ御意見ノアル所モ十分ニ承知ヲ致シテ居リマスルシ、一方ニハ其後經濟事情モ慎重ニ熟慮ヲ致シマシテ、政府ハ不日國債整理基金特別會計ノ豫算ニ於テ二千萬圓ノ公債ヲ募集シテ外債償還ヲスルト云フ案ヲ提出スル積リデアリマスル、又之ヲ實行スル上ニ於テ國債整理基金法第五條ノ規定ニ少シク除外例ヲ設ケヌト、之ヲ實行スルニ妨げニナル虞レモアリマスルカラ、其除外例、即チ外債ヲ整理償還スル爲ニ政府ハ必要アリト認ムル時ハ國債整理基金法第五條ノ規定ニ依ラズ國債ヲ發行スルコトヲ得、ト云フヤウナ意味ノ法律案ヲ此追加豫算ト同時ニ提出スル積リデアリマス、即チ此時機ヲ利用シテ、豫テ貴族院ノ御意見タル國債償還ニ力ヲ盡スト云フコトノ御趣意ヲ徹底イタシタイ考デアリマス、斯ウ云フ大藏大臣カラ言明ヲセラレマシテ、此事ハ無論内閣ヲ代表シテ申スノデアル、又政府ハ衆議院ヲ通過セシメルニ付テ最善ノ努力ヲ致シマスル、斯ウ云フコトマデシタ、ソレニ對シテ或ル一員ヨリ修正案ガ起リマシタ、ソレハ歲出臨時部大藏省所管第七款帝國鐵道特別會計貸付金二千萬圓、此款ヲ削除スルト云フ説デスルニアリマス、即チ一般會計ヨリ鐵道會計へ貸付ケルコトヲ廢メルト云フ説デアリマス、而シテ其削ッタ所ノ二千萬圓ハ大藏省ノ歲出ノ部ニアリマスル所ノリマス、而シテ其削ッタ所ノ二千萬圓ハ大藏省ノ歲出ノ部ニアリマスル所ノリマス、而シテ其削ッタ所ノ二千萬圓ハ大藏省ノ歲出ノ部ニアリマスル所ノ

テ鐵道ノ財源二千萬圓ヲ削除シタ其財源ハ預金部其他ニ於テ借入ナリ何ナリ相當ノ處置ヲシタナラバ、此鐵道財源ハ得ラレルデアラウカラ、斯ウ云フ意味ヲ以テ政府ハ相當ノ處置ヲナサレ、斯ウ云フ趣意ノ下ニ發案セラレタノデアリマス、之ニ贊成者ガアリマシテ議題トナリマシタ、而シテ又他ノ一員ヨリ發議ガアリマシタ、ソレハ原案ヲ贊成スルノデアル、去ナガラ其本意ハ飽マデ國債整理基金ヲ元ノ通リニ戻スト云フ意見カラ生ジテ居ルノデアルガ、此事ニ付テハ色ニ議論ヲ重ネタ末、政府モ政治道德上御反省ガアツタト見エテ、茲ニ全部デハナイケレドモ、希望ノ一部デアルケレドモ、既ニ追加豫算ヲ以テ國債整理基金二千萬圓ヲ増シテ、新ニ求メテ、而シテ之ヲ以テ國債償還ニ充テルト云フコトヲ言明セラレタノデアルカラ、我ミノ希望ノ半バシカ達セヌガ、併ナガラ此希望ガ全部達スルト云フコトハ即チ其道行ノ一部ト見ルガ故ニ、茲ニ一ノ希望ヲ付シテ原案ヲ贊成シタイ、其希望ノ趣意ハ鐵道經營ニ付テハ財政ノ許ス限り一般會計ヨリノ借入ニ依ラズシテ他ニ適當ナ計畫ヲ立テル事、斯ウ云フ希望ヲ附帶ノ決議ト致シテ、即チ貴族院ノ全部ノ希望ヲ他日ニ實行セラレタイト云フ所ノ希望ヲ懷イテ、此原案ヲ贊成スルノデアルト云フ發論デゴザイマシタ、之ニモ贊成ガゴザイマシタ、依ッテ探決ヲ致シマシタガ、前ニ申シマシタ所ノ大藏省所管第七款ノ鐵道會計貸付金二千萬圓ヲ削除スルト云フ修正說ハ少數デ消滅ニナリマシテ、而シテ他ノ第二ノ希望トシテ決議案ヲ提出セラレタ案ハ大多數ヲ以テ可決イタシマシタ、其結果トシテ總豫算ノ歲入及其他一分科ニ屬スル所ノ大藏省所管及追加豫算全部ト云フモノハ總テ原案ニ決シタノデゴザイマス、而シテ此希望的附帶決議ハ豫算總會ニ於テモ矢張リ總會ノ希望トシテ決議アラムト云フコトノ希望ヲ表セラレタ次第デアリマス、此段御報告申上ゲマス」是ガ第一分科主査ノ報告ノ終リノ所デアリマス、次ニ第三分科主査ヨリノ報告ノ極ク短イ部分ヲ朗讀イタスコトヲ御許シラ願ヒマス「最後ニ本分科會ニ於キマシテハ希望ノ決議ヲ致シマシタ、之ニ付テ是ヨリ申上ゲマス、此希望決議ハ極メテ重大ナ事項ニ關スルコト思ヒマス故ニ、是ハ少シ時ヲ費シマスケレドモ、其意ヲ諒トシテ御聽取下サラムコトヲ希望シテ置キマス、決議文ハ斯様ナモノデアリマス」「貴族院ハ大正二年三月教育調査機關ノ設置ニ關スル建議ヲ提出シ、以テ政府カ特ニ有力ナル教育調査機關ヲ設ケテ教育ノ主義方針ト其ノ制度ヲ調査セシメ百年ノ大計ヲ定メンコトヲ要求シタリ、今ヤ歐洲大戰ノ教訓ハ

我教育學制上ノ懸案ノ解決ヲ促スコト益々急切ナルモノアリ、然ルニ目下政府ノ施設スル所ヲ觀ルニ未タ本院ヲシテ満足セシムルコトヲ得サルノ憾アリ、就テハ政府ハ右建議ノ旨趣ニ副フヘキ周到精確ナル調査ヲ遂ケシメ、以テ前述ノ目的ヲ達スルコトニ努メラレムコトヲ望ム」ソレカラ中ヲ略シマシテ「大正二年六月ニ教育調査會ナルモノヲ組織セラレマシテ、ソレハ任命アリマシテ、以來二箇年半有餘ヲ經過シテ居ル次第デアリマス、然レドモ未だ右朗讀イタシタル建議ノ趣旨ニ適フガ如キ經過ヲ見ルコトガ出來ヌノハ甚ダ遺憾トスル所デアリマス」又中略イタシマシテ「故ニ特ニ此重大ナル事件ニ關シテハ日夜苦心焦慮、以テ之ガ目的ヲ達スルニ汲々シテ、一日モ早ク其結果ヲ見ルヤウニアリタイト云フ趣意ニ外ナラヌノデアリマス、決シテ之ヲ新タニ求メルノデハナイノデアリマス、既ニ其方針ヲ御立テニナツテ居ルニ付テハ之ヲ一日モ早ク懸案ヲ解決スル如クナルヤウニ致シタイト云フ希望ニ外ナラヌ譯デアリマス、右ノ趣旨ヲ以テ本分科會ニ於テハ全會一致ヲ以テ可決シタ次第デゴザイマス」云々、唯今朗讀イタシマシタノガ第一分科主査竝ニ第三分科主査ノ報告中ノ極ク肝要ナル部分デゴザイマス、各主査ノ報告が終リマシテカラ、討論ニ移リマシテゴザリマスルガ、茲ニ修正說ガ出マシタノデアリマス、修正說ハ即チ總豫算ノ臨時歲出部ノ大藏省所管第七款ノ帝國鐵道特別會計貸付金二千萬圓ヲ削ルト云フ修正デゴザイマス、此修正ノ理由ニ付キマシテハ唯今報告イタシタ中ニモ御聽取ニナツテ居リマスコトデモアリマス、又既ニ此問題ニ付キマシテハ當議會ノ會期ノ初メ以來諸君ノ既ニ御研究ニ相成リ居リマスルコトデモアリマス、茲ニ詳シク申上ゲズトモ其趣意ノ如何ナル所ニアルカト云フコトハ諸君ノ既ニ御了解ニ相成リ居リマスルコトデアリマスカラ、之ニ付キマシテ修正意見發議者ハ隨分長ク理由ヲ陳述サレテアリマスルガ、是ハ省キマシテ宜カラウト存ジマス、唯今申述ベマシタル修正意見ニ付キマシテ原案贊成ノ意見ヲ一委員ヨリ明瞭ニ發表サレマシテゴザリマス、其要領ニ付キマシテ極ク簡略ニ申上ゲテ見マセウト存ジマス、固ヨリ其大意ダケ採リマシテ申述ベマスルコトデアリマスカラ、其委員ノ用ヒラレマシタ所ノ文字等ニ少シモ抱泥イタサズニ申上ゲマスル積リデアリマス、此一委員ノ原案贊成說ハ非還元ヲ合理トシテ贊成スルノデハナイノデアル、矢張リ自分モ還元說ヲ唱ヘル一人デアルノデアル、其點ニ付テハ修正論者ト其歸スル所ハ一デアル、唯其目的ニ達スル方法ニ於テ異ナル所ガアルニ過ギ

ナイノデアル、此問題タルヤ、其性質ニ於テ純然タル財政問題デナケレバナラヌ、即チ財政問題ヲ以テ終始セネバナラヌ問題デアルト確ク信ジテ居タニ拘ラズ、今日ノ有様ニナシテ見ルト既ニ純粹ノ財政問題タル所ノ性質ヲ逸シテ、稍政治問題ニ轉化シ來リタルノ傾ガアル、是ハ甚ダ意外千萬ト申シテ宜イ譯デアル、併ナガラ事茲ニ至フテ見レバ、自ラ之ニ應ジテ態度ヲ決メナケレバナラナイノデアル、修正論者ハ唯豫算ノ内容ノミニ眼ヲ注イデ、深ク周圍ノ事情ニ付テハ注意ヲ拂フ所ガ或ハ闕ケル所ガアリハセヌカト思フノデアル、ソレデアルカラシテ此豫算ヲ修正ヲ致シテモ、此豫算ノ通過云々ト云フコトニ付テハ深ク心配サレナイヤウナルヤウニ考ヘラレルノデアル、併ナガラスノ如キ問題トテモ、一旦政治問題タルノ色彩ヲ帶ブルニ至ツテハ、單純ナル理論ヲ以テ之ニ處スルトキニハ豫算成立ノ上ニ於テ危險ヲ冒サネバナラヌト云フコトヲ覺知シナケレバナラヌノデアル、豫算ニシテ若シ不成立ニ終ルコトニ相成フタナラバ、政界ニ及ボス所ノ影響ハ決シテ鮮少デハナイノミナラズ、即チ豫算不成立トシテ財政ノ受クル所ノ影響モ亦大ナルコトデアル、サウ云フコトニナシテ見レバ、修正論者ハ單ニ二千萬圓ヲ削除シテ、修正ヲ行ハムト欲シテ、何モ出來ナイコトニナシテシマフノデアル、然ルニ政府ハ貴族院ノ希望ノアル所ヲ熟察サレテ既ニ減債追加豫算ヲ提出スルノ意アルヲ示サレタ、ソレニ依テ我ガ目的ノ半バヲ達シテ、未ダ半バヲ達セザルト云フヤウナ有様デアル、ソレハ甚ダ遺憾トスル所デアルケレドモ、此場合ニ於テハ強ヒテ意義ノ不徹底ヲ忍ンデ、豫算ノ通過ヲ計ッテ、所謂角ヲ矯メテ牛ヲ殺スノ過ヲ避ケネバナラナイト考ヘルノデアル、是即チ一步ヲ今日ニ進メテ、他日目的地ニ達スルヲ期スル譯合デアル、又海軍艦艇補充費ノコトノ如キハ委員ノ質問ニ對シテ政府ノ説明スル所ハ甚ダ明瞭ヲ観ク所ガアッテ、容易ク首肯スルコトノ出來ナイ點モ無キニシモアラズデアル、政府ハ宜シク將來ノ施設ニ對シ、精密ノ調査ヲナシテ、適當ノ計畫ヲ立テ、之ヲ議會ニ提出サレムコトヲ切望シテ止マヌ次第デアル、又鐵道ノ軌制ニ關スル方針ニ至フテハ今回ノ議會ニ於テマダ政府ノ方針ヲ明示スルニ至ラナイノハ甚ダ遺憾トスル所デアル、國家交通機關ノ最モ重要ナル鐵道ノ軌制ヲ定ムルコトハ一日モ之ヲ忽諸ニスルコトヲ許サヌ譯デアルカラ、政府ハ大ニ力ヲ用ヒテ此解決ヲ計ラレルコトヲ切望イタス次第デアル、最後ニ鐵道ノ經營ニ付テハ其資源ニ關シテ本會期中ニ主要ノ問題トシテ我ニハ研究イタシタノデアル、政府ハ宜シク貴族院ノ意

見ノアル所ヲ十分ニ察セラレテ、誠意誠心慎重ノ措置ヲ執ラレムコトヲ望ム次第デアル、依テ三箇ノ希望トハ左ノ通リデアル、「一、海軍補充ニ關スル將來ノ施設デアル、三箇ノ希望トハ左ノ通リデアル、「一、海軍補充ニ關スル將來ノ施設ニ付テハ更ニ計畫ヲ立テ提案セラルヘキ事、一、鐵道ニ付テハ軌道ニ關スル方針ヲ決定シ、適當ノ計畫ヲ立ツル事、一、鐵道ノ經營ニ付テハ財政ノ許ス限り一般會計ヨリノ借入ニ依ラスシテ、他ニ適當ノ計畫ヲ立ツル事」是ガ即チ三箇ノ希望デアル、此希望ヲ以テ、即チ此希望ト共ニ此豫算案ノ全部ヲ衆議院送付ノ儘可決ヲ致シタイ、是ガ即チ可決論ノ主張イタシタ所デアリマス、可決論者ノ主張イタシタ所デアリマス、先キニ述ベマシタル所ノ修正說竝ニ原案贊成說共ニ贊成ノ委員モアリマシタニ付キマシテ、ソレデ兩方ノ決ヲ採リマスコトニ相成リマシタ、先ヅ修正說ヨリ採決ニ及ビマシタ所ガ、是ハ少數デゴザイマシテ、成立チマセヌデゴザイマシタ、次ニ唯今讀上ゲマシタル所ノ希望ヲ帶ベル所ノ原案ニ付キマシテ採決ヲ致シマシタ所ガ、是ハ大多數ヲ以チマシテ可決イタシマシタ、以上申述ベマシタル所ガ即チ豫算委員會ノ經過並ニ結果デゴザリマス、唯今報告イタシマシタヤウニ申シマスト、修正說ガ大ニ原案贊成ト違ツテ居リマスヤウニモ見方ニ依リマシテハ解セラレマスガ、本員、委員長ト致シマシテ兩者ノ論ノ岐ルル所ヲ能ク考ヘテ見マスト、少數者タル修正論者モ、大多數ノ原案贊成者モ、其目指ス所ノ目的地ハ變ツテ居リマセヌ、之ヲ旅行ニ喻ヘマスレバ、一ハ東京ヲ發シテ東海道ニ依テ京都ニ行カムトシ、一ハ中仙道ニ依テ行カムトスル位ノ違ヒデアル、ソンナコトデアリマスカラ争ハ争ノ如クニ見エマスガ、其争ヤ果シテ争ニアラズ、唯道路ノ選ビ方ガ違ツタ云フ位ノコトデアル、加之原案贊成者ノ提出シタル希望條件ノ如キハ修正論者ニ於テモソレハ全然同意デアル、併ナガラ此希望條件ト云フモノト豫算案ト云フモノトハ附イテ離レナイモノデアルカラ、修正論者ハ二千萬圓ヲ削除スルト云フ說ヲ主張スル以上ニハ、如何ニ希望條件ニハ同意デアルケレドモ、之ニ贊成セムト欲スレバ矢張リ原案ニ贊成スルコトニナル、甚ダ心苦シイコトデアルガ、サウ云フ理由ガアルガ爲ニ起タナイノデアル、希望モ、條件ノ三箇條ニ付テハ全然贊成デアルコトハ修正論者モ申サレタ位デ、其争ヤ君子トデモ申シマセウカ、争ニシテ争ニアラズト結論ヲ致シテ決シテ過デナイト存ジマス、先キ報告ハ是位デアリマシテ又細カイ事ニ付キマシテ何カ御尋デモゴザイマスレバ、委員長ト

シテ記憶シテ居リマスコトハ申上ゲマセウシ、尙ホ細カイ事デ委員長ノ御答
ノ出来マセヌコトハ各分科ノ主査ノ方カラ御答ヲ致スコトニ致シマス

○馬屋原彰君 文部大臣ニ質問シテ宣シウゴザイマスカ

○議長(公爵徳川家達君) 宜シウゴザイマス

○馬屋原彰君 チヨット此間ニ文部大臣ニ美術政務ノ方針ニ付テ二三點御意
嚮ノ在ル所ヲ伺ヒタイト思ヒマス、第一ハ東京美術學校日本畫ノ教育ニ關ス
ル件デアリマス、即チ同美術學校日本畫ノ課目ニ於キマシテ、解剖學遠近法
又ハ用器畫法等ノ如キ、西洋畫科ノ課目ト同一ノ課目ヲ置キ、和洋混合即チ
日本畫ト西洋畫ト混合シタ難駿ノ教育ヲ施シテ居ルヤウニ認メマス、是ハ果
シテ日本畫ノ教育ノ上ニ如何ナル必要ガアルノデアリマセウカ、本員ノ見ル
所ニ依リマスレバ、斯ル工藝的若クハ器械的ノ技術ヲ混入シテ、我ガ東洋ノ
筆墨畫ノ特技特長ヲ衰微セシメ、純日本畫ノ専門家ヲ養成スル上ニ於キマシ
テハ、深ク害アツテ益ナキモノト思フノデアリマス、此點ニ付キマシテハ當局
者ノ御考ハ如何デアリマセウカ、ドウカ明瞭ナル御答辯ヲ願ヒタイ

〔國務大臣高田早苗君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(高田早苗君) 只今ノ馬屋原君ノ御尋ハ東京美術學校ノ日本畫科
ニ西洋畫ノ畫法ヲ教ヘルト云フコトニ付テデアリマス、大分専門的ノ御尋デ
アリマスカラ、或ハ御答ガ要領ヲ得ルカ得ナイカラ危ミマスガ、極ク大體ノコ
トヲ一通り御答ヲシャウト思ヒマス、無論日本畫科ニ於テハ専ラ日本畫ヲ教
ヘルノデアリマスケレドモ、參考トシテ西洋ノ畫法モ交ヘ教ヘル譯デアリマ
シテ、是ガ日本畫ヲ學修スル上ニ於テ妨ニナラウトハ考ヘテ居リマセヌ、御說
ニ依リマスト云フト、日本畫ノ特長ヲ消滅スル、西洋ノ畫ハ工藝的器械的デ
アル、斯ウ云フ御話ノヤウニ承リマシタガ、之ガ爲ニ日本畫ノ特長ヲ消滅セ
シムルト云フ憂モナシ、又唯參考ニ萬一西洋ノ畫法ニ長所ガアレバ、ソレヲ
取入レルト云フコトノ便利ニモナルト云フ、唯參考トシテ教ヘルニ止マルノ
デアリマスカラ、御心配ノ如キコトハナカラウト思テ居リマス、又申上ゲ
ルマデモナク、總テ此西洋畫ヲ工藝的器械的ト一概ニ申ス譯ニモ參リマセヌ
ト思ヒマス、無論西洋畫ト日本畫トハ其本領ヲ異ニシ、其特長ヲ異ニシ、又
日本畫ハ日本畫ノ本領ヲ沒却セシメナイヤウニシテ行カネバナリマセヌコト
ハ勿論デアリマス、併ナガラ參考トシテ多少西洋ノ畫法ヲ教ヘマスト云フコ
トガ御心配ノ如キ結果ヲ生ズルモノデハアルマイト、斯ウ信ジテ居リマス

○馬屋原彰君 唯今縷々御答辯ガアリマシタガ、本員ナドノ考ヘル所トハ大
ニ關スル件デアリマス、是ハ本員ノ見ル所ニ依リマスカ
ラ、此點ハ此儘デ措キマス、其次ハ文部省ノ美術展覽會ニ於ケル出品ノ審查
針ハ繪畫其モノノ製作ハ雅俗ヲ問ハズ、目新シク形ノ變ツタモノヲ獎勵スル
ト云フ風ガ事實ノ上ニ現ハレテ居ルノデアリマス、從ツテ文展ノ陳列畫ニハ
諸君御承知ノ通リ往々世間ノ非難ヲ免レ難キモノガアルノデアリマス、是ハ
畢竟ズルニ從來何等此審查上ノ標準ガナイ、全ク其一定ノ標準ガナイ爲ニ
因ツテ起ル所ノ常弊デアラウト思フノデアリマス、デ東洋畫ニシテモ亦西洋
畫ニシテモ、御承知ノ如ク古今一定セル本義ト云フモノガアルノデアリマス
カラ、其本義ニ基イテ新ニ其審查標準ヲ定メラレルト云フコトハ何等ムヅカ
シイコトハアルマイト考ヘマスルガ、當局ノ御見込ハ如何デゴザイマスカ、
之ヲ承リマス

〔國務大臣高田早苗君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(高田早苗君) 御答ヲ致シマスガ、唯今ノ御質問ハ文部省展覽會
ノ審査ノ方針ニ付キマシテ、兎角目新シキヲ競フヤウナ傾ガアルニ付テハ、
斯ウ云フ御尋ノヤウニ了解イタシタノデアリマス、此前委員會ニ於テモ御答
イタシマシタ通リニ、文部省展覽會ノ審査ノ方針ハ必シモ目新シキヲ良シト
スルト云フ譯デナシ、去リトテ又舊法ヲ墨守スルト云フコトヲ獎勵スルト云
フ意味デナシ、舊法ヲ學ンデ新意ヲ出スト云フコトガ宜シイト云フ考ニ依ッテ
居リマス譯デアリマス、ソレデ尤モ文部省自ラ審査ヲスル譯ニハ參リマセヌ
カラ、現代ノ畫家ノ中デ最モ技術ニ長ケ、信用アル人ミ及其他此方ノ道ニ精
シキ方ニ依頼シテ、其評議ニ依ッテ決定スルト云フ仕組ニナシテ居リマス、今
日ノ所、先づ此方針ニ依ルヨリ外ニ途ガナイト斯ウ考ヘマス、此繪ノ本義ニ
依ッテ、其本義ニ基イテ標準ヲ文部省自ラ立テル、是ハナカクムヅカシイ問
題デアリマシテ、如何ナルモノガ繪デアルカ、如何ナルモノガ繪デナイカ、
繪トハ如何ナルモノカト云フヤウナ問題ニ這入ラヌケレバ分ラヌノデ、容易
ニ標準ヲ求メ、其標準ニ依ッテ審査ヲスルト云フコトハ出來難イコトデハア
ルマイカト竊ニ考ヘテ居ル譯デアリマス、尙ホ併ナガラ折角ノ御注意デアリ
マスカラ、今後十分ニ研究ヲ致ス積リデアリマスガ、唯今ノ所ハ今御答ヲシ

マシタヤウナ考デ居リマス譯デアリマス

「男爵目賀田種太郎君發言ノ許可ヲ求ム」

御説明アラムコトヲ望ミマス

「國務大臣高田早苗君演壇ニ登ル」

○議長(公爵德川家達君) 目賀田君

〔男爵高橋是清君、馬屋原彰君發言ノ許可ヲ求ム〕

○議長(公爵德川家達君) 目賀田男爵ト唯今議長ハ呼ビマンタ

○男爵目賀田種太郎君 ソレデハ發言シテ宜シウゴザイマスカ

○議長(公爵德川家達君) 宜シウゴザイマス

○男爵目賀田種太郎君 本員ハ文部大臣ニ承リタイト存ジマスガ、昨年臨時議會ニ於キマシテ六月八日ヲ以テ本員等ハ道徳及德義ノ制裁ニ關シ一般ニ之ガ厲行アラムコトヲ建議イタシテ居リマス、右ニ對シテ以後ノ政府ノ執ラレタル所ノ其成績ハ如何デアリマスカ、簡單ニ御伺ヒ致シタウゴザイマス

〔國務大臣高田早苗君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(高田早苗君) 目賀田男爵ノ御質問ニ御答シマスガ、唯今ノ御話ノ建議ナルモノハ文部省ノミニ關係シタコトデハ勿論ナインデアリマシテ、政府ノ全體ニ亘リマシタコトノヤウニ理解シテ居リマスガ、事文部省ニ關シマスコトニ付キマシテハ其建議ノ御趣意ニ基イテ、其後精々注意ヲ致シテ居リマス譯デアリマス

○男爵目賀田種太郎君 甚ダ恐縮デアリマスルガ、チヨット要領ヲ得マセヌ

ガ、六月八日ノ建議ハ廣イコトデアリマス、即チ道徳ノ制裁ヲ行ハシムルト云フコトデアリマス、唯今ノ文部大臣ノ述ベラレル如ク文部省バカリデハゴザイマセヌ、去リナガラ當時ノ此建議ハ國民一般ノ道徳及風儀ヲ鞏ウセネバリマス譯デアリマス

○男爵目賀田種太郎君 甚ダ恐縮デアリマスルガ、チヨット要領ヲ得マセヌモゴザイマセヌ、故ニ唯精々御注意ト云フ御説明デハ何分了解イタシ兼ネマス、兎ニモ角ニモ昨年六月八日ニ於テ貴族院ハ一般ノ道徳ト其制裁ヲ行ハシムルガ爲ニ建議ノ當時總理大臣モ御出席ノ上御答ガアリ、委員會ニ於テハ内務大臣モ答ヘラレタ、司法大臣モ答ヘラレタコトデアリマス、ソレ故ニ國民道徳ノコトニアリマス、ソレニ付キマシテハ前日豫算總會ニ於テ本員ハ總理大臣ニ伺ヒマシテゴザイマス、其時總理大臣ノ御返事ハ一向見當違ヒノコトデアリマス、本員ノ質問ニ答ヘラレナカッタノデアリマス、ソレ故ニ國民道徳ノコトニ關シテハ共ニ文部大臣ニ責任アリトシテ本員ハ文部大臣ニ御尋スルノデアリマス、唯今ノ精々注意ヲスルト云フコトデハ足ラヌヤウニ存ジマス、今少々

○國務大臣(高田早苗君) 目賀田男爵ニ御答ヲ致シマスガ、國民道徳ノ振興ト云フコトニ關シマシテハ無論此貴族院ノ建議ガナクトモ、平生文部當局ニ於テ大ニ意ヲ致サナケレバナラヌコトデアリマス、況ヤサウ云フ御注意ガアリマシタ譯デアリマスルカラ、爾來機會ガアル毎ニ其方法ヲ研究シ又之ガ實施ヲ圖ツテ居ルノデアリマス、其以後各學校ノ管理者、校長ノ會議ト云フが如キモノモ許多ゴザイマシテ、其度毎ニ色ニノ諧問モ致セバ又注意モ致スヤウナ次第デ、又或ル場合ニハ其機會ニ依ツテ「層其方法ヲ講ジマス譯デ、御大典ニ際シマシテハ其心得ヲ示ス爲ニ印刷物ヲ作リマシテ之ヲ一般ニ頒チマストカ、紀元節ニ臨ミマシテハ憲法ニ關スルコトニ付キマシテ一層、是亦印刷物ヲ拵ヘマシテ、各學校ニ配付シテ注意ヲ促シマシテ、御建議ノ御趣意ニ付テハ爾來愈ラズ機會アル毎ニ、或ハ注意ヲ致シ或ハ諧問等ヲ致シマシテ、御建議ノ趣意ニ副フコトヲ努メテ居リマス次第ゴザイマス

○男爵目賀田種太郎君 度ニテ誠ニ恐縮ニ存ジマスルガ、何分ニモ唯今ノ御答ハソレハ尋常一樣ノコトデゴザイマシテ、左様ナ譯デハナイト存ジマス、蓋シ文部大臣ハ御更任ニナリマシテ六月八日ノ建議ハ御承知ノナイヤウニモ思ハレマス、併シサウ云フコトヲ承知スルト否トハ此議場ノ問題デナイト考ヘマス、兎ニモ角ニモ貴族院ガ建議ヲ致シマシタ以上ハ政府トシテ大臣ノ更迭如何ニ依ツテ知ルト否トノ問題ハ生ゼヌコトト存ジマス、唯今ノ御答ハ唯有リフレタルコトデアリマス、サウ云フ趣意デハゴザイマセヌ、當時ノ建議ハ政府當局自ラ道徳ヲ怠リ、隨ツテ國民道徳ノ(聽取シ難シ)政府自ラ戒メナケレバナラヌ、國民ヲ戒ムルト同時ニニ國民ニ向ツテ戒飭ヲ加ヘナクテハイカヌト云フ意味ヲ籠メテアル、其時ニ本員ハ殊更、總理大臣ニ對シテモ斯ノ如キ建議ハ總理大臣ヲ始メラレテ皆サン御反對ニナルヤ否ヤト云フコトヲ伺ツタノデ、敢テ贊成ヲ求メタ譯デハアリマセヌ、御採用ニナラヌナラバ御採用ニナラヌデ宜イ、御受納ニナルヤ否ヤト云フコトヲ伺ヒマシタ、トコロガ是ハ固ヨリ輔弼ノ責アル者ハ勿論關係アリ、而カモ其時ニ於テハ種々選舉其他ノコトニ付テ爲シタルコトニ於テハ大ニ謝スルト云フコトヲ述ベラレタ、之ニ對シテモ本員ハ其答辯ノ不都合ナルコトヲ述ベタ次第アリマス、

ハ如何デアッタ云フコトヲ承ッタ、然ルニ何ゾヤ昨今ハ教育ノコトニ付テハ憲法ノ講習ヲ始メサセテ居ル、以テノ外ノコトデアル、學校ノ生徒ナドニ憲法ノ講習ナドハ何ノ必要ガアルカ、何カ法學ノ先生ナドヲ頼ンデ憲法ノ講釋ヲ始メルト云フコトヲ承ッテ居ル、實ハ過日豫算總會ニ於テ私共ノ同僚ヨリ教育會ノ調査ニ對シ、又此憲法ノ講習ニ對シテ質問ニナッタ場合ニ於テ、甚ダ要領ヲ得ヌ義デアリマス、何レノ國ニ於テモ學校ノ生徒ガ憲法ノ研究ナドヲ致ス國ガアリマスカ、是等ハ又或ル程度ニ於テ研究スベキモノト存ジマスガ、學校ノ生徒ニ決シテ政治家ノ教育ハ要リマセヌ、斯ウ云フヤウナ次第デアル、是ハ唯因ミニ申スノデアリマスガ、元來大正四年六月八日ニ於キマシテノ建議ハ唯今高田文部大臣ノ述ベラレル如キコトデハゴザイマセヌ、御承知ナクバ後刻ニ於テ更ニ之ヲ審究セラレテ本員ニ答辯アラムコトヲ望ミマス、唯今ハ求メマセヌ、後ニ數刻ヲ隔テタル後ニ審究セラレテ、本員ニ答辯アラムコトヲ……

○馬屋原彰君 先刻本員ノ質問ニ對シテ文部大臣カラ御答ガアリマシタガ、ナカ／＼其御答辯ニ對シテ此所ニテ一々私ノ意見ヲ申上ゲマスノハ時間ヲ費シマスカラ、先ツソレハ略シマス、文部大臣ノ述ベラレタ古法ヲ學ンデ新意ヲ出スト云フコトハドウ云フコトカ分ラナイ、古法ヲ學ブト云フノハドウ云フコトカ分ラヌ、古法ヲ學ブノハ古人ノ描イタモノヲ寫スノガ古法ヲ學ブノデアルカ、ソレハ分ラヌガ、其事ハ今日ハ止メマス、要スルニ文展ノ現狀ハ此儘デ完全ナモノナリト云フ御見込デアリマスカ、將タ是デハドウモ段々審査ノ結果ノ上ニ於テ見惡イヤウナモノモアリ、既ニ世間ノ批難ノアル如ク、風教ニ關スルモノガアルコトハ御承知デアリマセウガ、之ヲ其儘ニシテ置クト云フ御方針デアリマスカ、ドウシテモ改善ノ方針ヲ考ヘナケレバナラヌト云フ御見込デアリマスカ、其點ヲモウ一應御答辯ヲ願ヒタイノデアリマス

〔國務大臣高田早苗君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(高田早苗君) 御答ヲ致シマスガ、此文部省展覽會ノ今ノ審査ガ必シモ完全デアルトハ無論思テ居リマセヌ、又改良スベキコトモ多々アリマセウシ、直サナケレバナラヌコトモアラウト思ヒマスガ、併ナガラ年ト共ニ多少成績ガ舉ツテ居ルト斯ウハ考ヘテ居リマス、併ナガラ之ヲ以テ満足シテ居ル次第デハアリマセヌノデ、尙ホ精々注意ヲ致サウト斯様ニ考ヘマス

○男爵高橋是清君 私ハ大藏大臣ニ御尋ヲ致シタイト思ヒマス、第一ニ大

藏大臣ハ歲入ノ豫定ヨリ不足ヲシタ、減收ヲ來タシタ其重モナルモノハ關稅竝ニ酒稅デアルト云フコトヲ屢々言ハレマス、ソレガ爲ニ海軍ノ擴張ノ爲ヲ始メルト云フコトヲ屢々言ハレマス、抑々此内閣ノ成立イタシタル當時、全國ノ實業家等ヲ集メラレテ、現政府ノ方針ハ出來得ルダケ輸入ヲ防遏シ、内國品ノ使用ヲ獎勵シ、現ニ宮中ニ於カレテモ輸入ノ葡萄酒等ハ用ヒラレナイ、内地デ製作……製造シタル所ノ葡萄酒ヲ用ヒラレルト云フヤウナコトデアリマシテ、兎ニ角輸入超過ノ狀態デアルカラ此病ヲ治サナケレバナラヌ、ソレガ爲ニハ輸入ヲ防遏シテ内國產ヲ獎勵シテ、内國品ヲ用ヒルコトヲ獎勵スルト云フコトヲ聲明セラレタ、時ニハ又全國ノ實業家ヲ集メラレテ政府ハ其意志ヲ示サレタ、然ラバ歲入ニ於テ關稅ノ減收ヲ來タスト云フコトハ、當初ヨリ政府ノ政策ヲ定メラレタル時カラシテ、之ヲ期待サレタルコトト考ヘテ居ツタノデアリマス、今日時局ノ爲ニ輸入ガ大ニ減ヅテ、其結果トシテ關稅ノ收入ガ減ヅタト云フコトハ、寧ロ當局者ニ取ツテ御満足ナルコトト私ハ考ヘテ居ツタノデアリマス、然ルニ時局ガ終レバ又收入モ常態ニ復スルト云フコトヲ屢々御答辯ニナル間ニ言ハレタ、是ニ於テ迷ハザルヲ得ヌノデアリマシテ、歲入ノ復スルト云フコトハ即チ重モナル減收ガ關稅デアリマスレバ、矢張リ戰爭ガ終レバ關稅ガ大ニ増スト云フコトヲ望マレルノデアリマセウ、シテ見ルト最初ノ輸入防遏ト云フ政策ヲ執ラレルト云フコトハ、今日ハ改メラレテ輸入ノ増加ヲ歓迎セラレルト云フコトニナッタノデアルカ、大ニ是ハ迷フ點デアリマスカラシテ一應伺ツテ置キタイノデアリマス、ソレカラ第二ニ減債基金ニ關シテモ屢々御答辯ニナリマシタガ、政府ハ此豫算ヲ編製スル時分ニハ、マダ内地ノ市場ノ有様ガ斯ノ如ク公債募集ガ出來ルト云フヤウナコトニナラウトハ思ハナカッタ、又正貨モ激増スルトハ思ハナカッタ、正貨ノ激増ハ昨年九月十月初最モ其有様ヲ呈シタノデアル、ソレ故ニ其前ニ豫算ヲ編製シタノデアッテ、豫算編製當時ニ於テハ正貨ノ激增ノ影響トシテ、内地ノ金融ガ緩慢ニナカッテ、公債ノ募集ガ出來ルト云フ市場ノ狀況ニナルト云フコトハ思ハナカッタ云フコトヲ仰シヤルヤウニ承知シテ居リマス、然ルニ民間ニ於キマシテハ正貨ノ激増ト云ヒマスカ、詰リ軍需品等ノ代價ノ大部分ガ這入ルト云フコトハ一年カラシテ、註文ヲ受ケタ時カラシテ、七八月ニ於テ其代價ヲ受取ルコトニナルト云フコトハ、民間ニ於テハ分ツテ居ツタ、一昨年ノ暮、陸軍大臣ハ即

チ一千萬圓ノ剩餘金ヲ使ツテ、サウシテ此註文ヲ受ケタ、註文ヲ受ケル爲ニ
千萬圓ノ支出ハ要ルノダ、斯ウ云フコトヲ議場デ言ハレタ、シテ見レバ其時政
府ニ於テモ是等ノ六七千萬圓ノ品物ハ、七八月頃ニ於テ大部分ハ完成シテ受
渡ニナルト云フコトハ、政府ニ於テモ御承知デアッタラウト思フノデアリマ
ス、然ルニ大藏大臣ニ於テハ恰モ突然、九月十月ニ至ツテ正貨ガ降ツテ來タヤ
ウニ、激増シタヤウニ御話ニナリマスガ、是ハ民間デハ前申ス通り一昨年註文
ヲ受ケタ時カラ、何時頃正貨ガ殖エルト云フコトハ、銀行ナドニ於テモ十分
ニ知ツテ居ツタノデアリマス、ソレヲ大藏大臣ハ、ソレヲ豫メ豫想サレナカッタ
カ、ソレヲ伺ヒタイ、ソレカラ第三ニハ大藏大臣ハ公債ヲ償還スルニ當ツテ：：
外國債ヲ償還スルニ當ツテ利廻リト云フコトヲ能ク仰シヤル、詰リ四分半ノ
英貨公債ヲ償還スルヨリハ五分ノ佛貨公債ヲ償還シタ方ガ利廻リニ於テ斯ク
スグノ利益ガアルト云フコトヲ仰シヤリマスガ、抑々公債ノ價格ニ付テ利廻
リヲ算スルノハ貯蓄ヲスル所ノ放資家ガ言フコトデアッテ、債務者ガ其借りタ
金ヲ返ス場合ニ於テ取ル算盤デハナカラウト私ハ考ヘル、大藏大臣ハ佛貨公
債ノ五分利ノモノヲ償還スル爲ニ内地ニ於テ五分以上ノ利ヲ拂ツテ新ニ公債
ヲ募集シテ、サウシテ佛貨公債ヲ返ス方ガ利廻リガ宜イト云フヤウニ仰シ
ヤリマスガ、政府ハ金ヲ放資シテ利ヲ圖ルガ如キ餘裕ノアル筈ガナイ、是ハ
貯蓄ヲスル人ガ何ノ株ヲ買ヘバ幾ラノ利ニ廻ルトカ、銀行ニ預ケレバ幾ラノ
利ニ廻ルトカ云フコトハ金ヲ放資スル方ノ側カラ言フ問題デアッテ、債務ヲ辨
済セムトスル政府トシテ、今日ノ市場ニ於テ新ニ内債ヲ起セバ現ニ五分ノ公
債ガ九十二三圓乃至五圓ト云フノデアリマスカラ、新ニ發行セラルルト云フ
コトニナッタナラバ、必ズソレ以上ノ價格ナレバ發行ガ出來マスガ、尙ホ其
ニ付テハ政府ハ百圓ノ公債ニ對シテ五圓ノ利ヲ拂ツテ居レバ國家ハソレデ濟
餘計ノモノヲ百圓ニ對シテ利ヲ拂ハナケレバナリマセヌ、現ニ五分拂ツテ濟
シデ居ルモノヲ償還スル……償還ヲセズニ金持ガ公債ヲ握ツテ利廻リヲ圖ル
ト云フ場合ナラバ、ソレデモ有利ト言ハレマセウガ、新ニ高利ノ内債ヲ起シ
テサウシテ低利ノ外債ヲ返スト云フコトハ、ドウシテモ國庫ノ爲ニナラヌト

私ハ考ヘル、然ルニ大藏大臣ハ屢々有利ナリト言ハレ、利廻リガ宜イト云フコトヲ言ハレマスガ、是ハチト見當違ヒデハアリマセヌカ、又英貨四分半利付ノ公債ハ今日ハ容易ニ買フコトガ出來ナイト云フ財務官ノ報告デアッテ、精々一箇年三千萬圓位ガ極度デアルト云フ、其以上バドウシテモ買ハムトスレバ値ガ高クナッテ政府ノ損ニナルト仰シヤルノデアリマスガ、併シ政府ハ償還期限ガ來マスレバ否デモ應デモ百圓ノモノハ百圓ノ額面デ拂ハナケレバナリマセヌ、今日倫敦ニ於テ四分半利付ノ英貨公債ハ利付ニ於テ九十五磅、利落ニ於テ九十三磅ノ價ガシテ居ル、尙ホ百圓ニハソコニ差ガアル、寛リガアル、又此四分半利付ノ英貨公債ト云フモノハ獨リ倫敦ニ在ルバカリデハアリマセヌ、今日デハ餘程紐育ニモ這入シテ居ル譯デアリマス、紐育ニ於ケル最近ノ相場ヲ大藏大臣ノ言葉ヲ借リテ利廻リニシテ見マスト五分以上ニ付イテ居ル、其位安ク買フコトガ出來ルノデアリマス、是ハ獨リ倫敦ニ於テ買フバカリデナク、隨分紐育デモ買ハウト思ヘバ買ヒ得ル時期デアル、又倫敦ノ取引所ニ於テ相場ガ立ツ以上ハ多少ニ拘ラズ賣買ガ出來ル筈デアル、御承知ノ通り「ジョッパー」ト云フモノガアル、是ハ日本トハ違ヒマシテ日本ノ公債賣買専門ノ請負者デアッテ、ソレニ向シテ仲買ガ賣買ヲ試ミル、即チ此請負者ト云フモノハ日本ノ四分利公債ハ幾ラスルト云フ問ヲ受ケタナラバ必ズ幾ラデ買フ、幾ラデ賣ルト云フ賣買ノ二ツノ相場ヲ答ヘル義務ガアル、ソレヲ答ヘタ以上ハ相當ノ高マデハ賣リモ買ヒモ引受ケル義務ガアル、故ニ仲買ガ參シテ日本ノ四分半利付公債ハ幾ラデアルト言フ時分ニ、買ヒニ來タノカ賣リニ來タノカ分ラヌ、分ラヌケレドモ必ズ賣リハ幾ラ買ヒハ幾ラト云フコトヲ答ヘナケレバナリマセヌ「ジョッパー」ガ既ニ其答ヲシタ以上ハ相當ノ高マデハ、即チ十萬圓位マデハ賣ルコトモ買フコトモ引受ケテシナケレバナラヌト云フ仕組ニナシテ居リマス、ソレデアリマスカラ財務官ガ三千萬圓位ガ極度デアッテ、其上ハ買ヘヌト云フ報告ハドウ云フ所カラ詮議セラレタノカ知ラヌガ、今日デハ獨リ倫敦バカリデナク、紐育デモ買フコトガ出來ル、且ツ紐育デ買フ方ガ盤デアッテ、政府署ノ取ルベキ算盤デハナカラウト思ヒマス、ソレハ如何デゴザイマス、三千萬圓ガ極度デアルト云フコトハ私共ハ唯財務官ノ報告ダケデハ足ラヌ、實際ノ事情ヲモウ少シク御盡シニナラナケレバ御分リニナリマス

マイト思ヒマス、モウ一應此點ニ付テ御詮議ニナッタラ如何デアラウカト思ヒマス、現在百圓ノモノヲ百圓以下デ買ヘバ政府ハ矢張リ得デアリマセウ、勿論九十五圓ガ九十六圓ニナッテモ四分半利付ノ公債ヲ御買ヒニナッテ宜カラウト思ヒマス、勿論之ヲ買フニ付テハ商賣ノコトデアリマスカラ多少ノ商略ト云フモノハ必要デアリマス、始終買フ買フトバカリハ言ツテ居ラレナイ、或ル場合ニハ政府ハ買ツタモノヲ賣ツテヤルト云フヤウナ商略ヲ取ルコトモ必ズ財務官ニ其權能ヲ持タセテ置カナケレバナラヌト思ヒマス、サウ云フ點ニ付テ事實ハ如何ニナッテ居リマスカ、既ニ佛國ニ於テ國庫債券ヲ募集スルニ當ツテ、其取扱人ニ日本ノ佛貨公債ヲ持ツテ來タナラバソレハ現金ト見做シテ相當ノ割合デ受取ルト云フコトマデ言ツテ努力シテ居ル、倫敦ニ於テハ公債ノ募集ガアリマスケレドモ、日本政府ガソコマデ努力シテ佛貨公債ヲ買ツタ云フコトハ聞キマセヌ、一方ニ於テハ努力セラルルヤウデハアルガ、英貨四分半利付ノ公債ニ付テハ政府ノ努力ガ未ダ足リナイヤウニ思ヒマス、殊ニ米國ニ於テ買入レルト云フヤウナ策ヲ運ラサレタト云フコトハ聞カヌノデアル、又佛貨公債ノ如キハ是ハ外債ヲ減ラスト云フ爲ニ詰リ内債ニ變ズルマデデアツテ、今日ハ民間デハ如何デアル、政府ガ買ハズトモ爲替相場ノ上カラ佛貨公債ガ一番有利デアリマスカラ、五分ノ佛貨公債ハ民間ニ於テ競ツテ買ハムトシテ居ルケレドモ、ナカツ買ヘヌ、額面以上ニナッテモ、爲替相場ノ關係カラ計算シテ利益デアルカラ買ハムトシテモ買ヘナイ、遂ニハ五十八年ノ償還期限ノ四分利ノ佛貨公債ヲボツツ買フト云フ民間放資者ノ有様デアル、シテ見マスレバ政府ガ之ニ對シテ大ニ力ヲ盡シテ……佛貨ニノミ力ヲ盡サズトモ此英貨ノ四分半利ニ力ヲ盡スガ相當デハアルマイカト私ハ考ヘル、ソレカラ第四ニハ政府ガ内債ヲ募集スルト云フ、即チ此九月十月ニ至ツテ正貨ガ激増シテ市場ノ狀況ガ變ツテ來タ、ソレ故ニ佛貨公債ノ爲ニ四千萬圓ノ公債ヲ發行スル、尙ホ今度衆議院ニ提出ニナリマシタ追加豫算ニ於キマシテハ、二千萬圓ダケ募集スルト云フ、合セテ六千萬圓募集ノ協贊ヲ政府ハ此議會ニ求メラレタ、大藏大臣ハ今日ノ市場ノ有様ニ於テ、此六千萬圓ノ公債ガ有利ニ發行ガ出來ルト云フ御計畫ガアルノデアリマスカ、私ナドノ、寡聞デアリマスルガ、見ル所ニ依リマスルト、既ニ佛貨公債ヲ買入レルコトヲセラルル、即チ三千八百六十萬圓ノ公債ノ發行スラモ、或ハ三箇月グラキ時期ガ遅レテ、今日ハ其機ヲ失シテ居リハセヌカト思ハレル、而カモ過日ハ此三千八百六十萬圓ノ

公債ヲ募集シ、其上ニ二千萬圓ト云フコトハ殆ド見込ガナイト云フ答辯ヲセラレタ大藏大臣ガ、僅カ一週間乃至二週間ノ後ニ其見込ガアルト云フコトニナッテハ、ドウ云フ經濟界ニ變態ヲ生ジタカ、昨年ノ十一月前後ニ於テハ、民間ノ金融ハ緩慢デアツテ、日本銀行ニ無利息デ民間ノ銀行カラ預ケテル金ガ六千萬圓乃至七千萬圓ヲ上下シテ居ツタヤウニ私ハ聞イテ居ル、然ルニ今日ハ二千萬圓乃至二千五百萬圓ト云フヤウナ高ニ減ツテ居ルノデアリマシテ、民間ニ於テモ段々ト新ニ事業ヲ起シ、或ハ舊事業ノ擴張ヲ圖リ、或ハ舊債ノ借替ヲ圖ルト云フ氣運ニ向ツテ來マシタガ、是デモ尙ホ大藏大臣ハ六千萬圓ノ公債ノ募集ガ出來ルト云フ御確信ガアルノカ、ソレトモ斯ウ云フコトヲ定メラルニハ、大藏大臣ガ獨リ机ノ上デ定メラレルノハ危イノデアリマスカラ、必ズ日本銀行其他民間ノ金融機關ノ重モナルモノニ付テハ、其意見ヲ御徵シニナッタコトカト存ジマスルガ、今日六千萬圓ノ公債ヲ募集スルト云フコトヲ立テテ、其實行ガ出來ヌト云フコトハ、是ハ徒ラニ經濟界ヲ壓迫シテ害ヲ爲スモノデアリマス、而シテ議會ニ提出セラルル以上ハ、是ガ濟ンダラ直チニソレニ著手サレルト云フコトノ確信ガナケレバナラヌ筈デアリマスガ、果シテソレダケノ御確信ガアルノデアリマスルカ、ソレヲ伺ヒタイ

〔國務大臣武富時敏君演壇ニ登ル〕

○國務大臣（武富時敏君）高橋男爵ニ御答ヲ致シマス、第一ノ御質問ハ、歲入ノ減少ヲ來タシタノハ政府自ラ招イタコトデハナイカト云フ御趣意ノヤウデアリマス、政府ノ現内閣ノ成立以來、輸入防遏ニ努メタ……輸入防遏ト云フ言葉ヲ頻ニ御使ヒニナリマシタガ、現内閣ハ何モ輸入防遏ト云フコトヲ政策ト致シマセヌ、又ソレヲ努メモ致シマセヌ、唯從來ノ貿易ノ不均衡ヲ直シタトイ云フノガ現内閣ノ政策デアリマス、成ルベク輸出ヲ盛ニシテ貿易ノ均衡ヲ失ハヌヤウニシタイト云フノガ本意デアルノデアリマシテ、輸入ヲ防遏スルト言ヘバ、例ヘバ關稅デモ引上ゲテ輸入ガ減少スルヤウニシナケレバナリマセヌガ、左様ナコトハ致シテ居リマセヌ、隨ツテ此關稅ノ減收ニナッタノハ政府自ラ招イタト云フコトハ政府ニ於テハ信ジマセヌ、是ハ申スマデモナク時局ノ影響ニ依ツテ此減收ヲ來タシタト信ジテ居リマス、ソレカラ次ハ此豫算編製ノ時分ニハ公債ノ募集ガ出來ルカ出來ヌカソレヲ知ラナカッタト云フ御話デアリマスルガ、是ハ先日正貨ノ激増ヲシタノハ九月十月頃ノコトデアルト云フコトヲ本議場デ申上ゲタコトハ記憶イタシテ居リマス、併ナガラ此豫

算編製ノ時期マデ、公債ノ募集ガ出來ルカ出來ナイカ分ラナカッタ云フコトハ申シタ覺ハゴザイマセヌ、其頃ヨリ金融ノ緩慢ハ隨分ヒドクナッテ居リマシテ、多少ノ公債募集ハ出來ルモノト云フコトハ見當ハ付ケテ居リマサ、併ナガラ此經濟界ノ狀況ト云フモノハ、先日來度ミ申上ゲマスル通りニ、一時ノ變態ニ出デタモノデアリマスルカラ、此變態ヲ基礎ニシテ政策ヲ改メル、或ハ他ノ經費ノ支辨方法ヲ改メルト云フ如キコトハ、ドウモ大早計タルヲ免レヌト政府ハ信ジテ、鐵道ノ財源ノ調達等モ、先ヅ此儘ニシテ豫算ヲ組ンダト云フコトヲ説明ヲ致シタコトハ記憶ヲ致シテ居リマス、即チ其通リデゴザイマス、實際此豫算編製ノ時期マデハ何モ分ラナカッタ云フ譯デハゴザリマセヌ、隨分分ラテ居リマシタ、併シナガラ此現象ハ一時ノ現象デゴザリマスルカラ、此一時ノ現象ニ依ラテ豫算ヲ立テルト云フコトハ其當ヲ得タルモノデナイト信ジタノデアリマス、第三ハ外債償還ニ付テ大藏大臣ハ利廻リ利廻リト云フコトヲ言フガ、利廻リノ善シ惡シヲ選ブノハ放資者ノ爲スコトデアッテ、政府ノ爲スコトデナイ、斯様ナ御說ノヤウデアリマシタガ、ソレハ御尤ノコトト存ジマス、併ナガラ政府モ外債ヲ償還スルニ當ラテ、成ルベク便利ノ宜イ償還ラナスト云フコトハ、政府ガ當然努メナケレバナラヌコトト思フノデアリマス、成ルベク國庫ノ損失ヲ少クシテ償還ノ目的ヲ達シタイト云フコトガ、當局者ノ努ムベキコトデアラウト存ジマス、ソレ故ニ佛貨公債ヲ償還イタシマスレバ、同ジク外國ニ對スル債務ヲ辨償スルノ目的ハ同ジク達シテ、國庫ハ四分半利付ノ英貨公債ヲ償還スルヨリモ損失ガ少イ、寧ロ利益ヲ得ル勘定ニナリマスルカラ、之ヲ先づ以テ償還ラシタ方ガ政府ノ當然ノ職責デアルト信ジテ此案ヲ出シタノデアリマス、ソレニ付テ四分半利ノ英貨公債ノ買入方ニ付テ種々御注意ノ點モゴザリマシタ、是ハ男爵多年ノ御經驗ノ結果ト存ジマシテ、私ハ甚ダ御教示ノコトニ付テハ益ヲ得マシタノデ、財務官任セデ十分ノ効ガ出來ヌ、何トカ注意ラシタラ宜カラウト云フ、是ハ御質問デハナイ、寧ロ御忠告デアリマス、此御忠告ハ有難ク御請ケラ致シマシテ今後ハ精々注意ヲ致シマス、三千萬圓……一年度内ニ凡ソ三千萬圓位ノ買入ガ目下ノ所ハ先づ手一バイン所デアラウト云フノハ、是マデノ經驗デ申上ゲタノデアリマシテ、今後向ウノ經濟狀態モ變化ヲ致シマセウシ、又精々注意ヲ致シマシタラバ其以上ニ買入ガ出來ルカモ知レマセヌ、併シ詰リ是ハ相手仕事デアリマスルカラ、確實ニドレダケハ買入ガ出來ルト云フコトハ無論豫測

ハ出來ナイノデアリマス、ソレカラ六千萬圓ノ公債ヲ有利ニ募集シ得ルノ確信ガアルカト云フノ御尋ニ對シマシテハ、有利ト申シマスレバ是ハ比較的ノ言葉デゴザイマシテ、何ニ比較シテ有利ト云フコトハチヨット茲ニ御答ハ出來兼ネマス、併ナガラ今日ノ金融狀態、又是カラ凡ソ豫期シ得ル所ノ正貨ノ流入等ヲ考ヘ合シテ見マスルト、六千萬圓位ハ募集ガ出來ナイコトハアルマイト信ジテ居ルノデゴザイマス、無論此經濟界ノ事情ヲ知ルニ付キマシテハ、各銀行ノ重モナル人達ノ意見モ徵シタコトモゴザイマス、先日ハ四千萬ノ内債ヲ募集スルガ一バイデ、此以上ニ二千萬ノ公債ヲ募集スルハ不可能デアルト私ガ申シタヤウニ男爵ハ御沙汰デゴザイマシタガ、左様ナコトハ申シタ覺ハゴザイマセヌ、四千萬ノ内債ヲ募集シタ上ニ尙ホ二千萬ヲ募集スルト云フコトハ、是ハ深ク熟慮シナケレバ今決定ハ致シ兼ネルト云フコトヲ申シタノデ、ソレハ其通リデアリマス、其時ト今日トハ聊カ事情ノ異ナル所ガゴザイマス、今日ノ狀況カラ推シテ此五年度内ノ經濟市場ノ有様ヲ考ヘテ見マスルト、此位ノ募集ハ強ヒテ出來ナイコトハナカラウト政府ハ信ジテ居ルノデゴザイマス、先ヅ御尋ニ付キマシテノ答辯ハ是デ御了承ヲ願ヒタイト思ヒマス

○議長(公爵德川家達君) 休憩ヲ致シマス

○午後零時十四分休憩

○副議長(侯爵黒田長成君) 是ヨリ午前ニ引續イテ開會イタシマス

○子爵岡部長職君 本員ハ午前ニ於キマシテ報告ヲ致シマスル際ニ、第三分科主査ノ報告中ニ教育制度調査ニ關シテ希望ノ決議案トデモ申スルヤウナモノヲ朗讀イタシマシテゴザリマス、アレハ矢張リ他ノ三條件ノ希望、豫算ト共ニ決スルト云フコトト同ジ順序ヲ履ミマシテ、第三分科會主査ノ報告ノ分ハ矢張リ豫算ト共ニ希望ヲ以テ決議ヲ致シマシタコトト御承知ヲ願ヒタイ、此段ヲ加ヘテ御報告イタシマス

○馬屋原彰君 私ハ午前ニ質問ヲ致シマシタ件ニ付キマシテ……今茲ニ御見エニナリマセヌガ、内閣總理大臣ハ御出席ニナリマセヌデゴザイマスカ

○副議長(侯爵黒田長成君) 總理大臣ハ御出席ニ相成ル筈デゴザイマス

○馬屋原彰君 ドウカソレデハ御出席ニナッタ上デ述ベタイト存ジマス

○杉田定一君 總理大臣ニ外務大臣ハ御出席ハアリマスノデスカ
○副議長(侯爵黒田長成君) 然ラバ總理大臣ノ出席マデ待ツコトニ致シマス……唯今總理大臣ガ御出席ニナリマシタカラ、馬屋原君、御質問ニナッテ宜ウゴザイマス

○馬屋原彰君 ソレデハ……午前ニ於キマシテ文部大臣ヨリ本員ノ質問ニ對シテ御答辯ニナリマシタルコトハ敬承イタシマシタ、茲ニ其御答辯ノ大體ニ付テ一言希望ヲ述べ置キタイト存ジマス、ソレデ本員ハ敢テ漫ニ此舊派ノ糟粕ヲ主張スルモノデハナイ、若シ幸ニ繪畫ノ要義ニ依リ種々ノ新機軸ヲ出ス者ガアレバ大ニ歡迎スルノデアリマスガ、方今ノ如キ新派トカ、色ミノ新シイ繪畫が流行スルヤウデアリマスルケレドモ、要スルニ或ル一部ノ畫工ガ試験ニ畫ク、畫工其人モ亦本當ニ是ガ成功スルヤ否ヤト云フコトハ自身モ分ラナイ、其試験中ノモノヲ採ッテ文展ナドハ之ヲ獎勵サレルナゾト云フノハ甚ダ遺憾デアリマス、サウ云フ國ハドコニアルカ、世界各國ドコニモナイ、ソコヲ私ハ憂ヘルノデアル、ソレデ本然ノ新機軸ヲ出斯者ガアレバ、實ニ歡ンデ我ニハ歡迎スルノデアルケレドモ、方今ノ如ク模擬的、模擬的ノ折衷派ト云フヤウナモノハ、是ハ繪畫ノ繪畫タル所ノ要義ニ離レテ居ル、要義ニ背イテ居ル、要スルニサウ云フヤウナ變態ノ試験中ノ繪ヲ却ッテ其筋デハ獎勵サレルト云フコトニナルカラシテ、青年畫工ハ是ハ成程獎勵サレルノデアルカラ、其風ヲ倣フト云フ鹽梅デ、段々自分ノ本筋ノ事業ハ擲ッテ、詰リ變態ノ真似ヲスルト云フヤウニナル、サウシマスルト云フト、日本、我ガ固有ノ美術ノ進歩發達ト云フコトハ之ガ爲ニ阻碍サレテ來ル、ソコデサウ云フ模倣的ノ折衷畫ニハ遺憾ナガラ本員等ハ同意ガ出來ナイ、デ日本畫ノ教育ニシテモ、將タ文展ノ出品ノ審査ニシテモ、尙ホ現況ノ儘ニ之ヲ放任シテ置イタナラバ、ドウナルカ、日本畫ハ、純日本畫ハ益々墮落孟浪ニ流レ、サウシテ其結果ハドウ云フ所ニマデ及ブカト云フト、是ハ昔カラ歴史ノ上ニ明カニ分ッテ居ルコトデアリマスルガ、人心ノ墮落ヲ導クノデアル、詰リ繪畫ノ……繪畫デナイ丸デ偽物ダ、偽物ヲ以テ世間ノ分ラヌ人ノ目ヲ迷ハカス、ノミナラズソレガタメ益々其人ノ人心、其人ノ素行、所謂正シイ心マデモ詰リ其繪畫ノ爲ニ素サルルト云フコトニナル、サウ致シマスルト、其繪畫ノ墮落ノ弊タルヤ、遂ニ底止スル所ナキニ至ルノデアル、デ本員ハ深ク之ヲ虞レルノデアル、政府當局ニ於カレマシテハ前途ノ利害ヲ察セラレ、ドウカ適當ナル改善

ノ手段ヲ斷行シテ貰ヒタイ、又此問題タルヤ小事ニアラズ、國家永遠ノ利害ニ至大ノ影響ヲ及ボスベキ問題デアルガ故ニ、内閣總理大臣ニ於カレマシテモ行政各部ノ統一上ニ關スルモノトシテ、深ク此問題ノ解決ニ付テハ御考慮ヲ添ヘラレムコトヲ望ミマス、總理大臣ノ御考ハ如何デゴザイマセウカ

〔國務大臣伯爵大隈重信君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(伯爵大隈重信君) 馬屋原君ノ御希望ハ私モ御同感デアリマス、併ナガラ是ハ頗ル困難ナルコトデ、文部省殊ニ美術學校モ其點ニハ必ズ注意シテ居ルコトト信ジマスルノデアリマス、承ル所、美術學校教科ノ有様ヲ見マスルト先づ其審美學、美學ヲ教ヘ、美學ヲ歴史的ニ教ヘ、古代ノ美術カラニ起タモノモアリ、種々時代ニ依ッテ起タモノモアリ、現代ノ歐羅巴デ教ヘル以外ニ東洋ノ即チ支那、日本ノ、是モ教ヘテ居マシテ、時代ニ從ツテ段々研究ガ進ンデ參リマスルカラ、美術其ノモノニハ色ミ宗教的ニ起タモノモアレバ、貴族的ニ起タモノモアリ、種々時代ニ依ッテ起タモノモアリ、現代ノ文明、現代ノ日本ニ適用スル爲ニハ決シテ研究ヲ怠ラスト思フノデアリマス、畫其モノハ隨分風俗ノ上ニ、人心ノ上ニ影響ヲ及ボスコトハ御論ノ通リデアリマス、十分ニ注意ヲ致シマシテ、文部省殊ニ美術學校ハ注意ヲ怠ラスト存ジマス

〔國務大臣高田早苗君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(高田早苗君) 此場合ニ午前日賀田男爵カラ御質問ガアリマシタコトニ付テ今一應御答ヲ致シテ置キタイト思ヒマス、御質問ノ趣意ハ此前ノ議會ニ貴族院ヨリ建議ニナリマシタ道徳維持ニ關スル建議、其事ノ成績ガ爾來舉テ居ルカ、ドレダケ舉タカト云フコトノ御質問デアリマス、此道徳維持ニ關スル建議ヲ唯今茲ニ讀ンデ見マスルト云フト「道徳ヲ維持シ、其ノ制裁ヲ重カラシムルハ風教上最必要ナル事トス、今ヤ德義ノ制裁漸ク輕クシテ國家ノ前途大ニ憂フ可キモノアルヲ覺ユ就中爲政當局ノ責任者ハ一層此ノ點ニ留意セラレムコトヲ望ム」ト云フ建議案デアリマス、此建議案ノ出マシタ動機ハ刑餘ノ人ガ選舉ニ當選シタト云フコトガ本ニナッテ居リマスヤウデ、其當時ノ提出者柳原伯爵ノ御演説ニモ其事ガ載ッテ居リマスガ、此建議ノ御趣意ノアル所ハ無論私當局ノ責任者ノ一人トシテ、十分ニ服膺シテ居リマスノミナラズ、殊ニ文部ニ關係ノ多イコトデアリマスカラ、特ニ此道徳維持ト云フコトニ付テ留意イタシマシテ、午前モ御話ヲ申上ダタ通リニ出來得ル限り色ミ或ハ諮詢シ又注意ヲ促スト云フヤウナコトヲ致シテ居ル譯デアリマス、尙ホ

ドレダケノ成績ガ舉^{タト}云フコトヲ具體的ニ御話スルコトハ困難デアリマスガ、今後ト雖モ一層此點ハ文部省當局トシテ注意ヲ致ス積リデアリマス、併セテ一言申シテ置キマスガ、先刻目賀田男爵ノ御質問ノ中ニ此學校ニ於テ憲法ノ講義ヲスルト云フヤウナコトノ御話ガアリマシタ、是ハ中學校ニハ御承知ノ通り法制經濟ト云フ科目ガアリマスガ、小學校ノ如キ程度ノ低イ所ニ於テ憲法ノ講義ヲサセルコトハ致シテ居リマセヌ、唯立憲政體ノ今日ニ於テ其立憲政體ノ意味ヲ了解セシムルト云フコト、殊ニ選舉ノ神聖ニシテ大切デアルト云フコト、是ハ小學校ニ於キマシテモ成ルベク會得セシムルト云フコトハ必要デアル、茲ニ於テ紀元節ナドニ於キマシテ、憲法發布ノ紀念日ニ於テ憲法發布ノ詔勅等ノ話ヲ致スヤウナコトハ獎勵シテ居ル次第アリマス、畢竟此建議ノ如キモノガ出デマスト云フコトモ、即チ此謂ハユル瀆職議員、刑餘ノ人ガ當選スルト云フヤウナコトモ、一面矢張リ選舉ノ神聖ト云フコトニ付テ理解ガ薄イ、立憲政體ト云フコトニ付テノ理解ガ薄イト云フコトニ原因スルコトモ妙カラズアラウト思ヒマス、併ナガラ此點バカリニ注意イタシマシテ

〔議長公爵德川家達君議長席ニ復ス〕

道徳維持ニ關スル建議ノ總ラノ目的ヲ達スルト云フ譯ニハ勿論參ラヌノデアリマスカラ、或ハ通俗教育、社會教育種々ノ方面ニ付テ過去モ努メタ積リデアリマスガ、今後モ亦一層注意ヲ致シ、而シテ御建議ノ趣意ニ副フヤウニ努メタイ、斯様ニ考ヘマス

○男爵目賀田種太郎君 本員ハ唯今ノ終末ニ於ケル文部大臣ノ御説明ハ頗ル了解イタシマセヌ、憲政ノコトニ付キ願ハタハ斯ウ云フコトニ御勉強下サレザラムコトヲ望ミマス

○杉田定一君 私ハ先般外交ノコトニ付テ質問ヲ致シマシタガ、マダ要領ヲ得テ居ナイコトモアリマス、又其他ノ事柄ニ付キマシテモ質問ヲ致シタイトオトハ豫算ニハ即チ今日世界大亂殆ド軍國同様ノ議會ト申シテ可ナルヤウナ次第ニアリマスカラ、此御審議ノ際ニ於テ質問ヲ御許シ^タ願ヒタイノデアリマス、先般、此度ノ歐羅巴ノ大亂ハ成ルベク其歐羅巴ニ局限シテ東洋ニハ波及ヲシナイヤウニ、此渦中ニハ成ルベク投ジナイヤウニスルガ世界和平ノ爲ニ宜シカラウト云フコトニ付テ質問ヲ致シマシタ所ガ、外務大臣ハ同感ノ御說

明デゴザイマシテ誠ニ(聽取シ難シ)次第デゴザイマス、ソレデ伺フコトハ此度單獨不講和ノ仲間ニ這入りマシテ、此點ニ付テ衆議院ノ方ニ於テ、タシカ質問ガアッタヤウデアリマスガ、外務大臣ハ此單獨不講和ノ加入ニ付テハ日英同盟以外ニ何等責任ヲ増加シナイ、増加シナイト云フコトヲ御答ニナッタヤウデアリマス、ソレハ共通リデ、固ヨリ共通リデ、然ル次第デ、又サウ御答デアラウト思ヒマス、詰リ日英同盟以外ニ責任ハ増加シナイ、斯ウ云フ御答デアッタ記憶シテ居リマス、此通りデゴザイマスカ、ソレカラ先般其對支帝制延期勸告ニ付キマシテ、是ハ他ニ内治ニ關係ハシナイケレドモ、其結果或ハ内亂ガ起ルト云フヤウナコトニナレバ、即チ利害關係ガ日本ニモ影響スルト云フ所カラ御警告ニナッタヤウデアル、所デ先般ノ質問ニハ上海ニ動亂ガ起^タ、ソレハ鎮リハ致シマシタガ、今日ハ雲貴ガ獨立シ、四川モ殆ド獨立スル、或ハ南清一帶ガ動搖セムトスル模様ガアル、或ハ蒙匪、蒙古ノ方ニ於テモ何カ暴動ガ起^タテ居ルヤウナ次第アリマシテ、之ヲ支那人ノ言葉デ形容シテ云フナラバ、殆ド四百餘州亂レテ麻ノ如クナラムト欲スルヤウナ模様デアルノデアリマス、殊ニ彼ハ帝制ヲ延期スレバ却^タテ内亂ガ起ルカモ知レナイト云フ、所ガ此度ハソレト反對ニ帝制ヲ進行シタ爲ニ其内亂ガ起^タテ又此唱フル所ハ皆帝制反對デ起^タ内亂デ、今日デハ御承知ノ通リ之ヲ其團匪ト申シテモ唯支那ノ定例ノ團匪トカ何トカ云フノデ、唯民間ノ匪賊ト云フヤウナモノデハナイ、其内地ノ秩序ヲ守ラヌナラヌ所ノ大總統直轄ノ師團ガ謀反ヲ致シタト云フコトデアル、言ヘバ己レノ師團、即チ大總統ノ大權ノ下ニ於ケル所ノ官軍ガ謀反ヲ致シタ、是ハ匪賊ノ反亂トハ違^タテ實ニ重大ナル彼ニハ責任ガアラウト思フノデアリマス、ソコデ近來御用新聞ヲ見マスルニ往々支那ニ於テハ内亂、帝制反對ガ續々起^タ、即チ現内閣ノ豫想ノ通りニナッタ、豫言ガ的中シタト云フコトヲ得^タトシテ誇^タテ居ルヤウニ御用新聞ニサウ云フ記事ガ往々現ハレル、成ルホドソレハ其通リ豫想ガ當^タカモ知レマセヌガ、是ハサウカモ知レマセヌケレドモ、ソレダニ依^タテ此帝制延期ノ勸告ト云フコトヲナサ^タノデハナイカ、然ルニ其延期勸告ト云フコトニ付テハ未ダ徹底シテ居ナイデハナイカ、唯其内亂ヲ見テ果シテ我ガ言フガ如クニナッタ、併ナガラ方今ノ帝制問題ノ延期勸告ニ付テハ即チ内亂ヲ防^タグダケノ、鎮メルダケノ

徹底的ノ御警告御行動ガアッタノカ、唯警告ヲサレタバカリデ、唯干涉スル、斯ウ云フヤウナ、此何ナラバ始メカラソレハナサラヌ方ガ宜カッタデハナリカ、實ニ此點ト云フモノハ、帝國ノ威嚴面目ニ關係ヲ致スコトト思フノデアリマスガ、此點ニ付テ政府ハ其警告ヲ徹底的ニ十分ノ御行動ヲ御執リニナリ、又其確信ト云フモノガアルノデアリマスルカ、其點ニ付テ御伺ヒヲ致シタイノデアリマス、又序ニ伺ヒタノハ、此度彼地ニ於テ即チ内亂ガ起ツタ、其内亂ト云フモノハ即チ共和政體ヲ維持シタイ、自分ノ國ノ即チ國體ヲ維持シタイト云フ爲ニ内亂ガ起ツタ來タ、一方ハドウデアルカト云フト、固ツテ居國體ヲ變更シヤウト云フノデナキ、政體ヲ變更ヲシヤウト云フノデアル、サウンテ見レバ或ハ時ニ依ルト政體ヲ守ルト云フ方ガ官軍ノヤウニモ見エル、政體ヲ變更シテ仕舞フト云フ方ガ賊軍ノヤウニモ見エナイデハナキ、サウ云フ疑ガアルノデ、ソコデ此近來聞ク所ニ依レバ、雲貴ガ獨立シタ云フコトヲ外ノ或國ニ通告シタ、其國ニ於テハ其内容ハ知レマセヌガ、先方ノ政府ノ畢竟術策カ知レマセヌガ、又ソレニ對シテ中立ノ態度ヲ執ルト云フヤウナコトノ話モアリマスガ、チヨットソレヲ新聞デ見受ケマシタガ、ソレガ事實デアリマスカ、付キマシテハ我國ハ此帝制ヲ施クト、ソコニ内亂ガ起ル、ソレニ付テ警告ヲ與ヘテ果シテ其通リ内亂ガ起ツタ、我ガ云フ通り守ラナカツタカラ其通り起ツタ、然ラバ彼ハ即チドウ云フカ、雲貴ハ反軍ナリ、或所ニ起ツタ反對ノ方ノ反軍ニ對シテハ我國ハ之ニ對シテ如何ナル態度ヲ御執リナサル御積リデアルカ、其邊ノ所ヲ承リタインデアリマス、ソレカラ元來此對支帝制延期勸告ハ是ハ他ノ誘導ニ依ツテサレタノデアルカ、或ハ又日本カラ進ンデ他ノ國ヲ誘導サレタノデアルカ、詰リ他ノ協商側ヘコチノ方カラ御相談ヲナサツタノカ、向ウノ方カラ相談ヲ受ケテ御ヤリニナツタノカ、即チ此帝制延期警告ト云フモノハ自發的ノモノデアリマシタカ、或ハ他動カラ起ツテ來タノデアリマスカ、其邊ノ所ハ如何ニナルノデアリマスカ、自發カ他動カ、彼カラ誘ツタノカ我カラ誘ツタノデアルカト云フコトヲ承リタインデアリマス、ソレカラ承リタイコトハ昨年モ豫算委員會ニ於テ質問ヲ致シマシタガ、其節要領ヲ得ナカツタ、云フモノハ我國ハ此日英同盟ノ趣意ヲ守リ、十分日英同盟ノコトニ付テハ義務ヲ守リ、有ラム限リノ隨分信義ヲ盡シ

テ居ルノデアル、實ハ此荒漠タル海上ノ面積ヲ日本ニ於テ同盟國ニ代ツテ警衛ニ當リ、又軍器ノ供給又ハ膠州灣ノ戰爭、隨分此協商……最モ同盟國ニ對シテ十分ナル所ノ信義、十分ナル所ノ義務ヲ盡シテ居ル、總テノ國民ガ同情ヲ寄セテ居ツタ次第デアリマスルガ、然ルニ往々此支那ノ方ニ於キマシテ遺憾ナルコトハ、此同盟國ノ人民ノ方カラ往々日本トノ利害ノ衝突ガアルガ如キノ觀ガアルノデアリマス、ソレハ一々列舉シマセヌガ、隨分其利害ノ衝突……衝突デハナキ、却ツテ彼等ヨリ故障ヲ受ケルト云フヤウナコトガ此支那ノ方ニ於テアル、又第四ニ此度ノ事ニ付テモ、アレハ日本人ノ内亂ノ煽動デアルト云フヤウナコトヲ新聞ニ書立テルコトガナイデモナイノデアリマス、是ハ本元デハ知ラナイコトカ知レマセヌガ、出先キノ人民ニ於テサウ云フコトガ起ツテ……ヨモヤ本國カラサウ云フ沙汰ハアリマスマイト思ヒマス、出先キニ於テサウ云フコトガ時ニアッテハ誠ニ此日英同盟ノ親善ガ……益、親善ニ往カナケレバナラヌノニ、誠ニサウ云フ感情ヲ懷イテ居ルノハ甚ダ遺憾デアリマス、其邊ニ付テハ當局者ニ於テノ御考ハサウ云フコトハナイト云フ御考デアリマスルカ、如何デアリマスルカ、又移民問題、我ガ日本ハ年々人口ノ増加スルニ隨ツテ、即チ亞米利加ナリ南洋ナリ或ハ濠洲ナリ新西蘭ナリ、此移民ノ發展ヲ致サナケレバナラヌ、然ルニ帝國ハ全體デハアリマセヌガ、往々移民問題ニ於テ實ニ文明ノ主張シ自由平等ヲ貴ブ所ニ於テ此人類ニ差別ヲ立テラレルト云フコトハ、誠ニ今日仁義公道ノ行ハル世界ニ於テ、實ニ是ハ遺憾デアル、トコロガ米國ニ於テサウ云フコトガアリマス、然ルニ何ゾ測ラムヤ、即チ同盟國タル所ノ殖民地ニ於テ往々日本人ヲ排斥スルト云フ沙汰ヲ聞クノデアリマス、是ハ甚ダドウモ遺憾ナコトデ、同盟國ノ殖民地ニ於テサウ云フコトガアルト云フコトハ甚ダ遺憾ナ次第デアリマスルガ、サウ云フコトハ總理大臣、外務大臣ニ於テハ無イト云フ御考デアリマスルカ、ドウモアレハ之ニ對シテドウ云フ御考デアリマスルカ、ドウシテモ先キ申シマシタ通り、我國ハ日英同盟ヲ守ツテ實ニ此太平洋ノ荒漠タル面積ヲ、今日大ナル面積ノ警衛ノ任ニ當リ、實ニ其他協商國ニ對シテ有ラム限リノ同情ヲ寄セ、多大ノ盡力ヲ致シテ居ルノデアル、ソレニ付テハ同盟國ニ於テ其邊ニ付テ餘ボド汲ンデ貲ハネバナラヌト思ヒマスガ、併シ斯様ナコトヲ今日茲デ申スノハ外交ニ付テ如何デアルト云フ疑問ガアルカ知レマセヌガ、併ナガラ我ガ日本國民ノ(聽取シ難シ)殖民地ナドノコトニ付テハ日本ノ方ニハ讓ツテハナラヌトハ言ハ

スト、サウ云フ所ノ……即チサウ云フ真相ガアルノナラバ唯新聞デナシ、議會ニ於テモ斯ウ云フ質問ガ起ツタカト云フコトガ彼ノ本國ニ分レバ、ソレハ本國政府ハ更ニ知ラナイ、出先キ殖民地ニ於テサウ云フコトガ起ツタノデアルナラバ餘ホド注意セネバナラヌト云フコトデ、彼ノ方ノ参考トモナル、是ガ即チ日支日英ノ親善ノ基トモナルノデアリマスルカラ、徒ラニ今日唯沈黙ヲ守ルノハ却ツテ今日日英親善ノ義デハナカラウト思ヒマスルデ、茲ニ此點ヲ質問イタシタ次第デアリマス、ソコデ近來支那問題ニ付キマシテハ、是ハ新聞ノコトヲ彼此レ申スモ如何デアリマスルガ、決シテ私ハ今日此事ヲ申スノハ黨派問題デアルトカ、サウ云フ考デ申スノデハナイ、全ク憂國ノ精神カラ申スノデアリマスガ、此事ニ付テハ實ニ日英間ノ機關新聞……文明國ノ機關新聞デナイカ知レマセヌガ、報知新聞ノ如キハ近來其事ハドウモ對支……同盟國ノ人ガ色ミノコトヲ言フノデ困ルト云フヤウナコトニ付キマシテハ、是ハ新聞アリマス、付キマシテハ、其邊ノコトニ付キマシテハ今日ハ隨分是ハ世界モ大亂デアリマスルガ、併シ此移民問題ノ如キト云フモノハ實ニ將來大關係ガアラウト思ヒマス、實ニ唯今日戰爭ノアル間ダケハ治マツテ居ルガ、戰サガ濟ムト直グニ日本人排斥ガ續々起ルト云フヤウナコトニナツテハ實ニ甚ダ遺憾デアリマス、付キマシテハソレ等ノ點ニ付テ果シテ其事實ガアルト云フナラバ、政府ノ之ニ對スル所ノ所見、サウ云フヤウナ故障ガアルナラバ、其故障ヲ排斥ヲセラレテ、サウ云フ所ノ考ヲ有シテ居ラレルヤ、又ソレ等ノコトニ付テ途ヲ講究シテ居ラレルノデアルヤ否ヤ、其邊ノコトニ付テ承知イタシタイノデアリマスカラ、總理大臣ヨリ御説明ヲ願ヒタイノデアリマス

○議長(公爵徳川家達君) 杉田君ニ確メマスガ、外務大臣ヘノ御質問デアリマスカ、總理大臣ニ答辯ヲ求メラレルノデアリマスカ
○杉田定一君 私ハ總理大臣ニ御答辯ヲ願ヒタイノデアリマス、併ナガラ大體ノコトニ付テハ總理大臣ニ御説明ヲ願ヒタイ、又細カイコトニ至リマシテハ外務大臣カラ御答ニナツテモ宜シウゴザイマス、成ルベクハ總理大臣ニ願ヒタイ

〔國務大臣男爵石井菊次郎君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(男爵石井菊次郎君) 杉田君ノ御質問ハ主トシテ私ノ管掌スル事項ト存ジマスルカラ、便宜私ヨリ御答ヲ申上ゲタイト考ヘマスル、御質問ノ各事項ハ既ニ貴族院ノ本會議ニ於キマシテモ、亦委員會ニ於キマシテモ、既ニ

幾度カ御答ヲ申上ゲタ事項デハゴザリマスルガ、兎モ角杉田君ノ深ク憂慮セラレテノ御質問デアリマスカラ、反覆ヲ厭ハズ各點ニ付キマシテ要領ヲ申上ゲタイト考ヘマス、御質問ノ第一點ノ倫敦宣言ニ加入シタルコトニ付キマシテ帝國政府ハ日英同盟協約以外ニ責任ノ増加シタルモノナキヤト云フ御問デゴザイマス、是モ屢々御答ヲ申上ゲマシタ通り、政府ノ考デハ何等責任ノ増加シタルモノハナイト認メテ居リマスカラ、此段重ネテ申上ゲテ置キマシタニ支那ニ於ケル帝制延期ノ勸告、政府ハ此勸告ヲ徹底スルノ覺悟アルヤ否ヤト云フ御質問ノヤウニ承リマシタガ、勸告ヲ徹底スルト云フ意味ハ私ニ於キマシテ、支那ニ於テ帝制ヲ實行スルト云フコトハ或ハ支那ノ内部ニ動ハ實ハ明瞭ニ了解イタシ兼ネマスルガ、今日ノ此問題ノ現狀ヲ申上ゲマシタナラバ、或ハ杉田君ノ御問ニ對スル答ニナルカモ知レマセヌ、即チ昨年十月ニ於キマシテ、支那ニ於テ帝制ヲ無期延期シテ居ルノデゴロ惹起スノ憂ガアルト認メマシテ、絕對必要デモナイ帝制ハ其際延期セラレタシト云フ勸告ヲ與ヘマシタノデ、其問題ニ付テノ曲折ハ其後申上ゲマシタカラ茲ニ繰返シマセヌガ、今日ニ於テハ此帝制ヲ無期延期シテ居ルノデゴザイマス、此上貫徹スルト云フ意味ハドウ云フ御趣意カハ存ジマセヌガ、是ヨリ此問題ノ將來發展ヲ待ツテ、更ニ帝國政府デハ態度ヲ決メナクテハナラヌ場合デゴザイマス、將來ノコトヲ豫見イタシマシテ政府ノ態度ハ斯クアラムト申上ゲルコトハ、私ハ差控ヘタイト考ヘマス、支那ノ雲南貴州ニ起ツテ居ル叛軍ニ對シテ、帝國政府ハ如何ナル態度ヲ執ルカト云フ御質問デアリマス、支那ノ叛軍ニ對スル事情ハ政府ニ於キマシテ公電モ受取リマスシ、又公電以外ノ新聞紙上デ承知スル所モゴザイマスルガ、今日ハ御承知ノ通リ未ダ混沌タル有様デアリマシテ、又我ニガ毎日接受スル電報ナルモノモ甚ダ正確ヲ期シ難イノデゴザイマス、今日ノ所日本ニアツテハ誰アツテ支那ニ於ケル形勢ガ斯ミデアルト云フコトヲ正確ニ斷言シ得ル者ハナカラウト思フ、此際ニ當ッテ政府ハ叛軍ニ對シテ如何ナル態度ヲ執ルカト云フ御質問ハ當局ト致シマシテハ聊カ迷惑ヲスル問題デアリマシテ、要スルニ支那ノ態度ガ一層明瞭ヲ加ヘタ上デナケレバ政府ノ態度モ斯ウデアルト云フ御満足ナル返答ハ致シ兼ネマス、政府ハ靜ニ支那ニ於ケル事態ヲ觀望シツツアルノデアリマス、ソレヨリ外ニ今日執ル方法ハナカラウト思ヒマス、帝制延期ノ勸告ハ自發的ナリシヤ又他動的ナリシヤト云フコトノ御質問デゴザイマス、是モ私ハ曩ニ御答ヲシタコトガアルト記憶シテ居リマスルガ、支那ノ問題ニ付キマシテ列國殊ニ同

盟國又ハ與國ノ間ニハ絶エズ意志ノ交換ガアリマシテ、或一ツノ仕事ヲ致シマスニ付キマシテモ朝夕談話ヲ交ヘテ居ル際ニ、自ラ其議ハ熟シテ來ルモノデアリマス、或ハ私ノ方デ自發的デアッタト思ッテ居シテ、又先方デモ自發的ト思フト云フヤウナコトモアルカモ知レマセヌ、要スルニ今日帝國政府ト與國政府トノ間ハ極メテ親密ナノデアリマシテ、始終意志ノ交換ヲ行ヒ、是ガ熟シテ自然各國ノ議トナリマシタノデゴザイマス、自發的トモ他動的トモ申上ゲ兼ネルノデゴザイマス、帝國政府ト與國政府トノ間ノ熟議ノ結果ト御承知ヲ願ヒタインデアリマス、此勸告ハ何故ニ單獨ニナサザリシカ、與國ト提携セザルベカラザル理由ガアッタカト云フ御質問デゴザイマス、帝制延期ノ勸告ヲナスニ付キマシテ、單獨ニ出來ナイト云フ理由ハナカツタノデゴザイマス、去リナガラ支那ニ於ケル動亂ノ起ラザルコトハ、獨リ帝國政府ノミナラズ、我ガ同盟國、與國ニ取リマシテモ共同ノ利益トスル所デアル、共同ノ動作ヲ執ツタ方ガ有利ト考ヘマシテ、共同ノ動作ニ出デタ次第デゴザイマス、我ガ同盟國タル英國人ニシテ支那方面ニ在ル者ヨリ、往々帝國政府若クハ日本人民ニ對スル惡聲ヲ發スル者ガアル、戰爭開始以來多大ノ犠牲ヲ拂ッテ同盟ノ誼ニ走ツタ帝國政府及臣民ニ對シテ斯ル惡聲ヲ放ツ者ノアルト云フノハ、私ハ杉田君ノ言ハル通リ英國ノ臣民ノ中ニ在ルト思ヒマス、其事ニ付テ私ハ杉田君ト遺憾ヲ同ジウスル者デアリマス、丁度此機會ニ於テ私ガ一言申添ヘテ置キタインハ英國人カラ見マスト矢張リ其感ジヲ懷ク者ガ少カラヌダラウトト思フ、デ、帝國政府ノ信義ニ付テハ一點疑ヲ懷クコトハナカラウト思ヒマスガ、矢張リ日本人民、日本ノ新聞ニ於テ我ガ同盟國ニ對シ頗ル不謹慎ニ瓦ルヤウナ言語ガ遺憾ナガラ屢々見受ケル、之ニ對シテ英國政府若クハ英國ノ公衆ガ不愉快ナル感ジヲ抱クノハ、恰モ支那ニ於テチラホラ我ミガ見出ス日本ニ對スル惡聲ニ對シテ我ミガ遺憾ノ感ヲ抱クト同ジコトデアリマス、是等ハ然ラバ政府ニ於テ如何ナルコトヲスル積リカト仰シヤッタヤウデゴザイマスガ、一個人ノ意思ヲ自由ニ表示スルニ付キマシテハ他國ノ政府カラ……自國政府デモ之ヲ牽制スルコトハ困難デゴザイマス、況ヤ他國政府カラ之ニ干涉スルコトハ事實不可能デアリマス、此點ハ特ニ心配ヲシテ居ルコトデアリマシテ、兩國ノ爲ニモ輿論ノ改良ヲ致シマシテ、日英兩國政府ノミナラズ、人民間ニ御互ニ了解ヲ深クシテ、斯ル不愉快ナル又不謹慎ナル言說ヲ發表セナイヤウニナルコトヲ深ク希望スルモノデゴザイマス、此機會

ニ於キマシテハ私ハ御同然ニ努ムベキニトハ帝國內ノ輿論モ大ニ改良スルコトヲ努メナケレバナラヌト考ヘマスルノデゴザイマス、ソレカラ移民問題ニ付キマシテハ是又帝國ニ於テ人口増加ト又海外發展ノ現今ノ狀勢ニ依リマシテ、我ガ同胞ノ發展ノ餘地ヲ見出スノハ政府ニ於テ疾ヨリ努メテ居ルコトデアリマス、移民調査費ヲ要求シテ議會ノ協賛ヲ得タル分ニ對スル各方面ノ調查ヲ遂ゲテ、移民ノ手引キマデ致スト云フ位ノ覺悟ハ有シテ居ルノデアリマス、從フテ我ガ移民發展ノ障礙トナルベキコトハ出來得ル限り排除ヲ努メテ居リマス、此同盟國ニ於ケル我ガ勞働者ヲ入ルルコトニ困難ナル、是又政府ガ年來苦心シテ居ル所デアリマス、此點ニ付キマシテ衆議院ニ於テモ貴族院ニ於テモ既ニ申上グタ通り、戰爭開始以來更ニ殖民地政府及一面英吉利本國ニ我意ノアル所ヲ披瀝シマシテ、目下其談話が繼續シテ進行中デゴザイマス、此結果ハ豫想スルコトハ出來マセヌガ、満足ノ結果ニ到達セムコトヲ現ニ努力シテ居ル際デゴザイマス、左様御承知ヲ願ヒマス

○杉田定一君 唯今ノ御答辯ノ中ニ了解シ得タ所モアリ、又全ク要領ヲ得ナイ點モゴザイマスルガ、支那ノ方ニ於ケル同盟國人ガ惡聲ヲ放ツト云フコトハ、唯新聞紙上デ惡聲ヲ放ツト云フバカリデナク、ソレニ對シテ成ルホド他ノ方デ同盟國人ガ……我國ノ人ニ付テモサウ云フコトガアルカモ知ラヌガ、ソレヲ政府ガ責任ヲ持ツト云フコトハ出來ナイ、其事ニ付テ談判スルト云フコトモナカ〜ムヅカシイコトデアリマセウ、併ナガラ事實問題ニ付キマシテ衝突ガ起ツテ居ル、或ハ鐵道ノ如キ、ソレハ申シマセヌデモ分ツテ居ルダラウト思ヒマス、サウ云フ事實問題ガアル、併シソレハ矢張リ支那ニ移住シテ居ル所ノ人民ガ本國ヘ言ウテヤル、サウスルト忽チ議會ノ問題ニナッテ政府モ之ガ爲ニ動カサレル、其動カサレル爲ニ其結果ガコチラヘ及シテ來ルト云フヤウノコトガ往々アルヤウデアリマス、ソレハ固ヨリ他人ノ都合ノ好イコトヲ圖ツテ己レノ國ノ利益ヲ犠牲ニシナケレバナラヌト云フコトハ同盟國ニ對シテモアリマスマイ、併ナガラドウモ支那ニ於テハ同盟國人ノ間ニ却ツテサウ云フコトガアルヤウデアリマス、或ハソレハ本國デハナイ、全ク移住民カラ動カサレタコトデアルカ知レマセヌケレドモ、ドウモサウ云フコトガアル、併ナガラ事實移民カラ動カサレタコトニシテモ、各本國ノ方デ其ヤウナコトガ積リ積ツテ影響ヲ及ボスコトガアリハセヌカト恐レマス、ソレデ世間デ言フノハ餘リ日本ハ拜英主義デ、餘リ英國ヲ信仰スル、英國ヲ崇拜シ過ギル

カラサウ云フコトガ起ルノデハナイカト言フ者ガ世間ニアルヤウデアリマスガ、ドウモ餘リ同盟國ヲ崇拜シテ信ジ過ギル所カラ左様ナコトガ起ルノデハナイカト云フヤウナ噂ガ世間ニアルヤウデアリマスカラ、唯新聞上ノ惡聲バカリデハナイ、事實ニ於テサウ云フコトノナイヤウニ致シタイト云フ考デアリマシテ、此點ニ付テハ外務大臣ハ恐ラク一々御答辯ハナサレ惡イカモ知レマセヌケレドモ、其邊ニ付テノ御感想ガナイデモアルマイト思ヒマス、私ハ唯新聞紙上ノコトバカリ申スノデハナイノデアリマス、ソレカラマア支那ノ帝制問題ハ延期シテ居ルデハナイカト云フコトデアリマスガ、ソレハドウモ通リ一遍ノ話デアッテ、續々内亂モ起リ、既ニ秩序ヲ維持スル官憲ガ謀叛ヲ起スト云フヤウナコトニ到テハ支那ハ殆ド闇黒ノヤウナ有様ニナッテ居ルノデアル、唯表面延期ト言ツテ居リナガラ一方デハ帝制ノ準備ヲ進行シテ居ルト云フヤウナ次第デアッテ、外ニ向テハ良イ加減ナコトヲ言ツテ、内ニ於テハサウ云フコトヲヤツテ居ルト云フヤウナ次第デ、誠ニ是ハ（聽取シ難シ）苟モ警告ヲシタ以上ハ徹底的ノコトヲ今日御ヤリニナル何ハナイノデアルカ、今ノヤウナ有様デアルナラバ寧ロ初メカラ警告ヲセヌ方ガ帝國ノ面目上又支那ノ人心上ニ考ヘテモ宜イノデアル、唯チヨットヤツテ見ルト云フ位ノコトナラバ寧ロ初メカラヤラヌ方ガ宜カツタノデハナイカト思フノデアリマス、併ナガラ其邊ノ方法ニ至ツテハ一々此處デ御話ニナルコトモムヅカシカラウト思ヒマスガ、私ハ詰リサウ云フ所カラ此警告ガ徹底的ニ帝國ノ面目ノ立ツヤウニ願ヒタイト云フ何デアリマシテ、今日ハ豫算總會デアリマシテ、私ハマダ要領ヲ得テ居ラヌ事柄ガアル、御答辯ニ依ツテ要領ヲ得タ所モアリ、又要領ヲ得ヌ所モ隨分多イノデアリマスカラ……併ナガラ又ソレハ他日ニ讓リマシテ……徒ラニ其事ニ付テ時間ヲ費スト云フコトモ何デアリマスカラ……ドウカ、御答ノ御ムヅカシイ所モアリマセウガ、併ナガラ此趣旨ノアル所ハ、ドウカ成ルベク之ヲ徹底スルヤウニ御盡力ヲ願ヒタイト次第デアリマス

○馬屋原彰君 議長

○議長（公爵德川家達君） 馬屋原彰君ハ何デアリマスカ
○馬屋原彰君 チヨット……
○議長（公爵德川家達君） 政府ニ質問デゴザイマスカ
○馬屋原彰君 希望デアリマスガ……
○議長（公爵德川家達君） 御希望ヲ御述ベニナルノデスカ

○馬屋原彰君 ハイ

○議長（公爵德川家達君） ドウカ質問ノ範圍内デ願ヒタイ
○馬屋原彰君 質問ノ續キデアリマス

○議長（公爵德川家達君） 御希望ト云フコトハ……
○馬屋原彰君 質問ニ付テデス

○議長（公爵德川家達君） 單ニ質問ノミニ願ヒタイ
○馬屋原彰君 質問デ即チソレガ希望……宜シウゴザイマスカ

○議長（公爵德川家達君） 御述ベニナツテ御覽ナサイ
○馬屋原彰君 先刻内閣總理大臣ヨリノ御答辯、並ニ午前ニ於テ文部大臣ノ御答辯、是ハ本員盡ク敬承イタシマシタ、併ナガラ本員ガ午前質問イタシマシタ所ノ件々ハ、皆現狀ニ付テ質問ヲ致シタ譯デアリマスガ……

○議長（公爵德川家達君） 馬屋原君ニ議長ハ一言申上ゲタイト思ヒマス、午前ニ引續キマシテ政府ニ對スル質疑デアルナラバ此際ニ許シマスガ……
○馬屋原彰君 質疑デゴザイマス
○議長（公爵德川家達君） 御希望ヲ御述ベニナルト云フコトナラバ、此時機ハ御延シヲ願ヒタイ

○馬屋原彰君 質疑ニ續イテ居ル
○議長（公爵德川家達君） 單ニ質疑ノ範圍内ナラバ御許シ申シマス

○馬屋原彰君 質疑デゴザイマス、質疑ノ範圍デゴザイマス

○議長（公爵德川家達君） 御注意イタシテ置キマス

○馬屋原彰君 デ、サウ云フ譯デアリマスカラ、政府ニ於カレマシテハ、本員ガ午前ニ質問ヲ致シマシタ件々ニ付テハ、尙ホ能ク學校ノ教育ナリ、文展ノ審査ノ方法ナリ、確實ナル調査ヲ遂ゲラレ、然ル上適當ナル改良手段ノ計畫アラムコトヲ切ニ希望シテ置キマス

○議長（公爵德川家達君） 石渡敏一君ノ登壇ヲ促シマス
〔石渡敏一君演壇ニ登ル〕

○石渡敏一君 私ハ總豫算ノ臨時歲出部、大藏省所管、第七款、帝國鐵道特別會計貸付金、金二千萬圓トアルノヲ削ルト云フ修正案ヲ提出イタシマス、之ニ付テノ理由ヲ述ベマス、我國ノ外國債ハ現今十七億カラ餘計アリマス、此外國債ノ償還ニ付テ人ノ最モ注意スル所モノハ、大正十四年ニ償還ヲスル第一回第二回ノ四分利付五億ノ英貨公債デアリマス、此債還ハ無論我國ニ力

ノ有ルト云フコトハ何人モ疑ハナイ所ニアリマス、併シ何分ニモ高ガ五億圓ト云フノデアフテ、償還期ニ至ラテ多少ノ書換……借換ト云フコトハ免レヌト云フコトモ、亦我ミガ豫期シナケレバナラヌ所ト存ジマス、之ヲ借換ヘルト云フコトニナレバ、ドウ云フ結果ガ起ルカト云フト、無論十年後ノコトデアリマシテ、今日カラ想像スルノハ早イト云フ説モアリマセウガ、又是ハ考ヘテ置カネバナラヌコトデアラウト思フ、ソレニハ矢張リ今日外國ノ……即チ我ガ債權國ノ經濟上ノ狀態モ少シハ聞イテモ見、又書イタモノヲ見ナケレバナラヌト思フノデアリマス、ソレ等ニ依リマスルト、我ガ債權國ノ最モ富ンダル國ト云ハレテ居ル一國ノ公債ノ利ノ高モ、一昨年ガ三分半デアフタ、ソレガ昨年ニハ四分半ニ上フタ、今暫クスレバ五分ニ上ルト云フコトハ噂ニ聞イタ所ナノデアル、現ニ亞米利加ニ英佛ノ名義デ募ッタ公債ハ、其利子ガ五分ト云フコトヲ聞イテ居ル、而カモ戰爭ニ依ツテ英國ノ費ス所ノ戰費ハ日ニ三千五百萬ト聞イテ居ル、此結果ヲ豫想シマスルト、日本ノ五億ノ公債ノ書換ガ十年後デハアルケレドモ、有利ニ書換ヘルコトガ出來ルト云フコトノ見込ハ少シ付カヌト斷言シナケレバナラヌト思フ、此場合ニ日本デハドウ云フ風ニシナキヤナラヌカト言ヘバ、先ヅ豫想ノ不利益ニ對シテノ豫防策トシテハ種々アルト思フ、併ナガラ最モ有力ナルモノハ、日本ノ公債ノ買入償還デハナイカ、買入レテ償還スルノガ一番宜クハナイカト思ツテ居ル、殊ニ現今日本ノ經濟上ノ狀態ハ、最モ此買入償還ヲナスニ適當ナル經濟狀態ト思フノデアルカラ、成ルベク餘計買入ヲシテ後ノ苦ミヲ避ケルト云フコトガ最モ必要デハナイカト思フ、ソレニハ減債基金、減債基金ハ適當ナモノデハナイカ、減債基金ハ内外公債償却ノ積立金デアルト言ハナキヤナラヌト思フカラ、此積立金ヲ増シテ、サウシテ買入償還ヲ餘計ニスル、買入償還ヲ餘計ニスル爲ニ減債基金ヲ增加シテ置クト云フコトハ、當然ノ結論デアラウト思フ、是マデハ餘リ議論ガナイ所デスガ、偒此減債基金ヲ増加スルナルナラバ、何所カラ其増加額ヲ持ブテ來ルカ、財源ヲ何所ニ求ムルカト云フコトガ第三ノ問題ニナルト思フ、ソレニハ從來一般會計カラ鐵道ニ貸シタ所ノ二千萬ヲ削ッテ之ヲ減債基金ニ組入レテ、減債基金ヲ五千萬ニシテ、サウシテ前ノ目的ヲ達シタラ宜カラウガ、ソレハ宜シイトシテモ、鐵道ニ貸シタ所ノ二千萬ヲ削ルト云フコトニ付テハ議論ガ大分アルト思フ、我ミハ鐵道ガ租稅ニ依ツテ經營サルベキモノデナイト云フコトヲ第一ニ平生カラ信ジテ居ルモノデアリマスカラ、

此點ニ付テハ前議會ニ於ケル鐵道特別會計法改正ノ際ニ於テ諸君等カラ論ゼラレ、我ミモ論ジタコトデゴザイマスカラ、再ビ茲ニハ申上ゲマセヌノデゴザイマス、ガ一ツ茲ニ述ベテ置カナケレバナラヌノバ、前大藏大臣ガ前議會ニ於テ述ベラレタコトハ今日ノ所デハ已ムコトヲ得ナイカラシテ二千萬ノ金ハ鐵道ニ使フノデアル、減債基金ヲ削イテ鐵道ニ使フノハ已ムコトヲ得ナイ、外ニ途ガナイカラスウシテ置ク、若シモ公債デモ募ルコトガ出來ル時代ガ來ルナラバ、サウ云フコトヲシナイデ、是ハ減債基金ニ還スト云フコトヲ言ハレタ、鐵道ノ爲ニ公債ヲ募ルコトノ出來ル時期ガ來タカ否ヤ、鐵道ハ公債ヲ募ツテ經營スルコトノ出來ル時代デアリヤ否ヤト云フト、今日ハ鐵道ノ爲ニ二千萬ノ公債ヲ募ルコトノ出來ル時代デアルト云フコトハ殆ド疑ナイ次第デアルト思フ、サウスレバ此二千萬ハ削ツテ減債基金ニ入レルト云フコトハ最モ至當ノ場合デナイカト思ヒマス、之ガ爲ニ鐵道ニ特ニ不都合ガ生ズレバ格別デゴザイマスガ、鐵道ニモ私ハ決シテ不都合ハ生ジナイト思フノハ、前ニモ申ス通リ公債ヲ募ツテ鐵道ノ經營ヲスルコトガ出來ルシ、又實際見込ノ話デアルケレドモ、事實出來ナイトナツタトキニハドウカト云ヘバ預金部カラ金ヲ借リテモ經營ハ出來ル、是ハ分科會ニ於テモ大分質問ヲシマシタ結果カラシテ、我ミハサウ云フ考ヲ得タノデアリマス、ソレ故ニ、鐵道ニ貸シタ所ノ二千萬ヲ削ツテ減債基金ニ入レテ差支ナイト云フ断言ヲシテ差支ナイト存ジマスル、斯ノ如クデアリマスルカラシテ修正案ヲ提出シテ決シテ不道理ノコトハナイ、之ヲバ政府案トソレカラ政府ガ……修正シマシタ案ト較ベテ見タナラバドウ云フ違ガアルカト云フコトヲ考ヘテ見マスルト云フト、先ヅ第一ニ政府ノ出シタ所ノモノト本案ト較ベテ見マスルト別ニ違ハナイノデアル、佛貨公債トカ證券トカ云フノヲ一億法償還スル、此點ハ我ミモ政府ノ計畫ガ宜シイト思フ、唯ソレヨリハモウ少シ進ンデ外國債ヲ償還スルナラバ、減債基金ノ三千萬圓ヲ五千萬マデニ殖ヤシテ、サウシテ此際ハ外國債ヲ銷却シテ貰ヒタイト云フ點ガ政府案ト違ツテ居ル、此違ツテ居ル點ハ我ミノ方ガ宜イト思フ、又實際出來ルナラバ政府ト雖モ是ハ拒ムコトハナイト我ミハ信ジテ居ル、ソレ故ニ本案ト政府ノ原案ト較ベテ見ルト本案ノ方ガ宜イデハナイカ、又本案ト政府ノ修正案ト較ベテ見ルト、ドウ云フ結果ヲ得ルカト云フト、是ハ較ベ物ニナラヌ程ニ本案ノ方ガ宜イノデアルカラ、先ヅ政府ノ修正案ハドウ云フノカト云フト、減債基金ヲバ三千萬ヨリ五千萬ニ増加スルト正案ハドウ云フノカト云フト、減債基金ヲバ三千萬ヨリ五千萬ニ増加スルト

云フコトハ我ミノ修正案ト同一デアル、唯財源ヲバ公債ニ依ルト云フコトデアル、ケレドモ公債ニ依ルトスレバ何故之ヲ二千萬ニ限ツタノカ理由ガ一ツモ立タヌト思フ、又何デ公債ヲ起シテマデモ外國債ヲ償還シナケレバナラヌカ、内國債ヲ起シテ償還シナケレバナラヌカト云フ理由ハ一ツモ説明サレテナイノデ、場合ニ依ツテハ是ハ不利益デモスルノデアルト云フコトヲ暗ニ示サレテ居ルト思フ、ト云フノハ法律ヲ變更スル、法律マデモ變更スルガ、其法律ハ有利ニ償還スルコトバカリヲ從來許シテアル法律ヲ變更シテ、不利益ニ借換ヲシテモ差支ナイト云フ風ニ法律ヲ變更シテ行クノデアルカラ、此度ノ外國債償還ノ爲ニ起ス所ノ内國債ハ何ノ目的、有利ノ目的デアルカ何ノ目的デアルカ殆ド分ラヌ、且ツ二千萬ニ限ツタ此主義モ立タヌト思フ、是ハマア第一點、第二點ハ公債ヲ起ス、公債ヲ起セヌトキハ是ハドウナルデアラウカ、全ク目的ヲ達スルコトガ出來ナクナル、又財源ガ一ツノ公債デアルカラシテ、高クテモ或ハ公債ヲ募集シナケレバナラヌ、利息ガ高クテモ募集ヲシナケレバナラヌト云フノ結果ヲ惹起シハセヌカト思フ、又高イ公債ヲ募集シテマデ、ナゼニ外國債ヲ還サナケレバナラヌト云フコトガ分ラナクナルト同時ニ、當局者即チ大藏大臣ガ高クトモ構ハヌ、公債ヲ募集シサヘスレバ責任ヲ果スト云フヤウナ無責任ナル觀念ヲ起サシムル案デアルト思フ、斯ノ如キ案ト、我ミノ案ト較ベテ見テドチラガ善イカ惡ルイカト云フ、問題ニハ私ハナラヌ位ノ惡ルイ案ト思ツテ居ル、又今日マデハ何人モ政府ノ修正案ヲバ善イトシテ辯護シタ人ヲバ聞イタコトガナインデアル、政府モ此案ニ付テ辯明サレタコトガ一回モナイノデアル、唯斯ウ云フコトヲシマスト云フコトヲ斷言ヲサレタルニ過ギナイ、ケレドモ此案ノ善イ所ヲ述ベラレタコトモナケレバ、委員中カラ此案ガ善イトシ、案其モノガ善イト云フコトヲ述ベタ人モナイノデアルカラ、我ミトシテハ我ミノ案ヨリモ劣ルノミナラズ、政府ノ原案ニモ劣タモノデアッテ、最惡ノ案デアルト、斯ウ言ツテ差支ナイト思ツテ居ル、我ミノ案即チ本修正案、我ミノ修正案ニ對シテ政府ハドウ云フ意見ヲ採ラレタカト云フト、實ハ最初ハ全然反対シテ居ラレタノデ、是ハ先キホド高橋男爵ヨリ政府ハ矛盾ノ言ガアリハシナイカト言ツタキニ、大藏大臣ハ矛盾ノ言ナシト云フコトヲ述ベラレタガ、私ハサウハ認メテ居ナイ、政府ノ言ハレタコトハ大分矛盾ガアリハシナイカト思フノデアル、第一ニ言ハレタノハ、我ミノ案ニ反対サレタノハ二千萬ノ公債募集ト云フコトハ困難

デハナイカ知ラヌト思ヒマス、困難デアルト思ヒマスト云フコトヲバ第一ニ大藏大臣ハ述ベテ、我ミノ案ニ反対シテ居ツタノデアル、ソレカラ其次ニハ今ノ所デ成ルホド公債二千萬圓募集スルコトガ出來ルカモ知ラヌガ、併シ今後モ同ジヤウニ募集シ得ルカ否ヤト云フコトヲ今日デハ見込ヲ付ケル時代デナイカラ、其見込ノ付ク時代ニナツテカラナラバ鬼モ角モ、サウデナケレバ我ノ修正案ニ同意セヌト言ツテ拒ンデ居ツタ、又三ニハ三千萬ダケナラバ四分半利付ノ英貨公債モ英國ニ於テ買付ケラルルガ、是ガ五千萬トナツテハムヅカシイ、ノミナラズ或ハ不可能トナルカモ知レマセヌト言ハレテ反対サレテ居ツタ、四ニハ不利益デアル、不利益デアルガ爲ニ四分半利付ヲ買フト云フコトハ今日不利益デアルト云ウテ反対ヲサレテ居ツタ、ソレカラ五番目ニハ減債基金ノ三千萬外國公債ヲ還シテ、其上ニ佛蘭西公債ヲバ四千萬近ク、三千八百六十萬モ還シ、尙ホ其外ニ二千萬圓モ還ストナルト即チ九千萬還ストナツテハ、償還ノ程度、外國債償還ノ程度ガ過ギルト言ツテ拒ンデ居ツタノデアル、斯ウ云フ風ニ初メハ反対シテ言ツタノデアリマス、所ガ終リニ至ツテ半分ダケハ全ク變更セラレタト思フ、ト云フモノハ政府ガ今度案ヲ修正サレル、外ニ國債ヲ償還スル爲ニ減債基金ヲ五千萬ニ殖ス、殖スト云フコトノ案ヲ政府自ラ提出サレルノデアル、即チ初メニ反対セラレタ所ノ半分、半面ハ既ニ取消サレタモノトシナケレバナラヌト思フ、他ノ半面ハソソナラドウカ、鐵道ヨリ二千萬圓ノ金ヲ削ヅテ、サウシテ減債基金ヲ五千萬圓ニスル、其二千萬圓ヲ削ルト云フ點ダケハ政府ハ不同意ヲ唱ヘテ今日モ居ルケレドモ、其不同意ヲ唱ヘル程度ガ非常ニ變ツテ來タト思ヒマス、初メニ今ノ所デハ公債ハ今日ハ募レテモ是ガ今後募レルカ否ヤガ分ラヌ時代デアルカラシテ、鐵道ノ二千萬圓ヲ削ルコトハ出來ナイト言ツテ反対サレテ居ツタノデアリマス、所ガケレドモ我ミノ考ヘル所デハ政府ハ初メニハ成ルホドヒドク反対シタガ、次ニハ反対ヲ弱メテ來タ、其弱メテ來タノハ何カト云フト、今後我ミト同一ノ態度ヲ取ツテ鐵道ヨリ一千萬ヲ削ラウト云フ案ヲ暗ニ含ンデ居ルノデハナイケレドモ我ミノ考ヘル所デハ政府ハ初メニハ成ルホドヒドク反対シタガ、次ニハ反対ヲ弱メテ來タ、其弱メテ來タノハ何カト云フト、今後我ミト同一ノ態度ヲ取ツテ鐵道ヨリ一千萬ヲ削ラウト云フ案ヲ暗ニ含ンデ居ルノデハナイケレドモ我ミノ考ヘル所デハ政府ハ初メニハ成ルホドヒドク反対シタガ、次ニハ反対ヲ弱メテ來タ、其弱メテ來タノハ何カト云フト、今後我ミト同一ノ態度ヲ取ツテ鐵道ヨリ一千萬ヲ削ラウト云フ案ヲ暗ニ含ンデ居ルノデハナイケレドモ我ミニ懷カシメタ、ソレ故ニ我ミハ政府ノ言葉ノミヲ取ツテ言ツテ見タナラバ前後矛盾トカ、或ハ不信トカ斯ウコトガ我ミハ言ヘヤウト思フ、ケレド

モ之ヲ咎ムルドコロデナクシテ我ミノ説ニ近付イテ來ラレタ、將來全然同ジニナリハシナイカト思フ、其事態ニ於テハ之ヲ私ガ咎ムルヨリハ寧ロ進ンデ來ラル方ノ一日モ早イコトヲ希望イタスノデアル、咎メヌノミナラズ御出下サルノ一日モ早イコトヲ希望スルト云フコトヲ私ハ述ベテ置キタイ、サウシマスルト將來ハ同じコトニナル、政府モ我ミノ案ト同ジヤウナ案ニナルト云フコトヲ我ミハ承知シテ居ル、今日ニナッテ何モサウ急イデ政府ヲバ同意サセルニ及バヌデヤナイカト云フ御説モ起ラヌトハ限ラヌト思テ居ル、是モ御尤モニ違ヒナイガ、政府ガ我ミノ案ニ同意シナイ所ノ理由ハ何處ニアルカト思テ考ヘテ見ルト畢竟鐵道ガ可愛イノデハナイカ知ラヌト思フ、鐵道ニ貸シテアル二千萬ヲ削ル、削ルト鐵道ガ困リハシナイカト云フノガ、政府ガ我我ニ同意ヲシナイト云フ根本デアラウト私ハ考ヘテ居ル、ヨク所謂還元問題ト云フノニ付テ政府ハ非募債主義ニ囚ハレテ居ルノデハナイカト云フ説ヲ唱ヘタ人モアリマスガ、私ハ之ヲ全ク信ジナイ方デ、非募債主義デナクシテ、鐵道政策ノ爲ニ政府ガ囚ハレテ居ルノデハナイカト思ハレル、七年計畫ノ爲ニハドウシテモ二千萬圓必要トスル、而カモソレガ永イ間確カナ財源デナクテハイカヌト云フ考ヲ確カニ有ツテ居タンダラウト思ヒマス、所ガ其考ハ宜イトシテ、宜イニ違ナイケレドモ、ドウモ今日ノ時勢、ソレデハ迎モ立行カヌト云フコトニナッテ、追々是ガ變化ヲシテ來ルノデアル、ケレドモ未ダ變化ノ途中ニアツテ全部變化シ切ラナイ時代デアルカラ、此病ヲ取ツテシマフノガ一番我我ノ考デハ今日ニ必要デナイカ、政府ニ此考ヲ去ラシムルノガ最モ必要デナイカ、是ハドウシテモ少シ我ミノ少數意見デハアリマスガ、本會マヂモ提出シテ、サウシテ諸君ノ判断ヲ請フノガ最モ適當デナイカ、國ノ爲ニ必要デナイカト云フ考デ今日此修正案ヲ提出シタ次第ナシアリマス、無論言葉ノ足リナイ所ガアルコトハ承知デアリマスルガ、其意志ヲ採テドウカ成ルベク贊成ヲ願フ、即チ政府案ヲ排斥シテ、サウシテ我ミノ所謂修正案ハ最モ適當ナモノト信ズルシ、是ハ豫算委員會デハ敗レタモノデアル、敗レタモノデアルケレドモ之ヲ一日モ忽ニシテ置クコトハ出來ナイ、成ルベクナラバ一日モ政府ノ鐵道ニ對スル執著心ヲ止メサシムルノガ適當ナリト考ヘル以上ハ、少數デアツタ所ノ此修正案ヲ本會ニ提出スルト云フコトハ我ミ已ムコトヲ得ナインコトデアルト思フ、國ノ爲ニ亦必要ナコトデハナイカト存ジマスルカラ、諸君ノ贊成ヲ願フ次第デアリマス、ドウカ宜シク願ヒマス

モ之ヲ咎ムルドコロデナクシテ我ミノ説ニ近付イテ來ラレタ、將來全然同ジニナリハシナイカト思フ、其事態ニ於テハ之ヲ私ガ咎ムルヨリハ寧ロ進ンデ來ラル方ノ一日モ早イコトヲ希望イタスノデアル、咎メヌノミナラズ御出下サルノ一日モ早イコトヲ希望スルト云フコトヲ私ハ述ベテ置キタイ、サウシマスルト將來ハ同じコトニナル、政府モ我ミノ案ト同ジヤウナ案ニナルト云フコトヲ我ミハ承知シテ居ル、今日ニナッテ何モサウ急イデ政府ヲバ同意サセルニ及バヌデヤナイカト云フ御説モ起ラヌトハ限ラヌト思テ居ル、是モ御尤モニ違ヒナイガ、政府ガ我ミノ案ニ同意シナイ所ノ理由ハ何處ニアルカト思テ考ヘテ見ルト畢竟鐵道ガ可愛イノデハナイカ知ラヌト思フ、鐵道ニ貸シテアル二千萬ヲ削ル、削ルト鐵道ガ困リハシナイカト云フノガ、政府ガ我我ニ同意ヲシナイト云フ根本デアラウト私ハ考ヘテ居ル、ヨク所謂還元問題ト云フノニ付テ政府ハ非募債主義ニ囚ハレテ居ルノデハナイカト云フ説ヲ唱ヘタ人モアリマスガ、私ハ之ヲ全ク信ジナイ方デ、非募債主義デナクシテ、鐵道政策ノ爲ニ政府ガ囚ハレテ居ルノデハナイカト思ハレル、七年計畫ノ爲ニハドウシテモ二千萬圓必要トスル、而カモソレガ永イ間確カナ財源デナクテハイカヌト云フ考ヲ確カニ有ツテ居タンダラウト思ヒマス、所ガ其考ハ宜イトシテ、宜イニ違ナイケレドモ、ドウモ今日ノ時勢、ソレデハ迎モ立行カヌト云フコトニナッテ、追々是ガ變化ヲシテ來ルノデアル、ケレドモ未ダ變化ノ途中ニアツテ全部變化シ切ラナイ時代デアルカラ、此病ヲ取ツテシマフノガ一番我我ノ考デハ今日ニ必要デナイカ、政府ニ此考ヲ去ラシムルノガ最モ必要デナイカ、是ハドウシテモ少シ我ミノ少數意見デハアリマスガ、本會マヂモ提出シテ、サウシテ諸君ノ判断ヲ請フノガ最モ適當デナイカ、國ノ爲ニ必要デナイカト云フ考デ今日此修正案ヲ提出シタ次第ナシアリマス、無論言葉ノ足リナイ所ガアルコトハ承知デアリマスルガ、其意志ヲ採テドウカ成ルベク贊成ヲ願フ、即チ政府案ヲ排斥シテ、サウシテ我ミノ所謂修正案ハ最モ適當ナモノト信ズルシ、是ハ豫算委員會デハ敗レタモノデアル、敗レタモノデアルケレドモ之ヲ一日モ忽ニシテ置クコトハ出來ナイ、成ルベクナラバ一日モ政府ノ鐵道ニ對スル執著心ヲ止メサシムルノガ適當ナリト考ヘル以上ハ、少數デアツタ所ノ此修正案ヲ本會ニ提出スルト云フコトハ我ミ已ムコトヲ得ナインコトデアルト思フ、國ノ爲ニ亦必要ナコトデハナイカト存ジマスルカラ、諸君ノ贊成ヲ願フ次第デアリマス、ドウカ宜シク願ヒマス

○議長(公爵徳川家達君) 仲小路廉君

〔仲小路廉君演壇ニ登ル〕

○仲小路廉君 私ハ石渡敏一君ノ修正意見ニ賛成ヲ致ス一人デアリマス、本問題ハ今日ハ世上ニ於テ重大ナル問題トナツテ居リマス、殊ニ又政治上ノ關係ニ於キマシテモ極メテ複雜ナル關係トナツテ居ルノデアリマス、去リナガラ私ガ竊ニ考ヘル所デハ本問題ハ決シテ斯ル複雜ナ問題デハナインデアリマス、事柄ハ至フテ簡單ニシテ且ツ明瞭デアル、抑、昨年政府ガ減債基金法ヲ改正シ、鐵道特別會計法ヲ改正シ、非常ナ大業ナ方法ヲ執ラレマシテ、遂ニ今日ニ至フテ斯ル重大ナ問題ヲ惹起スコトニナツタノデアリマスルガ、去リナガラ昨年斯ルコトノ出來タ其原因ハ何デアルカト申シマスルト、唯鐵道ノ改良建設費金ニ要スル二千萬圓ノ金額ヲ調達セムガ爲ニ、鐵道資金二千萬圓ヲ調達スルコトノ其便宜ヲ得ムガ爲ニ、日露戰役後將來ノ内外債ノ償還ニ必要ナル減債基金法ニ手ヲ染メ、殊ニ鐵道ノ自營ヲ以テ本主義トナシテ居ツタ鐵道特別會計法ニマデ、手ヲ著ケ、一般會計ト鐵道ノ特別會計トヲ相混亂シテ、一ツハ一般會計ニ尠カラニ係累ヲ及ボシ、鐵道自ラハ自營ノ本主義ヲ丸デ放擲シテ仕舞フ結果ニナルコトハ、何レノ點カラ考ヘテ見マシテモ此事柄ハ決シテ國家ノ爲ニ宜シクナイト考ヘタノデゴザイマス、ソレ故ニ當時我ミハ當議場ニ於キマシテモ、此事柄ハ將來ニ取ツテ甚ダ不得策ナルモノデアルト云フコトヲ痛論イタシタノデゴザイマスル、然ルニ昨年ハ不幸ニシテ當議場内ニアリマス、併ナガラ我ミト反對ノ側ニ立タレタ諸君ニ於カレマシテモ、結果ニ於テコソハ反對デアリマシタケレドモ、趣意ニ於テハ何レモ御同見デアツタカト云フ考デ今日此修正案ヲ提出シタ次第ナシアリマス、ソレ故ニ結果ニ於テハ其當時已ムベカラザル事由ノアルコトヲ御考慮ニナリマシテ、遂ニ政府ノ提案全部ニ御贊成ニナツタニモ拘リマセズ、反對側ニ御立チニナリマシタ諸君ニ於カレマシテモ矢張リ我ミト其憂ハ共ニ致サレタノデゴザイマス、其結果ハ已ムニ已マレナイ國家ノケレドモ之ヲ一日モ忽ニシテ置クコトハ出來ナイ、成ルベクナラバ一日モ政府ノ鐵道ニ對スル執著心ヲ止メサシムルノガ適當ナリト考ヘル以上ハ、少數デアツタ所ノ此修正案ヲ本會ニ提出スルト云フコトハ我ミ已ムコトヲ得ナインコトデアルト思フ、國ノ爲ニ亦必要ナコトデハナイカト存ジマスルカラ、諸君ノ贊成ヲ願フ次第デアリマス、ドウカ宜シク願ヒマス

得ル時機ガ來タナラバ、宜シク還元復舊ヲシテ置クガ然ルベシト云フコトノ意見ヲ提案サレタノデゴザイマス、當時政府ニ於テモ此提案ノ理由ヲ至當ナリト認メラレテ、他日經濟ノ状態ニ於テ募債ノ出來得ル時ガ來タナラバ、必ず之ヲ還元復舊スルト云フコトヲ明カニ聲明サレタノデアリマスル、即チ昨年ハ不幸ニシテ我ミト結果ニ於テハ反対ノ側ニ立タニモ拘リマセズ、多クノ諸君ノ御盡力ニ依テ政府モ亦斯ル明言ヲ致シテ居タノデアリマス、而シテ昨年ニ比ベテ今年ノ經濟社會ノ状態ハ我ミニ於テハ殊ニ鐵道資金トシテ二千萬圓ノ金額ハ之ヲ募債ヲナスニ決シテ難カラヌト當初ヨリ考ヘテ居タノデアリマス、又今日ノ經濟狀態ヨリ考ヘテ、昨日政府ガ當議場ニ於テ聲明セラレマシタル結果ニ依リマシテモ、實ハ本年度ノ豫算ヲ編製セラル際ニハ須ク其言明ニ依テ疾ニ豫算ニ於テ斯ル編製ガアルノガ當然デアルト考ヘタノデアリマス、然ルニ依然トシテ鐵道ノ資金二千萬圓ハ租稅、殊ニ非常特別稅ニ淵源ヲ致シテ居ル其金額二千萬圓ヲ以テ、殆ド知ラザル真似ヲシテ、依然鐵道資金ニ繰込ンダノデアリマスル、今日ノ經濟狀態ノ上ヨリ考ヘルモ亦唯今石渡君カラ御述ベニナリマシタ如クニ將來ニ於ケル外債償還ノ大策ヨリ考ヘルモ、又昨年貴族院ニ對スル政府ノ政治上ノ關係ヨリスルモ、何レノ點ヨリスルモ昨年ノ言質ヲ全ウスルコトハ是ハ當然デアルノデアル、其結果本年ノ議場ニ於テ豫算總會ノ初メヨリ此問題ハ議場内ニ於ケル重要ナル問題トナツタノデアリマス、又我ミノ多クノ同僚諸君ハ連日連夜此點ニ付テ尠カラヌニ唱道セラレテ居ル妥協ノ成案ナルモノデアリマスル、私共ハ交讓妥協ハ憲ナツタト私ハ思フ、即チ今日更ニ二千萬圓ノ金額ヲ公債ヲ募集シテ之ヲ減債償還ノ金ニ増加スル、ソレガ爲ニ遂ニ法律マデノ改正ヲ企テル、是ガ所謂世上御盡力ニナツタノデアリマス、政府モ亦遂ニハ其議ヲ容レザルヲ得ナイ結果ニ法上ノ考トシテ此事柄ハ無クチャナラヌモノト思フ、決シテ一概ニ妥協其モノヲ非ナリト考ヘナイノデアリマス、交讓妥協ハ憲政上必要ノ關係デアルト思フ、去リナガラ如何ナル場合ニ於キマシテモ其中ニハ前後一貫シタル條理ガ無クテハナラヌモノダト思フ、又如何ニ交讓妥協ノ場合ト申シマシテモ、國利民福ヲ計算ノ外ニ置クコトハ出來ナイモノダト思フノデアリマス、今回歩ヲ進メテ、何故ニ一步ヲ進メテ其募集シタル金額ハ之ヲ鐵道ノ資金トシナ

イノデアリマスカ、而シテ一般會計ヨリ鐵道ニ交付サレル金額ハ先キニ申シ
マス通リニ租稅、就中非常特別稅ニ關スル金額デアリマスカラ、宣シク之ヲ
以テ減債償還ノ基金ニ充テルガ至當デアル、是ガ即チ前後條理ノ立ッタ所以
ト考ヘルノデアリマス、然ルニ此條理ヲ無視シ、鐵道ノ爲ニハ非常特別稅ニ
關スル其金額、即チ利子ノ付カザル金額ヲ、ソレヲ鐵道ニ交付シテ、假令其
内部ニ於テハ多少ノ協定ハアリト致シマシテモ、兎ニモ角ニモ非常特別稅ニ
淵源シタル金額ヲ以テ之ヲ鐵道ノ建設改良費ニ充テ、而シテ外債償還ノ爲ニ
必要ナリトシテ更ニ高利ノ金額ヲ借入ルル便利ヲ開カムガ爲ニ、茲ニ法律マ
デ改正シテ此事ヲ爲ス、是ガ果シテ國家民人ノ爲ニ利益アル所業ト申サレル
デアリマセウカ、私ハ遺憾ナガラ斯様ナ言葉ヲ用ヒルコトヲ好マナイデアリ
マスガ、唯一時ヲ姑息シ、一時ヲ彌縫セムガ爲ニ條理ノ一貫セザルコトヲナ
シ、國家民人ノ爲ニモ不利益ヲ忍ンデ遂ニ事茲ニ至ツタモノダト申ス外ハナ
イト存ジマス、交譲妥協ハ必要デアリマス、去リナガラ斯ノ如ク首尾一貫セ
ザル、何レカラ考ヘテ見テモ不條理ナル斯様ナ結果ニ陷ルコトハ、遺憾ナガ
ラ私ハ之ニ對シテ不同意ヲ表セザルヲ得ナイノデアリマス、唯茲ニ同僚諸君
ニ向ツテ深ク其勞ヲ謝シマスノハ、蓋シ今日内外多事ノ場合ニ於テ豫算ノ不成
立ヲ來タスト云フコトハ實ニ憂フベキモノデアルト御考慮ニナツタノデアリ
マス、故ニ忍ブベカラザルヲ忍ンデ、一步タリトモ我ニ近寄ツテ來タ以上
ハ、先づ十分ナルコトハ期シ難イト致シテモ、セメテ之ヲ以テ満足スルガ宜
カラウト御考慮ニナツタ次第ト思フ、此事モ私ハ又諸君ニ對シテ深イ同情ヲ致
スノデアリマス、是モ我ニ同僚諸君ノ御厚意ト致シマシテハ斯ノ如キ御方向
ヲ御採リニナリマスコトモ已ムヲ得ヌコトト存ジマス、唯私ハ政府ニ向ツテ
疑フ、實ニ政府ノ行動ハ前後一定シタル方針ナク、前後一貫シタル言説ナ
ク、左顧右眄、常ニ所説ハ變ツテ參ルノデアリマス、私共ハ忍ブニ忍ビ難キ
コトマデモ忍バレテ居ル同僚諸君ニ向ツテハ御同情イタスノデアリマスガ、
併ナガラ政府ノ行動ニ付テハ實ニ不服服ヲ表セザルヲ得ナイノデアリマス、
更ニ私ハ又敢テ政府ヲ信ゼヌトハ申サナイ、又謂ハユル今日ノ妥協案ナル
モノニ對シテハ必ズ政府ニ於テモ最善ノ力ヲ盡サレテ、衆議院ノ通過ヲ期ス
ルコトニ御盡力ニナルニハ相違ナイト存ジマス、併ナガラ衆議院ハ又獨立ノ
議政ノ機關デアル、假令政府ノ意思ガソレニ及ブト致シマシテモ、其結果ガ
如何ナルコトニ立至ルヤハ豫メ之ヲ測ルコトガ出來ナイモノデアル、サスレ

バ、今日豫算審査ノ當時ニ於テ現ニ或ル一定ノ意見ヲ有^テ居^タ者マデモ、今回謂ハユル政府ノ妥協案即チ二千萬圓ノ新規公債募集ノコトニ依^テ當初ノ意見ヲ幾分緩メラレタコトニナルノデアリマス、是ハ即チ今ノ事柄ガ成立スルト云フコトノ條件デアリマス、然ラバ其條件ハ少クトモ一院ヲ通過シテ、我ガ貴族院ノ審査ニ付セラルル時機ニナッテ、茲ニ初メテ兩方ヲ考量イタシテ、適當ナル處置ヲ執ルハ至當ト考ヘタノデアリマス、故ニ我ミハ此意見ヲ以チマシテ、過日我ガ同志ノ一員ヨリ願ハクハ今ノ事柄ガ衆議院ヲ通過シテ、貴族院ノ審査ニ付セラルルマデハ當豫算ノ審査モ亦ソレマデハ御見合セニナルガ至當デハナイカト云フ意見ヲ提案シタ人モアッタ、不幸ニシテ是亦容レラレナカッタ、サスレバ此上ハ必要ナル條件ト認メテ居ルモノガ未ダ確カニ成就スル見越ノ付カナイ以上ハ、當初ノ意見ニ依リマシテ、鐵道ニ對スル經費ハ非常特別稅ナル資金ヲ以テ充用スルコトハ不當ナリト認ムル意見ヲ執持イタスコトハ當然ノ筋合ト考ヘルノデアリマス、尙ホ本件ニ付キマシテハ昨年以來我ミハ同ジ意見ヲ以テ同ジ行動ヲ執^テ進ンデ參^タノデアリマス、隨分種々ノ苦心モ經テ參^タノデアリマス、假令今日一面ニ於テ我ミノ意見ガ幾分容レラルルマデノ境涯ニ達シタトハ申シナガラ、昨年以來我ミノ同志者、同行者ニシテ茲ニ修正ノ意見ヲ提出セラル以上ハ、之ヲ唯其儘ニ打棄テ置ク譯ニハ到底參^タノデアリマス、或ハ本年モ亦當議場ニ於テ少數ノ運命ニ遭遇イタスカモ存ゼヌノデアリマス、併ナガラ主張ト意見ノ爲ニハ昨年ト均シク其行動ヲ同ジウスルコトハ政治上當然ノ關係ト心得マス、願ハクハ昨年以來行動ヲ共ニ致シマシタル諸君ハ申スニ及バズ、願ハクハ我ミノ微意ヲ諒察セラレマシテ一人タリトモ多數ノ御賛成アラムコトヲ偏ニ希望イタシマス

〔子爵前田利定君演壇ニ登ル〕

○子爵前田利定君 昨年モ畏敬スベキ先輩ノ仲小路君ト所見ヲ異ニ致シマシテ、此壇上ニ相見エマシタ、本年モ亦遺憾ニモ意見ノ相違ヲ致シマシテ、再び此所ニ見エマスノハ本員ノ深ク遺憾トスル所デアリマス、本員ハ豫算第一分科會ニ於キマシテモ、豫算總會ニ於キマシテモ、三度此壇上ニ於キマシテモ修正說ニ反對ヲ致シマスノデアリマス、併ナガラ其理由ハ毎度申上ゲマス通リニ、此非還元ヲ合理的ノモノト認メテ原豫算案ヲ贊成イタシマスノデアリマセヌ、將來敬服スベキ非還元論ニ遭遇イタシマセヌ限りハ、本員モ亦修

正説論者ノ如ク熱心ナル還元論者デアリマス、故ニ還元論ヲ正論ナリト主張スル點ニ於キマシテハ、本員敢テ修正説論者ニ一步モ讓ラナイノデアリマス、且^ク其論據ノ根柢ガ同一デアリマスニ拘ラズ、其歸著點ヲ異ニ致シマス譯ハ至極簡單デアリマス、即チ還元ノ目的ヲバ達シヤウトスル其道行ガ單ニ異ナルノミデアリマス、修正論者諸君ハ恰モ旅順ノ堅塞ニ向^タ所ノ白鶴隊ノ如キ意氣ヲ以テ肉彈戰ヲヤラレヤウト致サレテ居ルノデアリマス、本員モ此肉彈戰ガ功ヲ奏シテ還元ノ目的ガ最善ニ達成セラルルコトデアリマスレバ、本員不敏ト雖モ其先鋒タルヲ辭セナインデアリマス、併ナガラ此肉彈戰ハ還元ト云フモノヲ自滅ニ導ク所ノモノデアリマス、謂ハユル還元論ニ取^テハ不利ナル軍略デアリマス、故ニ本員ハ甚ダ迂遠デハアリマスケレドモ、電光型ノ塹壕ヲ掘リツツ一步一步其目的ヲ達成スルニ外ナラヌノデアリマス、是ハ還元ノ目的ヲ達成スルノ捷徑デアラウト信ズルノデアリマス、故ニ其目標ハ同様デアリマスケレドモ、戰術ガ達フノデアリマス、今一ツニハ段々修正論者ノ御意見ヲ承^テ居リマスルト云フト、此還元ノ正論ナルコト及現下ノ財政ニ於テハ必要ナル措置デアルト云フ效能ヲバ諄々トシテ述ベラレルノデアリマス、併ナガラ本員ハ斯^ク考ヘルノデアリマス、既ニ還元ノ正論デアルト云フコトモ現下ノ財政ニ對シテ此措置ヲ執ラナケレバナラスト云フ其效能ノコトニ付キマシテハ昨年來耳ニ肝脾ノ出ルホド拜聽シテ居ル位デアリマシテ、今更事新シク還元ノ效能ヲ述べル必要ハナイト存ジマスノデアリマス、本員ハ修正説論者諸君ガ此還元ノ效能ヲ説カレル間ニ、一步進ンデ如何ニセバ此還元ノ目的ヲ達スルコトガ出來ルカト云フ方法ヲ案出シテ居ルノデアリマス、又案出シタノデアリマス、言ヲ換ヘテ申シマスレバ、修正論者諸君ガ此還元ハ正論デアル、正論デアルガ故ニ、イヤデモ政府ニ於テ此措置ヲ御執リナサイ、斯^ク強ヒラレルニ反シマシテ、本員ハ如何ニセバ政府ヲシテ此還元ヲ實行サセルコトガ出來ルカ、實行シ易イ方法ハナイカト云フ點ニ付テ研究ヲ進メタノデアリマス、之ヲ藥ニ譬ヘテ見マスルト云フト、修正説論者諸君ハ此藥ハ無類ノ良藥デアル、良藥デアルカラ苦カラウガ強ヒテ御飲ミナサイ、斯^ク申サレルト同様デアリマス、昔ノ醫者ハ多ク斯^ク云フ筆法デアリマス、病人ガ苦イト云^テモ、此藥ハ利クカラ強ヒテ御飲ミナサイト云^テ口ヲ割ルヤウニシテマデモ飲マセタモノデアリマス、近頃ノ進ンダ醫者ハ決シテサウ云フヤウナコトハシマセヌ、謂ハユル「オブラー^ト」ニ包ンデ飲ミ易イヤ

ウニシテ病人ニ飲マセルノデアリマス、考ヘテモ御覽ナサイ、三尺ノ童子ト雖モ苦イカライヤダト云ッテ、カブリヲ振ル其子供ヲ捕マヘテ強ヒテ藥ヲ飲マセルト云フコトハ、隨分ト骨ノ折レルモノデアリマス、修正說論者諸君ノ執ラル所ノ方法ハ恰モ舊式ノ醫者ノ筆法デアルノデアリマス、本員ハ成ルベク實行シ易イ方法ヲ講ジテ、サウシテ實行ヲスル方ガ醫者ノ則ルベキ途デアルトスウ信ズルモノデアリマス、然ルニソレガ修正說論者諸君ト本員等ト考ノ相違ハ單ニソレダケノコトデアリマス、元來此還元問題ハ度々申上ゲルガ如ク、誠ニ簡單ナル純粹ナル財政問題デアラネバナラヌモノデアリマス、然ルニ遺憾ニモ今日ハ我ミノ豫期ニ反シマシテ政變問題ニ移リ變ツタノデアリマス、政府ガ若シ今少シ道義ノ御觀念ガ厚クアラレテ、サウシテ政府ノ御力ガ……、結合力ガ御強クアツナラバ、此問題ハ政變問題ニナラズシテ解決セラレベキモノデアタラウト深ク遺憾ニ堪ヘナイノデアリマス、併ナガラ理窟ハ理窟ト致シマシテモ、實際是ハ政變問題ニ移リ變ツテ居ルノデアリマス、本員等ガ修正說論者諸君ト轡ヲ駢ベテ鞭ヲ舉ゲテ勇往邁進シタナラバ、ドウ云フ結果ニ至ルデアリマセウカ、豫算ハ不成立ニナル、必ズヤ政變ガ起ルデアリマセウ、豫算ハ成立スルヤ、不成立ニナルヤ、政府ガ瓦解スルカ、存續スルカ、是等正說論者諸君ト轡ヲ駢ベテ鞭ヲ舉ゲテ勇往邁進シタナラバ、ドウ云フ結果ニ至ルデアリマス、又珍シカラヌコトデアリマス、例ヘバ輔弼ノ責ヲ全ウシナイ所ノ政府ノ更迭、國政ニ適應シナイ所ノ豫算ノ不成立ノ如キハ國家ニ於テ利益アルトモ害ハ無イモノデアル場合モアリマスカラ、本員ハ政變ノ惹起トカ、豫算ノ不成立トカ云フ聲ヲ以テ本員等ヲ脅威スルコトヲ好マナインデアリマス、又本員等ハ恐レナインデアリマス、豫算ガ成立シタカラトテ御目出タイ譯デモアリマセズ、豫算ガ不成立ニナツタカラト云ッテ決シテ不目出タイノデハナインデアリマス、豫算ノ成立不成立ハ吉凶以外ノコトデアリマス、故ニ不ノ熱望スル所ノ修正說論者諸君ト同様ニ最モ熱望スル所ノ此還元ト云フコトモ事實不還元同様ナ結果ニ葬リ去ラレテ仕舞フノデアリマス、是ハ熱心ナル還元論者ト致シマシテハ遺憾至極ノコトト感ズルノデアリマス、恐ラク修正

說論者ト雖モ斯ル結果ガ湧イタナラバ必ズヤ御遺憾ノコトデアラウト本員モ思フノデアリマス、謂ハバ戰サニハ勝ツケレドモ實ノナイ勝利デアル、悲哀ノ成立ヤ政變ノ惹起ト云フコトハ目的以外ノコトデアリマス、然ルニ目的トスル所ノ果實ハ得ラレナクシテ目的デナイ所ノ收穫ガ偶々手ニ這入ルト云フコトニナツテハ是ハ誠ニ無意義ナ政戰デアルノデアリマス、而シテ又今日還元ノ議論ガ自然ノ發展ノ結果ドウナルベクト申シマスルト、先キニ申述ベマシタ通リ豫算ノ不成立ニナルト云フコトハ是ハ大地ヲ打ツ槌ハ外レルトモ此觀測ハ決シテ外レツコハナイノデアリマス、是ニ於テ本員ハ大悟徹底ヲ致シタノデアリマス、假令不十分ナル形デアリマシテモ此還元ノ目的ヲ達スルノガ是ガ本員ノ務デアル、還元論者ノ務デアルトスク信ジタノデアリマス、修正說論者諸君ニ對シテモ相成ルベクハ大悟徹底セラレムコトヲ勸告スルノデアリマス、此度政府ハ一法律案ト一追加豫算案ヲ既ニ衆議院ニ御提出ニナツタサウデアリマス、本員ハ未ダ十分ニ其内容ハ詳ニ致シマセヌケレドモ、仄ニ承ル所ニ依リマスルト云フト、此度ノ御提案ハ貴族院ノ要望スル所ノモノヲ御參酌ニナツテ、而シテ御提出ニナツタ趣ニ承リマシタ、而シテ本員ハ政府ノ執ラレタル所ノ苦衷ト、幾分カ貴族院ニ對シテ誠意ヲ御示シニナツタ點ヲ諒ト致シマシテ、圓滿ナル空氣ノ中ニ此還元問題ヲ解決イタシタイト考ヘルノデアリマス、言葉ヲ換ヘテ申シマスレバ政府ハ此一法律案ト一追加豫算案ノ此「オプラート」ガアレバ、飲ミニクイ所ノ還元劑ガ飲易イト申サレルモノデアリマスカラ、本員ハ此「オプラート」ニ包シテ、此還元ノ良藥ヲ政府ニ呈セムトスルノデ、是ハ良醫トシテノ爲スベ本分ト考ヘルノデアリマス、固ヨリ一法律案ト一追加豫算案ナルモノハ謂ハバ現ニ貴族院ニ繫屬シテアル所ノ大正五年度總豫算ノ修正的ノ豫算デアリマスカラ、之ヲ考ヘテ見マスレバ誠ニ筋ノ通ラヌコトモアルヤウニ考ヘラレマス、又不十分不滿足ノモノデアルト云フコトハ修正說論者諸君ト共ニ同様ノ見解ヲ有ツテ居ルノデアリマス、併ナガラ此還元ト云フコトニ付テ最善ト云フコトガ既ニ不可能デアルト云フ以上ニハ本員ハ已ムヲ得ズ次善ヲ盡サナケレバナラヌト思フノデアリマス、此次善ヲ盡スト云フ意味ニ於テ甚ダ不感服デハアリマスケレドモ、此原豫算案ノ維持ヲ致ス所以デアリマス

○男爵目賀田種太郎君 本員ハ發言ニ先ダチマシテ簡單デアリマスガ、一應

政府ノ意志ヲ確メテ置キタウゴザイマス、チヨット茲デ質問ヲ……

○議長（公爵徳川家達君）宜シウゴザイマス

○男爵目賀田種太郎君 政府ハ此際衆議院ニ對シテ……明治三十九年六號ノ法律ニ第五條ノ除外例ヲ設ケラレタサウデゴザイマス、併ナガラソレハ均シク矢張リ國債整理基金ノ豫算ニ這入ルモノデアリマシテ、語ヲ換ヘテ申シマスレバ今此議場ニ懸案中ノ豫算モ變更シ修正スルコトガ名ハ追加豫算ト申シマスケレドモ、追加豫算ノ場合ハ會計法五條ニ闕クベカラザル必要、若クハ已ムヲ得ズシテ生ジタル豫算ノ不足ニ對シテ起ルモノデアリマス、此度衆議院ニ於テ提出セラレタル追加豫算ハ闕クベカラザル必要トハ認メラレヌノデアリマス、何トナレバ既ニ一月二十二日ニ於テ若クハ二十九日ニ於テ政府ノ大藏大臣ハ決シテ其必要ヲ認メテ居ラヌノデアリマス、故ニ此ニ於テ本員ハ總理大臣ニ伺ヒタウ存ジマスルケレドモ、却ツテ御煩ハシウ存ジマスルカラ、念ノ爲ニ法制局長官ニ伺ヒタウ存ジマス、元來斯ノ如キ場合ニ於テ本員ハ見ル所デアレバ明治三十九年法律第六號第五條ノ改正案ト云フベキモノハ單行法ヲ定メ、又此豫算ノ修正デアルベキモノヲ追加豫算トシテ出サレタル法律上制度上ノ見解ハ如何デアリマスカ、總理大臣ヨリ伺ヒマシテ、然ル後本員ハ發言イタシタウゴザイマスルガ、却ツテ煩ハシウ存ジマスルカラ、制度上ノコトデアリマスルカラ一言法制局長官ヨリ伺ヒマシテ、然ル後本員ハ發言イタシタウゴザイマス

〔副議長侯爵黒田長成君議長席ニ著ク〕

〔政府委員高橋作衛君演壇ニ登ル〕

○政府委員（高橋作衛君）唯今ノ御尋ニ御答イタシマスルガ、此度出シマシタル所ノ單行法ハ會計法第五條ヲ改正スルト云フノデハゴザイマセヌ、而シテ又追加豫算ヲ出シマシタノハ已ムヲ得ザル所ノ理由ニ依ツテ出シタト云フノデアリマス、ソレダケ御答イタシマス、斯ル例ガアルノデアリマス

〔男爵目賀田種太郎君演壇ニ登ル〕

○男爵目賀田種太郎君 本員ハ今討議中ノ國債整理基金法ノ關係ヨリ生ズル此豫算ノ問題ニ付キマシテハ是ハ重大ナル事柄ト存ジマス、元來本員等ガ國債整理基金ノ改正ニ、昨年臨時議會ニ於テ反對ノ意ヲ表シマシタルノハ實ハ唯單ニ財政上ノ問題ト云フノデハアリマセヌ、實ニ今日ノ國家ノ基礎トシテ是等ハ變更スベカラズト云フ意見デアリマス、此見地ヨリ見マスレバ、敢テ其間ニ於テ政府ト貴族院トノ問ニ於テ、彼是ノ議論ノアルベキモノデハナイト存ジマス、故ニ昨年ノ本院ノ意志ノアル所ニ適ウテ政府ハ其通リニ其國債整理基金ノ制度及豫算ヲ提出セラルベキガ當然ト存ジマスル、其間ニ於テ敢テ政變トカ其他財政ノ問題トカ云フベキ程ノコトデハナイト存ジマス、誠ニ簡単ナル問題ト存ジマス、此點ニ於テ本員等ハ昨年來意見ヲ陳述イタシテ居ルノデアリマス、何等外ニ懷抱スル所ハナイノデアリマス、然ルニ偶々貴族院ガ昨年以來ノ所說ニ思ヒマシテ今モ之ヲ繼續スルニ拘ラズ、政府ハ一種ノ法律案及追加豫算ヲ衆議院ニ去ル十日ヲ以テ提出シタルコトダサウデアリマス、此點ニ付キマシテ今方ニ本員ハ政府ニ尋ねマシタ所ガ、政府ハソレハ別物ナリト言ハレマス、其御言葉ハ一應如何様デモ宜シウゴザイマスルガ、其精神、其實體ニ於テハ然ルベカラザルコトト存ジマス、何トナレバ假令名ハ何ト設ケマシテモ、矢張リ國債整理基金法五條ノ改正、幾ラ門戸ハ別ニシテモ、入口ハ別ニシテモ入ル所ハ何デアル、出ヅル所ハ何デアル、即チ追加豫算ノ形式之ヲ證明スル、即チ一般會計ノ國債整理基金ノ部ニ於テ入ルモノハ、此度ノ借換ニ依テ入ルモノデアル、出ヅルモノモ同ジク出ヅルモノデアリテ、要スルニ國債整理基金三千萬圓ヲ五千萬圓ト改正スルト云フノト同ジコトデアル、是ハ本員ノ見ル所ヲ以テスレバ、實ニ容易ナラヌコトト存ジマス、何トナレバ今之ヲ包含スル所ノ總豫算ハ此議場ノ懸案デアル、此議場ノ懸案トナッテ貴族院ガ之ヲ討議シ、之ヲ決定スルノ自由ト權利ヲ有スルニ拘ラズ、同時ニ政府ハ之ヲ改正シ、之ヲ變更シ、之ヲ修正セムトスル所ノ法律ト豫算ヲ衆議院ニ提出スルト云フコトハ、誠ニ憲法ノ精神ニ反シ、即チ貴族院ガ此所ニ於テ豫算ヲ議定スルノ權利ヲ侵スモノト本員ハ見マス、若シヤ斯ノ如キコトガ將來例ヲナサムトスルナラバ、是ハ大ニ考フベキコトト考ヘマス、此點ノミナラズ大體ニ於テ此國債整理基金ノ昨年ノ改正ニ對シテ、貴族院ノ懷抱スル意見ハソレノミデアリマセヌ、將來國債ノ償還ヲ確實ニスルト云フコトデアル、之ト共ニ同時ニ茲ニ生ジ居ル海軍補充費若クハ鐵道繼續費ノ問題ヲモ明カニシテ、其財源ヲ確定セムトスルノニアリマス、一體獨リ國債整理基金ノミナラズ、此豫算ニ於テハ種々ノ問題ヲ含ンデ居リマス、一應海軍補充費ニ付テ簡單ニ陳述シテ置キマスガ、其財源ノ不確定ト云フコトハ業ニ已ニ本院ノ見ル所ト存ジマス、財源ガ不確定ノミナラズ、其海軍ノ編成ソレ自ラモ本員ノ見ル所ヲ以

テスルト頗ル不確定デアルノデアリマス、即チ昨年來海軍當局ガ八八艦隊四艦隊ト稱スルノ名義ハ、承リマスルト誠ニ理由モ根據モ無キコトデアリマス、是ハ現ニ豫算ノ審査ニ於テ本員ガ承ル所ニ依レバ、八八ト稱シ八四ト稱スルノハ新聞紙ノ名ヅケタモノト云フコトデアリマス、俗ニ稱スル世間ノ名稱デ、帝國政府ガ下シタル名稱デハナイサウデアリマス、是ハ正シク海軍大臣加藤友三郎君ヨリ承リタリ、若シ違アラバ來ツテ辯明セラルベシ、又併セテ其八四、八八ヲ構成スル艦隊ノ編成ソレ自ラモ、本員ニ於テハ頗ル不分明ノ嫌ナキ能ハズ、何トナレバ當議會ノ初メヨリ、本員ガ尋ネル所ニ從ツテ變化スルノデアリマス、一々辯明ハアリマスルガ、今共是非ハ争ヒマセヌガ、從ツテ尋ヌレバ從ツテ變ハル、是ニ於テ本員ハ海軍、國防ノ名義ニ於テ、實際ニ於テ未ダ研究セラレザルコトヲ認メマス、故ニ縱シヤ大正六年度ニ於テ如何ナル財源ヲ供給セラレテモ、其財源ヲ要スル海軍國防問題ソレ自ラニ於テハ、本員未ダ了知セザルコトヲ此ニ於テ言明シテ置キマス、又鐵道ノコトニ於テモ既ニ度ニ申シマシタコトデアルカラ今茲ニ更ニ中ス勞ヲ省キマス、要スルニ此豫算ニ於テ即チ國債整理基金ノ原案、修正ト否トニ付テハ既ニ問題ノ存スル所、本員ノ喫々スルコトヲヒマセヌ、併シ是ハ政變トカ、或ハ單一ナル財政問題トカ云フニアラズ、無論財政問題デハアリマスルガ誠ニ極メテ分リ易イ問題デ、斯クアラネバナラヌ故ニ申シタ譯デアリマス、決シテ此爲ニ争フ好ミ、議論ヲ致ス程ノモノデハナイノデアリマス、故ニ昨年モ其希望ヲ致シタノデアリマスルカラ、政府ハ政府者タルノ德義上十分ニ之ヲ容レラレテ提出セラルベキコソ其責任、義務ナリト存ズルノデアリマス、併ナガラ事此ニ至ツテハ如何トモスルコトハ出來ナイ、本員ハ茲ニ意見ヲ述べ、併セテ此豫算ニ於テ海軍ノ財政上ノミナラズ、國防其モノニ付テモ本員ノ如キハ未ダ了解スル能ハズト云フコトヲ述ベテ置キマス

〔公爵徳川家達君議長席ニ復ス〕

○議長〔公爵徳川家達君〕 此際會議時間ノ延長ヲ宣告イタシマス、高木男爵ノ登壇ヲ促シマス
 〔男爵高木兼寛君演壇ニ登ル〕
 ○男爵高木兼寛君 私ハ原案賛成者ノ一人デアリマス、聊カ卑見ヲ述べテ贊成イタスノ趣意ト致シタウ存ジマスノデアリマス、抑還元問題ト申スコトハ何ノ爲ニ起リシモノカト申セバ、三十七八年ノ戰役ニ被リタル國病ヲ癒サ

ムガ爲ニ起ツタル問題デアルト思フノデアリマス、病ヲ治スニ付キマシテ御醫者方ガ澤山御捕デ、殊ニ病理學者ハ甚ダ多ク御出デナサイマシテ、種々御討論下サルノデ有難ク謹聽イタシテ居ツタノデアリマス、併ナガラ實際ニ徵シテ見マスレバ、殊ニ私ハ過去五十年來經驗イタシタ所ニ依リマスレバ理論ト實際トハ共趣ヲ異ニ致シマス、理論通リニ我ガ取扱フ所ノ病者ヲ治療シ得ル場合ハ誠ニ少イノデアリマス、此通りト深ク信ジテ手ヲ著ケテ見マスルトナカナカ案外ノコトガアリマシテ、茲ニ於テカ咄嗟ニ機宜ノ處置ニ出デナケレバナラヌコトガ多イノデアリマス、故ニ自カラハ實際ヲ最モ重シトスル一人デアリマス、此度ノ豫算案ニ對スル施設ハ所謂實地ノ問題デアリマシテ、理論ノ問題デハナイ、即チ理論ヲ措イテ實際ニ就ケバ吾人ノ目的ヲ達スルコトガ出来ルコトハ前田子爵ノ御演説ニナッタ通リデアリマス、理論ニ走スレバ失敗ニ終リ、實地ニ走スレバ目的ヲ達スルト云フ譯ニナルノデアリマスルカラ、本員ハ病理學者ノ言フ御説モ貴重ナルニ拘ラズ之ニ御同意スルコトガ出来ナイノデアリマス、尙ホ其他ニ本員ガ當豫算ノ成立ヲ切望シテ止マザル理由ガアリマス、ソレノ曾テ此席へ登壇ヲ致シ政府當局ニ質問ヲ申上ゲタリ又希望ヲ述べタコトガゴザイマス、其時ニ又他ノ場合ニ於テ申スヤウニト云フ議長ノ御注意ヲ戴キマシテ延期イタシマシテ、豫算總會ニ於テ其目的ヲ果シタノデアリマス、斯ノ如キ問題ヲ以テ政府當局ニ御尋イタスノモ抑國家ノ健全ハ何ヲ以テ致スベキカト言ヘバ國民ノ體力ニ在ルト存ズルノデアリマス、然ルニ今ヤ帝國國民ノ體力ハ實ニ衰ナ有様デアリマス、先ヅ英、佛、獨、日本ノ四箇國ヲ對照シテ見マスレバ我ガ日本ホド體力ノ振ハヌ國ハナインデアリマス、今スルコトノ困難ナルハ私ガ申サズトモ、明カナ譯デアリマス、故ニ陸軍大臣ニ御尋ヲ致シタコトハ陸軍ノ徵兵検査ホド國民ノ體力ヲ検査スル場合ハナイ等ニ減少シテ參ルノデアリマス、即チ十七年前ト十七年後ノ今日トヲ對照シマスレバ、十七年前ニハ千人ノ壯丁中四百人ノ甲種合格者ヲ得タ、又十七年後即チ大正三年ニハ三百五十八人ダケノ甲種合格者シカ得ラレヌノデアリマス、然ルニ陸軍大臣ノ御答辯ニ依リマスレバ徵兵検査上甲種ノ合格者ハ次

デアリマスケレドモ、陸軍大臣ノ御答ニ依リマスレバ甲種合格者ガ不足ノトキハ乙種合格者ヲ以テ其數ヲ充タスカラ隊ノ編成上ニ不足ハナイト云フ御答辯ガアッタノデアリマス、然レドモ實質上ニ於テハ乙種合格者ヲ繰上ゲテ我ガ軍隊ヲ編成スル有様ニ至ッテ居ルト云フノハ事實デアルト云フ御説デアリマシタ、斯ノ如キ有様ニナッテ居リマス、尙ホ身長ノ點ヲ申セバ五尺三寸以上ノ者ハ年々ニ増スケレドモ、五尺以上五尺三寸マデノ者ハ身長ガ減ズルト云フ現象デアリマス、身長ダケハ伸ビルト云フコトヲ示シテ居リマスケレドモ、其體格ハ前ニ申述ベマシタ數ニ依ッテ明カニ漸次下落シテ居ルコトヲ證明スルノデアリマス、又軍隊中ニ其外若イ人ミ中ニ肺病及肋膜等ノ著シク增加イタシタルコトハドナタモ御承知ノ通リデアリマス、尙ホ是レ以外ニ瓦ツテ肺病及肋膜ノ多クナリシコトハ十七年前ニ較ベテ見ルト今日ハ六倍強デアリマス、實ニ恐ルベキ趨勢デアリマス、尙又國民中ニ近視眼ノ多クナリシコトハ十七年間ニ三倍ボド近眼ガ出來マシタ、是モ材料ハ陸軍當局ヨリ頂戴イタシタノデアリマス、即チ豫算委員第四分科ノ速記ニ載シテ居リマスカラ、詳細ノ點ハソレニ依ッテ御覽ヲ願フノデアリマス、斯ノ如ク男子ダケハ分ツテ居リマスガ、女子ハ斯ノ如キコトガナイカト申セバ、女子ニ於テモ必ズアルニ相違ナイノデアリマス、之ニ對シテ當局ハ如何ナル設備ヲサレタカト云フノガ問題デアリマス、第一ニ本豫算ニアリマス所ハ文部省ニ於キマシテ衛生主事ヲ置カレマスト云フ件デアリマス、今日マデノ所ハ學校衛生ヲ主管イタスモノガ一人モナインデアリマス、然ルニ幸ニモ規模ハ甚ダ小ナルモノデ遺憾ニ存ズル次第デアリマスケレドモ、手初メトシテ一人ノ衛生主事ヲ置キ、之ヲシテ學校衛生ヲ管掌セシメテ、即チ青年兒童ノ健康ヲ保護スルノ目的ニ充ツル費用ハ此豫算ノ成立ニ依ッテ初メテ出來ルノデアリマス、是等ガ如何ニ健康不良デアルカト云フコトハ豫算委員會ノ速記錄ニゴザイマスカラ、御一讀ヲ煩ハスコトニ致シテ茲ニハ申述ベマセヌ、其次ニゴザイマスモノハ内務省デアリマス、内務省デ保健衛生費トシテ二萬圓ノ要求ガゴザイマス、我國ノ衛生ハ現在ノ所デハ殆ド急性ノ傳染病豫防ヲ取扱フニ過ギナイ設備ノモノデアリマス、急性傳染病以外ニ至ッテ其力ヲ致スコトハ甚ダ今日マデハ微ナルモノデアリマス、ケレドモ此本豫算ニ依リマシテ保健衛生事業ニ著手スルコトニナリマスレバ急性傳染病以外ノ慢性傳染病其他一般ノ健康増進上ニ必要ナル調査ヲ遂グ、以テ國民衛生ヲ保護スルノ端緒ガ開ケルコトニナルノデゴザイ

マス、此問題ハ誠ニ金額ハ些カデアリマスケレドモ、六千萬乃至七千萬ノ國民ノ健康保護ノ上カラ見レバ非常ニ重味ノアルモノト申ス外ナイノデアリマス、故ニ一日モ早ク之ニ著手イタスト云フコトハ國家ノ爲ニ闕クベカラザルコトト深ク信ジテ疑ヒマセヌ、尙又先年本院ガ協贊イタシマシタル工場法デアリマス、此工場法モ今日ニ至ルマテ實施サレズニ居リマス、幸ニ來ル大正五年度ヨリ工場法ヲ實行セム爲ノ費用ノ要求モアルコトハ各位御承知ノ通りデアリマス、此工業ニ從事スル者ノ健康ノ良否ハ國產ノ盛否ニ大ナル關係ガアリマス、國民ガ健康ナレバ生產ノ業モ益進ミ、又製品モ精良ニナリ、製品ツ價格ヲ増ス云フコトヲ致シマス、之ヲ一日遲ラスコトヲ致シマスレバ從ツテ國利ハ減ズルト云フコトニナリマス、長年ノ間希望イタシタル工場法ヲ本年ヨリ行フト云フコトハ極メテ大切ナルコトデ、各位ニモ必ズ御同感デアルニ相違ナイト信ジテ居リマス、以上三點ハ此豫算案ノ成立ニ依ッテ忽チ著手ノ出來ルコトデアリマス、而シテ其事柄タルヤ國家ノ重大ナル問題ニ相違ナイト深ク信ジテ居ル譯デアリマス、尙ホ一言申上ゲタイコトハ國民道徳ノ涵養デアリマス、斯ノ如キ問題ガ我國ニ於テ盛ニ唱道サレルノハ何ノ爲デアルカト申セバ、結局ハ國民ガ國體及政體ノ組織ヲ未ダ審ニシテ居ナイ爲デアリマス、故ニ國民性養成ノ標準ヲ明カニシテ、是ガ徹底ニ對スル施設ヲ十分ニスルト云フコトハ今日ノ場合必要デアラウト思ヒマス、ソレ故ニ政府當局ニ於カレマシテハ、是ガ完備ヲ努メラレムコトヲ切ニ希望イタスト共ニ、右申述ベタル理由ヲ以チマシテ本員ハ本案即チ原案ヲ賛成イタス次第デアリマス

〔仁尾惟茂君演壇ニ登ル〕

○仁尾惟茂君 本員ハ修正案ニ對シマシテ反對ノ意見ヲ抱イテ居リマスルガ、此修正案ハ早クモ本ヲ忘レテ未ニ走ルノ嫌ガアリマス、抑々昨年ニ於キマシテ、減債基金ヲ割イテ一般會計ヨリ鐵道資金ニ二千萬圓ヲ貸付ケタルモノハ、此主タル原因ハ鐵道ノ財源ニ在ツタカ、又基金ノ點ニアッタカト申シマスレバ、當時鐵道ノ財源即チ二千萬圓ト云フモノガ必要ナリト認メマシタ、然ルニ當時財政上ノ困難ニ依リマシテ是ガ財源ヲ得ルコトガ難イ故ニ、遂ニ之ヲ減債基金ヨリ二千萬圓ヲ割クト云フコトニナリマシテ、又減債基金ノ有様ハドウ云フコトデアルカト言ヘバ、數年ノ経験ニ依レバ、五千萬圓ノ中僅ニ一千萬圓ヨリ外債ノ償却ハ出來ナイ、アト四千萬圓ハサマデ差急ガナイ所ノ内

國債ヲ返シテ居ルト斯ウ云フ有様デ、是亦數年來ノ實驗ニ依リマシテ、外債ヲ返サムト欲シマスレバ正貨維持ノ爲ニナシ得ラレヌト云フ、誠ニ悲シキ狀態デアリマシタ爲ニ、僅ニ一千萬圓ヨリ返サナイ、デアルカラ是ヨリハ三千萬圓以上ハ必ズ返スコト致シテ、アト二千萬圓ハ一般會計ヘ戻スト、斯ウ云フコトニナリマシタ、即チ是マデ僅ニ一千萬圓ノミ返シテ居ツタモノヨリハ一步ヲ進メテ、三千萬圓ハ固ク返スト斯ウ云フコトニシマシタノハ、即チ數年來ノ經驗等ニ依リマシテ、是ナラバ正貨ノ維持上ニモ差支ナイト云フ見渡シヲ付ケテ致シタノデ、サウシテ是ハ決シテ三千萬圓ニ限ル譯デハナイ、其以上ハ即チ國庫ノ剩餘金等モアレバ、幾ラデモ此以上返スト云フコトニ致シテアルノデアル、サウシテ此鐵道ノ二千萬圓ト云フモノハ種々綜合セラ付ケマシテモ付キマセヌ故ニ、一方ニハ基金ト云フモノガ殆ド遊ンデ居ルト云フカラ、即チ國庫經濟ノ狀態ヨリシマシテ困難ナ中ニ成ルベク金ヲ遊バセナイヤウニ、有益ナモノニ對シテ之ヲ使ツタ譯合ニナツテ居ルノデアル、サウシテ此二千萬圓ト云フ鐵道ニ財源ヲ與ヘマシタ事柄ハ、昨年ト今年ト變ツテ居ルカト申シマスルニ、決シテ此財源ノ二千萬圓ノ鐵道ニ必要ト云フコトハ變ツテ居リマセヌ、即チ當院ノ多數ガ昨年即チ僅ニ七八箇月ノ前ニ於テ必要ナリト認メタ所ノ二千萬圓デアルト云フコトハ、是ハ即チ此本問題ヲ論ジマスルニ付キマシテ一言申シテ置キマス、是ヨリ修正案ニ對シマシテ意見ヲ述べタイト考ヘマス、ソレデ修正案ノ論據ト致シマスル所ハ何デアルカト言ヘバ、大藏大臣ノ口約ニ於テ、他日公債ヲ募リ得ル場合ガアッタナレバ是ハ公債ヲ募ッテ鐵道ノ財源トシ、一般會計ヨリノ貸金ハ是ハ基金ニ返ス、斯ウ云フ口約ヲ本ト致シマシテ、サウシテ此口約ハ、即チ今日金融ハ緩慢、公債ハ募レル、即チ此事實ヲ現實ニ致シタ、デアルカラ今日ヨリ直チニ此事ヲ履行セネバナラヌ、斯ウ云フノガ即チ修正案ノ基ク所デアリマス、付キマシテ此公債ヲ募リ得ル場合ト云フコトニ付キマシテ、ココガ一ノ論據ノ、論點ノ岐ル所デアルト思ヒマスカラ、之ヲ一つ確メテ掛リタイト考ヘマス、ソレデ口約ノ公債ヲ募リ得ル場合ト云フノハ、一時切リ……即チ本年ハ之ヲ募リ得ルモ來年ハ覺束ナシト、斯ウ云フ場合モ大藏大臣ノ口約ノ中ニ這入ルノデアルカ、之ヲモウ一ツ事實デ申シマスレバ、本年ハ公債モ募集シ得ラルルカラシテ公債ノ財源ニ依ル、來年ハ募債シ得ラレヌカラシテ、一般會計ヨリ再ビ資源ヲ仰グ、斯ウ云フコトニナリマス、拔サウ云フコトガ事實ニ於テ爲シ得ラレルカ得ラレヌカト云フコトガ是

ガ事實問題デアリマス、若シ一朝一般會計ヨリ今年公債ガ募リ得ラレルトシテ此二千萬ヲ一般會計ニ對シ、若クハ他ノ財源ニ之ヲ移シタナラバ再ビ鐵道ガ此財源ヲ得ラレルヤ否ヤ、是ハ今日ノ財政狀態ニ於キマシテ私ハ甚ダ難イコトト思ヒマス、寧ロ再ビ得ルコトハ出來ヌモノデアラウト思ヒマス、サウシタキニハ忽チ鐵道ノ財源ト云フモノニ對シテ非常ナ不安ヲ與ヘル、斯様ナモノデアリマスカラ、一時的デ即チ今年ハ募リ得ルモ、來年ハ募リ得ナイト云フ場合ヲ決シテ公約ノ公債ヲ募リ得ル場合トハ見ラレ得ナイ、大藏大臣ガサウ云フ積リデアツタシテモ我ミハサウ云フ不定ノコトハ認メラレスト考ヘマス、又モウ一ツ此場合ト云フコトニ確メテ置カナケレバナラヌコトガアリマスノハ、高利ノ場合、即チ公債ヲ募レバ鐵道自家ニ於テモ不利ナコトニナル、又之ヲ募レバ他へ害ヲ及ボス、即チ民間一般ノ資本ヲ妨グ、經濟ヲ紊リ、又ハ既定ノ公債ニ對シテモ影響ヲ及ボスト云フ、斯ウ云フ場合モ矢張リ大藏大臣ノ公債ヲ募リ得ル場合ト認メラレルカト云フニ、決シテ是モ私ハ此場合モ認メ得ラレス場合ト思フ、ソレカラモウ一ツハ、鐵道ハ自ラ算盤ヲ取テ、少々利ガ高クテモ是ハ募債シテ資本ニ充テテ宜シイト、斯ウ云フ場合ニアリマシテモ、若シ是ガ他ニ害ヲ及ボスヤウナ高利デアレバ決シテ是ハ許スベカラザルモノデアリマスルカラ、是亦許ス場合デナイト考ヘマス、斯ク先ヅ一時ノ場合ハ其公約ノ範圍内デ極メマシタキニハ、擬此目下來テ居ル所ノ公債ヲ募リ得ル經濟狀態ハ如何デアルカ、是ガ自然的ノモノデアルカドウカト云フコトヲ茲ニ一ツ確メナケレバナリマセヌ、是ハ決シテ自然的即チ國ノ殖產工業等ノ増進發達、謂ハユル國力ノ發達カラ自然ニ來タモノデアルカ、即チ此多數ノ增加ヲ得、之ニ依ツテ…緩慢ヲ來タシタ所ノ原因ハ自然的デアルカ如何カト申スト、決シテ國力發達カラ來ル自然デバナイ、全ク一時時局ノ爲ニ來タト云フコトハ明カニ證跡ガアリマスノデ、ト云フノハ試ニ昨年十二月マデニ正貨ノ這入リマシタ高ガ凡ソ一億八千萬、若クハ二億ト致シマシテ、サウシテ其正貨ト云フモノハ貿易自然ノ力ニ依ツテ來タモノデアルカト申シマスレバ、此事實ヲ調べテ見マスレバ凡ソ六千萬圓ハ兵器彈藥ノ賣却代、九千萬圓ハ軍需品ノ賣却代、其他三千萬ガ船會社等ノ保險料トカ、彼是デ以テ凡ソ一億八千萬ト云フモノニナッテ、即チ國力發達ノ自然カラ來ル狀態ノモノデナイト云フコトヲ明カニ證シマス、サウ致シマシテ即チ曩ノ公約ノ公債ヲ募リ得ル場合ト云フノハ即チ一時ノモノデナイ、サウシテ此金融緩慢ト云フモノハドウ

デアルカト云ヘバ、是ハ全ク自然カラ來テ居ラナイ所ノ一時的ノモノデアルト云フコトガ、茲ニ判定イタシマスレバ、始メテ此修正案ノ公債ヲ募リ得ルカラ、直チニ本年ヨリ之ヲ施行スルト云フコトハ自ラ是ハ消滅ニ歸シハセヌカト考ヘマス、ソレデ修正論者ハ全ク今日ノ事實ガ實現シテ、直チニ大藏大臣ノ公約ノ公債ヲ募リ得ルト云フコトガ今日ノ事實ニ實現ヲ致シテ來タカラ、直チニ公債ヲ募ッテ之ヲ財源ニ充テルト、斯ウ論ジマスルガ故ニ、右ノ如ク私ハ決シテ是ハ大藏大臣ノ公約ト云フモノハ一時的ノモノデナイ、即チ本年募リ得ルモ來年ハ募リ得ラレスト云フ場合デナイン、又經濟上ノ狀態ニ於テハドウカト云フニ、是ハ決シテ自然的ノモノデナイ、即チ一時ノモノデアル、此二ツヲ以テ私ハ修正案ト云フモノハ成立タナイ、即チ自然ニ是ハ消滅スルモノト云フコトヲ一ツ申シテ置キマスノデ、詰リ私ハ此鐵道ノコトニ付キマシテハ素ヨリ今日ノ儘ノ現狀デ之ニ安ンズルノデハナイ、之ニ對シテハ整理ノ問題モアリマスルシ、又廣軌狹軌ノ軌道ノ問題モアリマス、デ是ハ大キニ期スル所ガアリマスルガ、兎ニ角今日ハ斯ノ如キ重大、且ツ調査等ノ細密ヲ要スル問題ノ爲ニ、唯今ノ現狀ヲ維持スルニ止マルカト申セバ、是ハ決シテサウハ參リマスマイト考ヘマスルノデ、ドウカ鐵道ハ先づ今日ノ儘デ一ツ維持ヲ致シテ參リ、サウシテ望ム所ハ之ヲ他日ニ期スルト云フコトニ致シテ、之ヲシタイモノト考ヘマス、ソレカラ又モウ一ツ修正案ハ預金部ノ貸付事情ニ依ルト、斯ウ云フコトガ一ツアリマスガ、是亦決シテ新シク起^タ問題デハアリマセヌ、昨年ニ於キマシテ此問題ガ起リマシテ色々研究調査ヲ致シマシタ、ケレドモ預金ノ性質ト致シテ、斯ノ如ク長期ナルモノニ對シテ容易ニ貸付クベキモノデナイ、又元來ガ地方民間ノ零碎ナル資金ヲ集メタモノデアル故ニ、是ハ地方殖産工業等ノ資金ニ充テルガ穩當デアルト云フヤウナ論モアリマス、兎ニ角當院ハ預金部ヨリ此財源ヲ與フルノハ不可ナリト認メマシテ、ソレデ一般會計ヨリ一千萬圓ヲ出シタコトニ決^タテ居リマス、又昨年ト本年トガ預金部ノ狀態ガ變^タカト申シマスレバ、寧ロ昨年ヨリモ本年ハ此融通ヲ益々不是ナリト認メル、ト云フノハ此正貨ノ問題ニ對シマシテ政府ニハ種々預金ノ金ヲ多數ハ之ヲ不是ナリト認メタコトニ決^タテ居リマス、又昨年ト本年トガ預金部ノ仕事トシテ此正貨ヲ成ルタケ保留スルト云フコトハ、最モ宜シキ策デアラ

ウト考ヘマスル、ソレデ決シテ昨年ヨリモ本年ガ變ハリテ預金ヨリ融通ガ出来ルト云フコトハアリマスマイト考ヘマスル、ソレデ旁々今此鐵道ノ財源ヲ或ハ一年切リ、翌年ヲ測ルベカラヌ所ノ公債ニ依リ、若クハ賴ムベカラヌ所ノ預金ノ金ニ依ルト云フコトハ如何ニモ鐵道財源ヲシテ不安ニ陥ラスルモノデアリマス、若シ是ガ鐵道財源ニシテ斯様ナ未定ナモノデモ宜シトイト云フコトデアレバ、ソレハ宜シウゴザイマスルガ、事業ハ一定シテ益々進ンデ行キマスルシ、一朝財源ヲ絶チマスレバ忽チ鐵道ヲシテ立往生セシムルト云フヤウナコトニナリマスルカラ、是ハ又鐵道ハ鐵道ナリトシテ考ヘナクテハナリマスマイト考ヘマス、又ドウカ此鐵道ノ財源ト云フコトハモウ少シ御考ヲ願ッテ、愈々不必要トアレバ宜シウゴザイマスルガ、此必要ト云フ點ノ消滅シナイ限りハ是ハズ矢張リ相當確實ナ財源ヲ備ヘナケレバナリマスマイト考ヘマス、又全體此修正案ト私共ハ大體ニ於テ大ニ考ガ違ッテ居リマス、ソレヲモウ一つ申述ベタイト思ヒマスルノデアリマス、ソレデ修正者ノ意見モ何故ニ此論ガ起シタカト云ヘバ此度正貨ノ俄ニ劇増ヲシ、内地ノ金融ガ緩慢ノ跡ガアル、是ヨリイタシマシタコトニ對シマシテハ、ドウカ眼ヲ經濟ノ大體ニ一ツ注イデ是ハ處理シナケレバナラヌモノデアルシ、區々タル考ヲ以テ是ハスベキモノデナイ、即チ此俄ニ出來タル所ノ正貨ハ如何利用スペキヤ、即チ此道ヲ講ズルコトガ最モ肝要急務ト存ジマスル、ソレデ第一此利用策ニ付キマシテハ第一ニハ外債ノ償還、第二ニハ此正貨ノ蓄積及保留ノ策ヲ講ジマシテ、サウシテ金融ヲ調和スルト云フコトヲ最モ主眼トセナケレバナラヌ、サウシテ又外債ヲ償却スル點ニ於キマシテモ、ドウ云フヤウニ此金ヲ費消スル方ガ宜イカト云ヘバ、私共ノ素論トシテハ借換銷却ヲ以テ最モ良キコトトスル、何トナレバ此借換銷却ハ内債ヲ借りテ外債ヲ還ス、即チ目下内債ヲ募集シテ金融ノ調和ヲナシ、外ハ債務ヲ減少スル、斯ウ云フコトデ一舉兩得デアル、ソレ故ニ私共ハドウカ此正貨ニ對シマシテハ凡ソ少クモ一億圓位ノ公債ヲ募リタイトスウ考ヘテ居リマス、ソレデ又其募リマスル方法ニ於キマシテハ固ヨリ此募集ナドト云フコトハ實際經濟界ニ當テ見マスレバ誰以テ之ヲ豫定ガ出來マセヌモノデアリマスルカラ、先ツ一億圓ノ内幾千萬ヲ募債シテ見テ、果シテ之ヲ呑込ミ消化シ得ルナラバ第二又幾千萬ヲナニシ、サウシテ尙又障リナク之ヲ消化シ得ルト云フナレバ第三又幾千萬圓ヲ出シ、サウシテ見テ厭氣ガアルナ

レバ、不進ミナレバ之ヲ止メ、又其上ニモ進ムナラバ之ヲ呑マス、斯ウ云フヤウニ此實際ノ遣リ方ニ最モ餘地ヲ與ヘマシテ、募リ得ルダケトモ是亦常則ニ拘ラズ、固ヨリ外債ヲ償却スレバ少シデモ有利ニスルガ當リ前テアル、ケレドモガ今日ハ少シノ計算ノ上ニ於テ損ヲシテモ、今マデ實ニ我國ガ煩ツテ居ル所ノ國ノ大病患ニナツテ居ル所ノ外債ヲ一文デモ餘計還スノガ國ノ益デアル、即チ債務ノ減返ヲスルノガ最モ急務デアルト云フ一段高キ處カラ之ヲ見マシテ、普通ノ計算等ノコトノ利鞘デアルトカ何トカ云フ少シ不利ナルコトハ忍ンデモ、茲デハ債務ヲ減ジテ國ノ煩ヲ減ズルコトガ主デアル、斯ウ云フ一つ考ヲ採ツテ私ハ致シタイ、斯ウ考ヘテ居リマシタノデアリマス、又此度ノ正貨ハ如何デアルカト云ヘバ國力自然ニ來タモノナレバ抛フテ置イテモ國ヲ逃ゲハシマセヌデスガ、斯ノ如キ一時ニ來タモノデアリマスル故ニ是ハドウデモ斯ウデモンテ捉ヘテ置カナクテハ是ガ逃ゲル、一旦逃ダナラバ再び返ラナイト云フモノデアルカラ、ドウカ良イ方法ヲ以テ之ヲ取逃サナイヤウニ致シタイ、斯ウ云フノガ主デアル、ソレ故ニドウカ第一ニ國庫ニ於テモ、第二日本銀行ニ於テモ預金部ニ於テモ力ノ有リタケ之ヲ一つ保留スルノ策ヲ執リ、又第二民間ニ於キマシテハ外國ノ短期ノ公債、若クハ證券等ニ應募シ、又ハ外國債ヲ買入レルトカ、又ハ正貨ノ……資本ヲ要スル事業ハ努メテ之ヲ起シ、殊ニ支那地方ニ於キマシテハ最モ之ヲ放資シテ宜シイコトデアリマス、斯様ニシテ有ラユル策ヲ以テ此正貨ヲ繫グノ方策ト云フコトハ十分ニ努メネバナラナイ、是ガ即チ今度ノ正貨ト云フモノガ不自然ニ來タモノナデアルカラ、兎ニ角是ハ臨機應變ノ策ヲ以テシ、外債ヲ還スニモ一概ニ之ヲ基金デスルトカ、二千萬圓ニスルトカ何トカ言ハズシテ、最モ大キク茲ニシテ置クト云フコトガ最モ大事ナコトデアラウト考ヘテ居リマス、實ハ斯ウ云フ私ハ考ヲ有テ居リマシタ所ガ、政府ヨリ出デマシタ所ノ豫算ハ僅ニ三千八百六十萬圓デアリマシテ、實ハ私共ハ失望ヲ致シタ、モウ少し氣張ルコトガ出来ナカッタデアラウカ、甚ダ不足ヲ感ジテ居リマシタ所ガ、此頃二千萬圓ノ募債ヲスル、斯ウ云フコトガアリマスルノデ、實ハ私共ノ希望カラ申シマスレバ、此二千萬圓ハ少クモ五六千萬圓位ノコトニシテ、御出シヲ願タラ宜カタラウ

ニト云フ位ノ考ヲ私ハ有テ居リマス、サウシテ見マスレバ、隨分經濟狀態ヲ考ヘルト、ソンナニ日本ノ此小サイ經濟界デハ呑切レルモノデハナイト云フ御論モアリマセウガ、私ハ斯様ナコトハ決シテ一旦豫算ヲ定メタコトニ依ツテ、是非ソレダケ無理カラデモセヨ、經濟界ヲ亂シテモセヨト云フ考ハアリマセヌ、豫算ニ於テハ十分ニ積ツテ置キマシテ、サウシテ經濟界ノ狀況、即チ金融調和ノ程度ヲ以テ之ヲ處シテ行ク積リデアリマスルカラ、成ルベク一ツ經濟界ガ許セバ多クノ公債ヲ募ツテ多クノ債務ヲ減ジタイ、斯ウ云フニ過ギマセヌノデアリマス、右ノ如キ私ハ見地ヲ以テ此正貨ノ利用竝ニ金融調和ノ策ヲ目的ト致シテ居リマシタノデアリマスルガ故ニ、ソレデ從ツテ外債ト云フモノモ努メテ多額ノ償還ヲナシ、事實ニ於テハ減債基金還元ノ目的ヨリモヨリ多ク目的ヲ達スルノデアル、斯ウ云フ考ヲ有テ居リマシタノデアリマスル、デ、ドウカ修正ノ御論ニ於キマシテモ成ルタケ此場合ハ常則常律ニ拘ラズシテ、此折角得タル所ノ正貨ニ對シテ成ルベク一ツ之ヲ都合ヨク利用スルト云フ方ノ所謂經濟眼ヲ以テ處理セラレテ、サウシテ此基金還元ノ目的ハ漸ヲ以テ達スルコトニ私ハ致シタイ、斯ウ云フ希望ヲ豫テ懷イテ居リマスルノデ、ソレカラモウ一ツ私ハ終ニ臨ミマシテ別ケテ一言申添ヘテ置キタイノハ、今日ノ我國ノ經濟ノ狀態ハ全ク時局ノ關係ヲ受ケテ居ルト云フコトハ明カデアリマス、ソレガ爲ニ財政モ患ツテ居レバ、經濟モ種々動搖ヲ來タシテ居ルノデアル、ソレデ是ハ平和克復後ニハ此狀態ハ如何ニナリ行クカ、如何ニ落付クカ、是ハ最モ誰モ今日之ヲ斷定シテ斯様ニナルト云フコトヲ斷定スル者ハアリマスマイト思ヒマスガ、實ニは大疑問デアル、此大疑問ノ中ニ居リマシテ、サウシテ此本問題ヲ首メトシマシテ、總テ此平時狀態ニ於テ爲スベキ事柄ヲ今日ニ於テ之ヲ爲スト云フコトハ洵ニ安心ナラヌコトデハナイカ、ドウカ、暫ク自重耐忍シテ時ノ移ルヲ待ツテ、安全ニ事ヲナシタイト云フニ過ギマセヌデアリマスルカラ、此一言ヲ添ヘマシテ、壇ヲ降リマス

○議長（公爵德川家達君） 今朝以來贊否ノ御議論モ大分ゴザイマシタ故ニ最早採決ヲ致シテ御異存ナイト考ヘマス

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長（公爵德川家達君） 豫算委員長ノ報告ハ第一ヨリ第三マデヲ東ネテ致サレマシタガ、此際問題ト致シ、採決ヲ致シマスノハ大正五年度歲入歲出總豫算案ノミト御承知ヲ請ヒマス、即チ議題ト致シマスノハ五十四頁ノ所デゴザ

イマス、問題ハ石渡君ノ提出サレマシタ修正案デゴザイマス、採決ノ方法ニ付キマシテ記名投票竝ニ無記名投票ヲ以テ採決セヨト云フ兩方ノ要求が出テ居リマス、先づ以テソレニ付テ諸君ノ御意見ヲ伺ヒタイト思ヒマス、表決ヲ記名投票トスベシトスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者

多數

○議長(公爵徳川家達君)過半數ト認メマス、故ニ表決ハ記名投票ト決シマシタ、諸君ニ申上ゲマスマデモゴザイマセヌガ、貴族院規則ノ第百八條ニ依リマシテ問題ヲ可トスル議員即チ石渡君修正案ニ同意ノ諸君ハ白色票ニ、反対セラルル諸君ハ青色票ニ、各氏名ヲ記シテ御投票アラムコトヲ請ヒマス、投票ヲ集メマス爲ニ書記官ヲ諸君ノ議席へ差出シマス……御分リニナリマシ

〔書記官投票ヲ集ム

○議長(公爵徳川家達君) 投票漏ハゴザイマセヌカ……投票漏ハナイト認メ
マス、是ヨリ開票イタシマス

〔書記官投票ヲ計算ス〕

○議長(公爵徳川家達君) 記名投票ノ結果ヲ御報告ニ及ビマス、總數百九十二、白色票ヲ投ジタル者卽チ修正案ニ同意ヲ表シタル者二十八、青色票ヲ投ジタル者卽チ修正案ニ反對ヲ表シタル者百六十四、故ニ修正案ハ否決セラレ
マシタ

〔參照〕

贊成者氏名

男爵德川賴倫君	倉富勇三郎君	加藤恒忠君	山之内一次君	室田義文君	江原素六君	中村治兵衛君	由雄元太郎君
魚爵寺島誠一郎君	仲小路廉君	鮫島武之助君	福永吉之助君	磯部四郎君	安樂兼道君	田島竹之助君	本間金之助君
男爵後藤新平君	岡喜七郎君	石渡敏一君	橋本圭三郎君	杉田定一君	古賀廉造君	海江田準一郎君	宇野清左衛門君
佐藤友右衛門君	鎌田榮吉君	佐藤友右衛門君	鎌田榮吉君	佐藤友右衛門君	鎌田榮吉君	佐藤友右衛門君	鎌田榮吉君

反對者氏名

男爵肝付 兼行君 男爵藤井 包總君 男爵山內 長人君
男爵黑瀨 義門君 男爵梨羽 時起君 男爵宮原 二郎君
男爵南岩倉 具威君 男爵伊東 義五郎君 男爵中溝 德太郎君
男爵平野 長祥君 男爵辻 健介君 男爵竹腰 正巳君
男爵山内 豊政君 男爵小早川 四郎君 男爵若王子 文健君
男爵徳川 厚君 男爵千秋 季隆君 男爵眞田 幸世君
男爵坪井 九八郎君 男爵伊丹 春雄君 男爵長松 篤栗君
男爵本田 親濟君 男爵楠本 正敏君 男爵本多 政以君
男爵島津 隼彦君 男爵福原 俊丸君 男爵清水 資治君
男爵岩倉 道俱君 男爵安藤 直雄君 男爵佐竹 義準君
男爵二條 正麿君 谷森 真男君 石井省一郎君
西村 亮吉君 原 保太郎君 富井 政章君 中島 永元君
湯地 定基君 木 内重四郎君 加太 邦憲君
江原 芳平君 倉知 鐵吉君 桑田 熊藏君
植竹三右衛門君 依田仙右衛門君 石橋 謙二君
星島 謹一郎君 廣瀬 満正君 佐々田 懇君
竹村與右衛門君 松尾 廣吉君 荒井 泰治君
尼崎 伊三郎君 橋 本辰二郎君 美馬儀一郎君
日高 榮三郎君 西川 茲五郎君 上松 泰造君
伊藤 由太郎君 堀 正一君 綱藏 平輔君
鈴木 周三郎君 高崎 三重郎君 井芹 康也君

マダ宣告ヲ致シマセヌ、豫算委員長ノ報告ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

○議長(公爵徳川家達君) 過半數ト認メマス
起立者 多數

○議長(公爵徳川家達君) 議事日程第四、國籍法中改正法律案、政府提出、
第一讀會、通牒文ノ朗讀ハ本日ハ總テ省略シテ御異存ゴザイマセヌカ
〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス
〔左ノ提出文及議案ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ載錄ス以下
之ニ倣フ〕

國籍法中改正法律案

右

勅旨ヲ奉シ帝國議會ニ提出ス

大正五年二月七日

内閣總理大臣 伯爵大隈 重信
内務大臣 一木喜徳郎
博士

國籍法中改正法律案

國籍法中左ノ通改正ス

第十八條 日本人カ外國人ノ妻ト爲リ夫ノ國籍ヲ取得シタルトキハ日本ノ

國籍ヲ失フ

第二十條ノ二 外國ニ於テ生マレタルニ因リテ其國ノ國籍ヲ取得シタル日本ノ

本人カ其國ニ住所ヲ有スルトキハ内務大臣ノ許可ヲ得テ日本ノ國籍ノ離

脱ヲ爲スコトヲ得

前項ノ許可ノ申請ハ國籍ノ離脱ヲ爲ス者カ十五年未滿ナルトキハ法定代

理人ヨリ之ヲ爲シ滿十五年以上ノ未成年者又ハ禁治產者ナルトキハ法定

代理人ノ同意ヲ得テ之ヲ爲スコトヲ要ス

繼父、繼母、嫡母又ハ後見人カ前項ノ申請又ハ同意ヲ爲スニハ親族會ノ

同意ヲ得ルコトヲ要ス

國籍ノ離脱ヲ爲シタル者ハ日本ノ國籍ヲ失フ

第二十四條中「前五條」ヲ「前六條」ニ、「前六條」ヲ「前七條」ニ改ム

第二十六條中「第二十條」ノ下ニ「第二十條ノ二」ヲ加フ

○議長(公爵徳川家達君) 過半數ト認メマス、次ニ諸君ニ於テ御異存ガゴザ
イマセヌケレバ、殘リ豫算案全部ヲ問題ト致シ……
諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵徳川家達君) 是ヨリ原案ニ付テ採決イタシマス、原案ニ同意ノ
〔異議ナシト呼フ者アリ〕

附 則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

〔國務大臣一木喜徳郎君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(一木喜徳郎君) 國籍ニ關シマス立法ノ主義ガ國ニ依ツテ異ツテ居リマスガ爲ニ、出生地主義ヲ執ツテ居リマス國ニ生レマシタ者ハ直チニ其國籍ヲ取得イタシマシテ、即チ二重ノ國籍ヲ有スルコトニナリマスノデ、我國ニ於キマシテモ斯ノ如キ種類ノ者ガ漸次其數ヲ増シテ參ルニ拘ラズ、現行法中ニ之ニ對スル規定ヲ闕イテ居リマス、ソレ故ニ此闕點ヲ補フ必要アリト考ヘマス、又之ニ反シマシテ婚姻ノ關係ヨリ何レノ國籍ヲモ有セザル無籍者ヲ生ズル虞ガアル場合モアリマス、此二ツノ闕點ヲ補ヒマスノガ本案提出ノ理由デゴザイマス、何卒御審議ノ上御協賛アラムコトヲ希望イタシマス

○議長(公爵德川家達君) 本案ノ特別委員ノ氏名ヲ書記官ヲシテ朗讀イタサセマス

〔河井書記官朗讀〕

國籍法中改正法律案特別委員

伯爵寺島誠一郎君 子爵岡部長職君 子爵松平乘長君
平山成信君 男爵關義臣君 男爵島津隼彦君
倉知鐵吉君 有松英義君 森田庄兵衛君
○子爵前田利定君 本貝ハ家祿賞典祿處分ニ關スル法律案外一件ノ特別委員會ヲ開キタイト思ヒマス、退席ノ御許ヲ願ヒタウゴザイマス

○議長(公爵德川家達君) 前田子爵ノ要求ニ對シテ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

〔子爵前田利定君「ドウカ委員ノ御方ハ御退席ヲ願ヒマス」ト述フ〕

第二條ノ規定ハ次ノ總選舉ヨリ之ヲ施行ス
附 則

○議長(公爵德川家達君) 議事日程第五、北海道會法中改正法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會
北海道會法中改正法律案

右政府提出案本院ニ於テ修正議決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

大正五年二月八日

貴族院議長公爵德川家達殿
北海道會法中改正法律案

(小字ハ衆議院ノ修正)
(ハ同削除ノ符號ナリ)

（ハ同削除ノ符號ナリ）

北海道會法中左ノ通改正ス

議員ノ任期ハ四年トシ總選舉ノ日ヨリ之ヲ起算ス

第五條中第二號及第三號^{○及第四號}ヲ左ノ如ク改メ第四號ヲ第五號トシ以下順次繰

下ク

二 家資分散又ハ破産ノ宣告ヲ受ケ共ノ確定シタルトキヨリ復權ノ決定確定スルニ至ル迄ノ者

三 六年ノ懲役又ハ禁錮以上ノ刑ニ處セラレタル者

四 六年未滿ノ懲役又ハ禁錮ノ刑ニ處セラレタルトキヨリ復權ノ決定確定スルニ至ル迄ノ者受クルコトナキニ至ル迄ノ者

第七條中「北海道廳ノ官吏」ノ下ニ「及北海道地方費ノ有給吏員」ヲ加ヘ同條第四項ヲ左ノ如ク改ム

北海道廳ノ爲請負ヲ爲ス者及其ノ支配人又ハ主トシテ同一ノ行爲ヲ爲ス法人ノ無限責任社員重役及支配人ハ北海道會議員ノ被選舉權ヲ有セス第八條中「其ノ職ヲ失フ」ノ下ニ「禁錮以上ノ刑ノ宣告ヲ受ケタル者ヲ除ク外」ヲ加フ

第十條中「第二次ノ通常會」ヲ「次ノ通常會」ニ改ム

○國務大臣(一木喜徳郎君) 現行北海道會法ニ依リマスレバ、議員ノ任期ガ

府縣會ノ任期ヨリ一年短クナツテ居リマス、即チ三年ニナツテ居リマス、然ルニ
今日ニ於キマシテハ特ニ北海道會議員ニ限リマシテ其任期ヲ短カクスルノ必
要ハナイト考ヘマス、寧ロ是ハ内地ノ府縣等ノ制度ト同ジク四年ニ致シタ方
ガ適當デアルト考ヘマス、又決算ノ時期ニ付キマシテモ内地ヨリ一年後ラセ
テアリマスケレドモ、是亦府縣ト同ジク其時期ヲ定メマス方ガ適當デアルト

考ヘマス、其外刑法ノ改正ニ伴ヒマシテ選舉ノ資格等ニ付キマシテモ府縣制

等ノ釣合カラシテ之ヲ變更スルノ必要ガゴザイマス、殊ニ此任期ノコト竝ニ

選舉資格ニ關シマスコトハ本年行ハレベキ改選ノ時ヨリ之ヲ實行イタシマス

ノガ適當ト考ヘマスカラシテ、此際此改正案ヲ提出イタシマシタ次第デゴザ

イマス、尙ホ一言申添ヘテ置キマスノハ此案ニ對シマシテハ衆議院ニ於テ修

正ガゴザイマス、此修正ハ本日、日程ニ上ダテ居リマス、市制中改正法律案、町

村制中改正法律案、府縣制中改正法律案、此三法律案ノ趣旨ト相關聯イタシテ

居リマス、其内容ハ先キニ衆議院議員選舉法ノ改正ニ依リマシテ刑ノ宣告ヲ

受ケマシタ者デモ、其判決ガ確定ニ至リマス迄ハ資格ヲ失ハヌコトニナリマ

シタ、然ルニ現行市町村制府縣制等ニ於キマシテハ尙ホ判決確定ニ至ル前刑

ノ宣告ヲ受ケタ時ヨリ権利ヲ失スルコトニナツテ居リマスガ、之ヲ衆議院議員

選舉法改正ノ釣合ニ準ジテ改正スル方ガ適當ト云フコトデ衆議院デ提案ヲ致

シタノデアリマス、此案ニ付キマシテ既ニ一院ニ於テ議決イタシタコトデモ

アリマスシ、又先キニ衆議院議員選舉法改正モ兩院ヲ通過シ現ニ法律トナツテ

居ルコトデアリマス、政府ニ於キマシテモ強ヒテ反対ヲ致シマセヌ、ソレデ

其同ジ趣旨ヲ以テ北海道會法中改正法律案ニモ衆議院ニ於テ修正ヲ加ヘマシ

タノデアリマス、是亦政府ニ於キマシテハ強ヒテ異議ハゴザイマセヌ、併セ

テ申述ベテ御参考ニ供シマス、何卒御審議ノ上御協賛アラムコトヲ希望イタ

シマス

○議長(公爵徳川家達君) 特別委員ノ氏名ヲ御報告ニ及ビマス

〔河井書記官朗讀〕

北海道會法中改正法律案特別委員

侯爵花山院 親家君 伯爵島津 忠麿君 子爵松平 乘承君

子爵京極 高義君 男爵南岩倉 具威君 阪本 彬之助君

安立 紅之君 田島 竹之助君

細谷 嶽太郎君

○議長(公爵徳川家達君) 議事日程第六、華族世襲財產法改正法律案、政府
提出、第一讀會ノ續、特別委員長報告、富井政章君

華族世襲財產法改正法律案

右別冊ノ通修正セリ依テ及報告候也

大正五年二月十日

右特別委員副委員長 富井 政章

貴族院議長公爵徳川家達殿

(小字ハ委員會ノ修正、
ハ同例除ノ符號ナリ)

華族世襲財產法

第一條 有爵者ハ○其ノ家格ナ維持スルニ必要ナル範圍内ニ於テ
世襲財產ヲ設定シ又ハ之ヲ増加スルコトヲ得

第二條 世襲財產ノ設定又ハ増加ハ遺言ヲ以テ之ヲ爲スコトヲ得

第三條 有爵者カ未成年者、○禁治產者○又ハ準禁治產者ナルトキハ○世襲
財產ヲ設定○又ハ増加スルコトヲ得

第四條 有爵者カ疾病其ノ他ノ事由ニ因リ家產ナ治ムルニ堪ヘヌ又ハ之ヲ傾クルノ虞アルトキハ家政協
議員會ハ本人ニ代リテ前項ノ認可ヲ申請スルコトヲ得

第五條 世襲財產ハ家寶、不動產、登錄國債又ハ記名ノ有價證券ニ限ル
第六條 世襲財產ヲ設定又ハ増加セムトスルトキハ其ノ財產ノ目錄ヲ添
前項ノ場合ニ於テ必要アリト認ムルトキハ宮内大臣ハ目錄ニ記載シタル財
產ヲ世襲財產ト爲スノ當否ヲ調査フヘシ

第七條 宮内大臣ハ前條ノ調査ニ依リ支障ナシト認メタル財產ニ付第五條
ノ認可ノ申請アリタル旨ヲ一週間公告スヘシ

前項ノ公告ニハ土地ニ付テハ其ノ所在地目及面積、建物ニ付テハ其ノ所

在種類構造及建坪其ノ他ノ物件ニ付テハ其ノ品目種類箇數其ノ他必要ナ
事項ヲ掲クヘシ

及債權者

第八條 前條ノ規定ニ依リ公告シタル財產ニ關シ權利ヲ有スル者又ハ民事
上ノ強制執行、假差押若ハ假處分ニ著手シタル者ハ前條第一項ノ公告期
間内又ハ其ノ期間満了後二月内ニ之ヲ宮内大臣ニ申出ツヘシ

世襲財產ノ設定又ハ増加ノ認可ハ前項ニ定メタル期間満了ノ後ニ非サレ
ハ之ヲ爲スコトヲ得ス

第九條 宮内大臣ハ世襲財產設定ノ認可ノ申請ノ全部又ハ一部ヲ認可スヘカラサル理由アリト認ム
ルトキハ華族世襲財產審議會ニ諮詢スヘシ
華族世襲財產審議會ニ關スル規程ハ宮内大臣之ヲ定ム

第十九條 宮内大臣ハ世襲財產ノ設定又ハ増加ヲ認可シタルトキハ其ノ旨及
第七條第二項ニ掲タル事項ヲ公告スヘシ

第十條 前十條ノ規程ハ世襲財產ノ増加スル場合ニ亦之ヲ適用ス

第十一條 宮内大臣ハ華族世襲財產臺帳ヲ設ケ世襲財產ニ關スル事項ヲ登
錄スヘシ

第十二條 宮内大臣ハ世襲財產中登録國債アルトキハ國債登録簿ニ世襲財產タル旨ヲ
登録シ有價證券アルトキハ宮内大臣ハ之ニ世襲財產タル旨ヲ記入スルコトヲ要ス

第十三條 世襲財產タル旨ヲ記入スルコトヲ要ス

株券又ハ社債券ニ付テハ前項ノ規定ニ依ルノ外株主名簿又ハ社債原簿ニ
世襲財產タル旨ヲ記入スルコトヲ要ス

登録國債又ハ有價證券ノ世襲財產タル效力ハ前二項ノ要件ヲ具備スルニ
非サレハ之ヲ以テ第三者ニ對抗スルコトヲ得ス

第十四條 世襲財產ノ效力ヲ第三者ニ對抗スルコトヲ得ルニ至リタ
後ハ其ノ前ノ原因ニ基キ世襲財產ニ付所有權、質權又ハ抵當權ヲ有スル
者ハ判決又ハ確定日附アル證書ニ依リテノミ其ノ權利ヲ主張スルコト
ヲ得

第十五條 前項ノ規定ニ依リテ權利ヲ主張セムトスル者ハ其ノ旨ヲ宮内大臣ニ申出
ツヘシ
ノ特權ニ屬ス

第十六條 世襲財產ニ付地權又ハ地役權ヲ設定又ハ變更セムトスル
トキハ宮内大臣ノ認可ヲ受クルコトヲ要ス

第十四條 世襲財產又ハ其ノ法定果實ヲ收取スル權利ハ之ヲ讓渡シ又ハ質
權若ハ抵當權ノ目的ト爲スコトヲ得ス株券カ世襲財產タル場合ニ於テ利
益又ハ利息ノ配當ヲ受クル權利ニ付亦同シ

第十七條 土地カ世襲財產タル場合ニ於テ

世襲財產ニ付地上權ト永小作權又ハ地役權ヲ設定又ハ變更セムトスル
トキハ宮内大臣ノ認可ヲ受クルコトヲ要ス

第十八條 世襲財產ノ管理ニ因リテ生シタル權
○及第十六條ニ掲タル權利ハ世襲財產ノ管理ニ因リテ生シタル權

第十九條 世襲財產ハ民事上ノ強制執行ノ目的ヲ以テ之ヲ差押ヘ又ハ一
般ノ先取特權ニ基キ之ヲ競賣スルコトヲ得ス

世襲財產ノ果實又ハ前條第一項ノ利益若ハ利息ニシテ他ノ財產ト混合セ
サルモノ亦前項ニ同シ

○間其ノ三分ノ二付
前二項ノ規定ハ世襲財產ノ效力ヲ第三者ニ對抗スルコトヲ得ルニ至リタ
ル日前ニ爲シタル假差押ニ基キ差押ヲ爲シ又ハ一般ノ先取特權ニ基キ著
手シタル競賣ヲ續行スルコトヲ妨ケス

第十六條 世襲財產タル不動產ノ管理ニ付テハ豫メ其ノ方法ヲ定メ宮内大
臣ノ承認ヲ受クヘシ

第十七條 世襲財產ハ確實有利ナル世襲財產ニ換フル爲又ハ已ムコトヲ得
サル事由アルトキ
○及第十九條第二項第一項ノ場合ニ
スルコトヲ得

世襲財產ハ他ノ世襲財產ニ換フル爲其ノ全部又ハ一部ヲ廢止
サル事由アル場合ニ限リ宮内大臣ノ認可ヲ受ケ其ノ全部又ハ一部ヲ廢止
用ス

第二十條 宮内大臣ハ世襲財產ノ廢止ヲ認可スヘキヤ否ヤニ付華族世襲財產審議會ニ諮詢スヘシ
第二十一條 第十九條第二項第一項ノ場合ニ
第十八條 前條ノ規定ニ依リ確實有利ナル世襲財產ニ換フル爲世襲財產ヲ
廢止シタル場合ニ於テハ廢止ノ認可ヲ受ケタル者又ハ其ノ相續人ハ
認可アリタル日ヨリ一年内ニ第五條ノ認可ノ申請ヲ爲スコトヲ要ス
前項ノ期間内ニ申請ヲ爲ササルトキハ宮内大臣ハ相當ノ期間ヲ定メ其ノ
申請ヲ爲スヘキ旨ヲ命スルコトヲ得

第三條ノ規定ハ前二項ノ規定ニ依リテ認可ノ申請ヲ爲スヘキ場合ニハ之ヲ適用セス此ノ場合ニ於テ申請ヲ爲スヘキ者カ未成年者又ハ禁治產者ナルトキハ其ノ法定代理人之ニ代リテ申請ヲ爲スコトヲ要ス

(二十二) 前條ノ規定ハ收用、滯納處分、償還、滅失。其ノ他ノ事由ニ因リ世襲財產ニ代リ其ノ所有者ニ歸シタル財產アル場合ニ之ヲ準用ス

第十九條 前條ノ規定ハ收用、滯納處分、償還、滅失。其ノ他ノ事由ニ因リ世襲財產ニ代リ其ノ所有者ニ歸シタル財產アル場合ニ之ヲ準用ス

前項ノ財產ニシテ他ノ財產ト混合セサルモノニ付テハ第十五條第一項ノ規定ヲ準用ス

第一項ノ場合ニ於テ宮内大臣ハ相當ノ事由アリト認ムルトキハ前條ノ第一項認可ノ申請ヲ免除スルコトヲ得

第二十條 前二條ノ場合ニ於テ宮内大臣ハ必要アリト認ムルトキハ管理人ヲ選任シ世襲財產タリシ財產又ハ前條ノ財產及其ノ財產ノ處分ニ因リテ得タル財產ヲ世襲財產ノ設定又ハ増加ノ認可アル迄他ノ財產ヨリ分離シテ管理スルコトヲ命スルコトヲ得果實又ハ配當ヲ受ケタル利益若ハ利息ニシテ其ノ財產ト混合シタルモノニ付亦同シ

前項ノ規定ニ依リテ管理スル財產ハ管理人ニ依ラシシテ之ヲ處分シ又ハ管理ニ因リテ生シタル權利ニ基カシテ民事上ノ強制執行若ハ競賣ヲ爲スコトヲ得ス

第一項ノ場合ニ於テ宮内大臣ハ管理人ヲ改任シ其ノ他財產ノ管理ニ付必要ナル命令ヲ爲スコトヲ得

(二十四) 管理人ノ選任アリタル場合ニ於テ本人、其ノ法定代理人又ハ保佐人カ世襲財產設定ノ認可ヲ申請セサルトキハ管理人ハ遲滯ナク管理財產ニ付其ノ申請ヲ爲スヘシ

(二十五) 管理財產ハ管理人ニ於テノミ之ヲ處分シ又ハ管理ニ因リテ生シタル權利若ハ不法行爲ニ因ル損害賠償ニ基キテノミ民事上ノ強制執行若ハ競賣ヲ爲スコトヲ得

第二十一條 前條第一項ノ規定ニ依リテ管理スル財產ノ果實ニ關シテハ第(十六) 第六條及第十八條第二項ノ規定ハ之ヲ

十四條第一項及第十五條ノ規定ヲ準用ス其ノ財產中株券アル場合ニ於テ利益又ハ利息ニ付亦同シ

第二十二條 有爵者爵ヲ失ヒ又ハ襲爵者ナキコト確定シタルトキハ世襲財產ハ其ノ效力ヲ失フ

(七) 失爵又ハ家督相續開始ノ時ヨリ

第二十三條 世襲財產ニ付第十二條第二項ノ申出アリタル後二月内ニ主張ニ係ル權利ヲ消滅セシメ又ハ主張ニ對シ訴ヲ提起セサルトキハ世襲財產アル場合ニ之ヲ準用ス

(八) 初ヨリ世襲財產タルハ其ノ效力ヲ失フ

前項ノ期間内ハ主張ニ係ル權利ニ基キテ競賣ヲ爲スコトヲ得ス

第二十八條

第二十條乃至第二十一條ノ規定ハ第一項ノ規定ニ依リテ世襲財產ノ效力ヲ失ヒタル財產アル場合ニ之ヲ準用ス

前項ノ財產ニ代リ其ノ所有者ニ歸シタル財產アル場合ニ於テハ第十九條ノ規定ヲ準用ス

第二十四條 世襲財產ノ廢止、失效其ノ他ノ異動アリタルトキハ宮内大臣ハ其ノ旨ヲ公告スヘシ第二十條又ハ前條第三項ノ規定ニ依リ財產ノ管理ヲ命シ又ハ管理人ヲ改任シタルトキ亦同シ

第七條第二項ノ規定ハ前項ノ公告ニ之ヲ準用ス

登録國債又ハ有價證券ニ付世襲財產ノ廢止又ハ失效アリタルトキハ第十

一條ノ登録又ハ記入ヲ抹消スヘシ

第二十五條 第二十條ノ規定ニ依リテ管理スル財產中登録國債アルトキハ國債登録簿ニ管理財產タル旨ヲ登録シ管理終了シタルトキハ其ノ登録ヲ抹消スルコトヲ要ス

(三十一) 第十一條第三項ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第二十六條 世襲財產ニ關スル公告、登記又ハ登錄ノ費用ハ其ノ名義人ノ負擔トス

第二十七條 宮内大臣ハ必要アリト認ムルトキハ當該官吏ヲシテ世襲財產

ノ検査ヲ爲サシムルコトヲ得

宮内大臣ハ世襲財産ノ管理ニ付必要ナル命令ヲ爲スコトヲ得

三十三

第二十八條 本法ノ施行ニ關スル規程ハ宮内大臣之ヲ定ム

附 則

從前ノ規定ニ依ル世襲財產及ヒ其ノ附屬物ハ本法ニ依ル世襲財產ト看做ス
本法施行ノ際從前ノ規定ニ依リ世襲財產ノ純收益ニ付他人ノ有スル權利ハ
本法施行後ト雖仍其ノ效力ヲ有ス本法施行前著手シタル差押又ハ假差押ニ
付亦同シ

不動產登記法○第百四條中「創設ヲ「設定期」ニ改メ同條ニ左ノ二項ヲ加ヘ同法
〔創定〕ヲ「設定」ニ改ム」第百四十三條中「解除ヲ認可シタルトキ」ヲ「廢止又ハ失效ア
リタルトキ」ニ改メ同法第百四條ニ左ノ二項ヲ加フ

○第百四條中「創設ヲ「設定期」ニ改メ同條ニ左ノ二項ヲ加ヘ同法
〔創定〕ヲ「設定」ニ改ム」第百四十三條中「解除ヲ認可シタルトキ」ヲ「廢止又ハ失效ア
リタルトキ」ニ改メ同法第百四條ニ左ノ二項ヲ加フ

華族世襲財產法第二十條ノ規定ニ依リ管理ヲ命シタル財產中不動產アル
トキハ當該官廳ハ遲滯ナク管理財產タル旨ノ登記ヲ登記所ニ嘱託シ管理終
了シタルトキハ其登記ノ抹消ヲ嘱託スルコトヲ要ス

前項ノ管理中取得シタル不動產ニ付テハ管理人ハ取得ノ登記ト共ニ管理財
產タル旨ノ登記ヲ申請シ管理終了シタルトキハ其登記ノ抹消ヲ申請スルコ
トヲ要ス

〔富井政章君演壇ニ登ル〕

○富井政章君 委員長徳川公爵ハ御不例アリマス故ニ私ヨリ特別委員會ノ
經過並ニ結果ヲ御報告イタシマス、私モ昨日ヨリヒドク風ヲ引イテ居リマス
ノデ、或ハ十分ニ御聽取ガ出來ナイカ知レマセヌ、此段豫メ御斷リ申上ゲテ
置キマス、本案ノ特別委員會ハ昨年ノ十二月ニ三回開カレマシテ、速記錄ニ
載テ居リマス通リ種々質問ガアリマシタ、政府ノ答辯ハ現行法ヲ根柢ヨリ改
正スル趣意デナクシテ、唯時勢ノ進運ニ合ハナイ不備ノ點ヲ改メタト云フコ
トデアリマス、ソレニ致シテモ現行法ノ全部ニ改正ガ及シテ居リマス、且ツ此
法案ハ民法其他ノ法律ト密接ノ關係ヲ有スルモノデアリマシテ、ナカニ込
入ツタ議案デアリマス、ソレ故ニ委員會ニ於キマシテハ六名ノ小委員ヲ置イテ
調査スルコトニナリマシタ、此小委員會ハ年末ヨリ度々開カレマシテ、及ブ
限リ慎重ニ審議ヲ盡サレマシタガ、終ニ第三回目ノ修正案ニ纏マリマシテ特
別委員會ニ報告スルコトナリマシタ、特別委員會ニ於キマシテハ更ニ少シ

バカリノ修正ヲ加ヘテ可決セラレタノデアリマス、委員會ノ修正案ハ政府提出案ノ全部ニ亘テ居リマスガ、比較的微細ナル點ハ總テ委員會ノ速記録ニ譲ルコトニ致シマシテ……

○議長(公爵徳川家達君) 成ルベク御退席ハ御見合セヲ請ヒマス

○富井政章君 専ラ重立タル修正ノ箇所ノミヲ申上ゲヤウト思ヒマス、先づ第一條ニ於キマシテ「有爵者ハ」ト云フ言葉ノ下ニ「其ノ家格ヲ維持スルニ必要ナル範圍内ニ於テ」ト云フ文字ヲ入レルコトト相成リマシタ、是ハ世襲財產ノ最高限度ヲ定メタイト云フ考デアリマシテ、其重モナ理由トスル所ハ家ヲ維持スルニ必要ナル程度ヲ超エテ過多ノ財產ヲ不融通物トナスト云フコトハ國民經濟ノ上ヨリ考ヘテ甚ダ宜シクナサイコトデアル、又債權者其他ノ者ニ損害ノ生ズル如キコトモ成ルベク防ギタイ、且ツ一旦設定シタル世襲財產ハ成ルベク後ニ至ツテ之ヲ廢止スルヤウナコトガ起ラナイヤウニシタイト云フ趣意デアリマス、サレバト申シテ一定額ノ收益ヲ生ズル財產ヲ限度トスル如キ數額ヲ以テ制限スルコトハ甚ダムヅカシイノデアル、本來家ニ依ツテ狀況ヲ異ニスルコトデアリマスル故ニ、斯ル方法ハ適當デナイト考ヘマシタ、又財產ノ半額トカ三分ノ一トカ云フヤウナコトニスルノモ同一理由ニ依ツテ宜シクナイト考ヘタノデアリマス、又斯ノ如ク數字ヲ標準ト致シマストキハ後ニ至ツテ其限度ヲ超エタ、イヤ超エナイト云フヤウナ問題ガ生ズルノモ宜シクナイ、ソレ故ニ甚ダ漠然デアリマスケレドモ右申上グルヤウナ抽象的標準ヲ取ルコトニ致シマシテ、其適用ハ主務大臣ノ認定ニ委ネルコトトナッタノデアリマス、次ニ提出案第三條ニ於キマシテハ未成年者其他ノ無能力者ハ世襲財產ノデ、或ハ十分ニ御聽取ガ出來ナイカ知レマセヌ、此段豫メ御断リ申上ゲテ置キマス、本案ノ特別委員會ハ昨年ノ十二月ニ三回開カレマシテ、速記錄ニ載テ居リマス通リ種々質問ガアリマシタ、政府ノ答辯ハ現行法ヲ根柢ヨリ改正スル趣意デナクシテ、唯時勢ノ進運ニ合ハナイ不備ノ點ヲ改メタト云フコトデアリマス、ソレニ致シテモ現行法ノ全部ニ改正ガ及シテ居リマス、且ツ此法案ハ民法其他ノ法律ト密接ノ關係ヲ有スルモノデアリマシテ、ナカニ込入ツタ議案デアリマス、ソレ故ニ委員會ニ於キマシテハ六名ノ小委員ヲ置イテ調査スルコトニナリマシタ、此小委員會ハ年末ヨリ度々開カレマシテ、及ブ限リ慎重ニ審議ヲ盡サレマシタガ、終ニ第三回目ノ修正案ニ纏マリマシテ特別委員會ニ報告スルコトナリマシタ、特別委員會ニ於キマシテハ更ニ少シダ譯ハ多クノ家ニハ親族以外ノ舊臣トカ云フヤウナ人ヲ加フル必要ガアラウ

ト考ヘタノデアリマス、又普通ノ親族會ハ裁判所ノ干涉ヲ要スルコトトナツテ居マス故ニ、斯ル場合ニハ適當デナイト考ヘマシテ、宮内大臣ノ定メニ依ルコト致シタノデアリマス、次ニ第九條ノ規定ヲ新設セラレマシタ、是ハ宮内大臣ノ諮問機關トシテ華族世襲財產審議會ト云フモノヲ置クコトニ致シマシタ、宮内大臣ガ世襲財產トナサムトスル財產ノ全部又ハ一部ニ付テ設定ヲ認可シ難イ理由アリト認メル場合ニハ、是ニ諮詢スペキコトナルノデアリマス、此修正ノ理由ハ、斯ノ如キ場合ニ於キマシテハ宮内大臣限リデ決スルト云フコトハ餘程困難デアラウト思ヒマス、ソレ故ニ斯ウ云フ機關ヲ置クコトニナツタラバ、宮内大臣ニ於テモ甚ダ解決ガシ易クアツテ、甚ダ適當ナ決定ヲ得ラレルコトデアラウト考ヘタノデアリマス、併シ總テノ場合ニ諮詢セネバナラヌトシテハ、實際必要ナキ場合ニマデ、一家ノ財產狀態ヲ多クノ人ニ示サナケレバナラヌコトトナリマシテ宜シクナイト考ヘマス、ソレ故ニ認可スベカラザル理由アリト認ムル場合ニ限ラレタノデアリマス、提出案第八條及第十三條乃至第十六條ニモ修正サレマシタ點ガアリマスケレドモ、重大デナイ事項ハ委員會ノ速記錄ヲ御覽ヲ願コトニ致シマシテ、質問ガアレバ御答イタスコトシテ、説明ヲ省略スルコトニ致シマス、唯第十五條ノ修正ニ付テ一言イタシタイト思ヒマス、是ハ世襲財產ノ差押ヲ禁ズル規定デアリマスガ、稍大キナ修正ガ二ツ加ハリマシタ、其一ツハ世襲財產ノ管理ニ因テ生ジタル權利ト不法行爲ニ因ル損害賠償ノ請求權ヲ行フ爲ニハ世襲財產ヲ差押フルコトヲ得ルト云フ除外例ヲ設ケラレタコトデアリマス、此修正ハ殆ド説明イタスマデモナク、世襲財產ノ管理費用ノ如キハ、世襲財產其物ニ關スル債務デアリマシテ、世襲財產ヲ以テ支辨スペキ性質ノモノデアル、不法行為ニ因ル損害ノ如キモ、假令世襲財產ニモセヨ、現ニ財產ヲ有シナガラ之ヲ現行法ニ依レバ其三分ノ一マデハ差押ヲ許シテアルニ、提出案ニ於テハ他ノ財產ト混同セザル間ハ一切差押フルコトヲ得ズトナツテ居マス、是ハ三分ノヲ超エタカ超エナイカト云フ見分ケガ付キニクイ、隨フテ煩ハシイ關係ノ生ズルコトヲ防ギタイト云フ理由デアリマシテ、一應尤モナルコトデハアルト思ヒマス、併ナガラ既ニ現行法ニ認メテアル權利ヲバ將來債權者ニ與ヘナイトスルコトハ、ドウモ穩當デナイト考ヘマシテ、修正案ノ如クニ改メタノデ

アリマス、即チ此點ハ殆ド現行法復活ニナルノデアリマス、次ニ提出案第七條、世襲財產廢止ノ規定デアリマスガ、此條文ニ改正ヲ加ヘラレタ重モナル點ハ、原案ニ依レバ世襲財產ヲ換ヘル場合ト、已ムコトヲ得ザル事由アル場合トヲ區別セズシテ、何レノ場合ニモ全部又ハ一部ヲ廢止スルコトヲ得トナツテ居マシタガ、如何ニモ法文ノ體裁トシテハ其方ガ宜シイノデアル、併シ此已ムヲ得ザル事由アル場合トシテハ、或ハ濫用ノ弊ヲ生ズル虞ガアリマス、即チ債權者ノ脅迫其他ノ事由ヨリシテ、舉ニ世襲財產ヲ無クシテシマフヤウナコトガ生ジナイトモ限りマセヌ、サレバト申シテ具體的ニ各箇ノ場合ヲ列記スルコトハ甚ダ困難デアリマス、ソレ故ニ此場合ハ一部ノ廢止ニ限リテ置イタ方ガ家ノ維持ヲ圖ル爲ニハ安全デアラウト考ヘタノデアリマス、ソレニシテモ全ク廢止ヲ許サザル現行法ニ比スレバ一大改正デアリマス、序ニムコトヲ得ザル事由アル場合ト云フ言葉ヲ改メマシテ、重大ナル事由アル場合トシタノハ、何程カ重ク聞エテ濫用ノ防ギトナルデアラウト云フ趣意デアリマス、此言葉ハ皇室財產令ニ於テ世傳御料ニ付テモ用ヒラレテアル言葉デアリマス、世襲財產ノ廢止ハ如何ナル場合ニ於テモ重大ナル事項デアリマス故ニ、是ハ必ズ世襲財產審議會ニ諮詢セネバナラヌコトト致シテ、第二十條ノ規定ヲ置クコトトナツタノデアリマス、提出案第十八條以下ニハ比較的些細ナ修正シカアリマセヌ、唯世襲財產ノ交換デス、世襲財產ヲ換ヘルコトデスナ、其他租稅ノ滯納處分ヨリシテ金錢ナドヲ保管スル爲ニ、一時管理人ヲ置クコトトナツテ居マスガ、委員會ノ修正案ニ於キマシテハ其管理人ノ權限ヲ擴張シテ世襲財產ヲ補充スル爲ノ申請手續マデモナスコトヲ得ルモノトナシタノデアリマス、即チ第二十四條ノ規定ガ新ニ加ヅタノデアリマスガ、是ハ管理ノ結束ヲ付ケル爲ニ必要ナ規定ト考ヘタノデアリマス、本案修正ノ要點ハ概略以上所述ベマシタ通リデアリマス、最初ニ申上ゲマシタ通リ此案ハナカムゾカシイ出入ツタ問題ガ澤山ニ含マレテ居リマスル故ニ、何卒諸君ニ於カレマシテモ十分ニ御審議アラムコトヲ希望イタシマス

○國務大臣(伯爵大隈重信君) 華族世襲財產法改正案ニ付キマシテ、委員會ヲ超エタカ超エナイカト云フ見分ケガ付キニクイ、隨フテ煩ハシイ關係ノ生ズルコトヲ防ギタイト云フ理由デアリマシテ、一應尤モナルコトデハアルト思ヒマス、併ナガラ既ニ現行法ニ認メテアル權利ヲバ將來債權者ニ與ヘナイトスルコトハ、ドウモ穩當デナイト考ヘマシテ、修正案ノ如クニ改メタノデ

○議長(公爵德川家達君) 諸君ニ於テ御異存ガゴザイマセヌケレバ採決ヲ致シマス、本案ノ第一讀會ヲ開クベシトスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵徳川家達君) 過半數ト認メマス

○男爵高木兼寛君 直チニ第二讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス、ドウ
ズ諸君ノ御贊成ヲ願ヒマス

○小野田元熙君 贊成

○男爵田健治郎君 贊成

○伯爵柳澤保恵君 贊成

○議長(公爵徳川家達君) 直チニ第二讀會ヲ開クト云フ高木男爵ノ動議ニ御
異存ハゴザイマセヌカ

「異議ナシ」ト呼フ者アリ

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 直チニ第二讀會ヲ開キマス、修正セラレマシタ箇
條ハ數多ゴザイマスガ、御異議ガナケレバ全部ヲ問題ニ供シマス

「異議ナシ」ト呼フ者アリ

○議長(公爵徳川家達君) 全部特別委員長ノ報告ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒ
マス

起立者 多數

○議長(公爵徳川家達君) 過半數ト認マス、是デ第二讀會ハ終リマシタ

○男爵高木兼寛君 直チニ第三讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス

○小野田元熙君 贊成

○議長(公爵徳川家達君) 直チニ第三讀會ヲ開イテ御異存ハゴザイマセヌカ

「異議ナシ」ト呼フ者アリ

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 直チニ第三讀會ヲ開キマス……第二讀會ノ決議通
リデ御異存ゴザイマセヌカ

「異議ナシ」ト呼フ者アリ

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 議事日程第七、砂糖消費稅法中改正法律案、政府
提出、衆議院送付、第一讀會ノ續、委員長報告

砂糖消費稅法中改正法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

大正五年二月八日

右特別委員長

伯爵 寺島誠一郎

貴族院議長公爵徳川家達殿
「伯爵寺島誠一郎君演壇ニ登ル」

○伯爵寺島誠一郎君 唯今議事ニ上リマシタ砂糖消費稅法中改正法律案ノ委
員會ニ於キマシテ、報告書ニゴザイマス通り決定イタシタ次第ヲ簡單ニ申上
ゲマス、今回ノ改正ノ要旨ヲ申シマスレバ第一、外國ニ輸出ヲ致シマスル所ノ

砂糖、糖蜜並ニ糖水ガ其目的ニ副ハズシテ内地ニ消費セラルル場合ニ對シマ
シテ消費稅ノ徵收ヲ保證イタシマスル爲ニ、當業者ヨリ擔保品ヲ提供セシメ
テアルノデアリマス、ソレガ現今行ハレテ居ル所ノ規定デゴザイマス、今般之
ヲ改正イタシマシテ此規定ヲ廢止スル次第デアリマス、併ナガラ除外例ヲ設
ケマシテ、原則ト致シマシテハ唯今申述ベマシタ通り是等輸出糖ニ對シテハ
擔保品ヲ取リマセヌコトニナリマス、ケレドモ除外例ト致シマシテ政府ガ殊
ニ必要ト認メマシタ場合ニハ矢張リ擔保品ヲ提供セシムルト云フ規定ヲ存シ

テ置クノデアリマス、其理由ハ何デアルカト申シマスルト、此砂糖消費稅法中
ニ此規定ガ設ケラレテ以來未ダ一回モ輸出サレタル所ノ砂糖ガ内地ニ消費セ
ラレテ、ソレガ爲ニ消費稅ヲ徵收セラレタ例ガ一遍モナインデアリマス、從
テ其消費稅徵收ノ爲ニ保證トシテ提供シテアツタ擔保品ニ手ヲ著ケラレタコト
ハナインデアリマス、即チ是ガ改正ノ理由デゴザイマス、併ナガラ萬一ノ場合
ヲ慮リマシテ除外例トシテ擔保品ヲ提供セシメル、即チ政府ガ必要ト認メタ
ル場合ニノミ擔保品ヲ提供セシムルト云フ箇條ヲ存シテ置クノデアリマス、
第二ノ點ハ糖蜜ガ市場ニ出マス際ニハ消費稅ヲ課セラルルノデアリマス、併
ナガラ其糖蜜ニ於キマシテ食物ニ不適當ナル製造方法ヲ受ケテ市場ニ出テ參
リマシタ糖蜜、食料トシテ用フベカラザル所ノ糖蜜ニ對シテモ今日デハ課稅
セラレテ居ルノデアリマス、消費稅ヲ課セラレルノデアリマス、併
不適當ナ事柄デアルカラシテ、此改正ノ際ニ糖蜜ノ課稅ハ食料トシテ不適當
ナルコトガ明カデアリ、不適當ノ點アルガ如キ製造ノ糖蜜ニハ消費稅ヲ課セ
ヌガ宜イ、此説明ト同時ニ理由ハ明白デアルト信ズルノデアリマス、第三ニ既

ニ消費稅ヲ課セラレテ居ル砂糖、課稅濟ノ精糖ヲ材料原料ト致シマシテ造リ上グマスル糖水、其糖水ニ消費稅ヲ課セラレテ居ルノデアリマス、即チ原料糖即チ材料ト致シマス所ノ精糖ニ一旦稅ガ掛ッテ居リマスノニ、再ビ製シ上ゲタ糖水ニ又課稅セラレテ居ル、是ハ一見不穩當ノ感ガアルノデゴザイマス、又聊カ二重ノ課稅ノ嫌ガアルノデアリマス、故ニ今般改正ニナリマシテ、是等糖水ニ對シテハ稅ヲ課セヌト云フコトニシタト云フコトニスルノデアルカラ、是ハルノデアル、併ナガラ實際稅務署ニ於キマシテ事實不可能ト確認イタシタト明カニ分ッテ居ルコトト存ジタ次第デアリマス、是等ノ三點ガ要點デアリマスケレドモ、是レ以外ニモ數多修正改正ノ點ガアルノデアリマス、是モ又レ等ハ重モニ字句ノ改正デゴザイマシテ、大シタモノデハナカッタノデゴザイマスカラ、茲ニ之ヲ指摘イタシマスコトハ省略イタシマス、委員會ハ唯今申述ベマシタ理由デ改正ヲ是認イタシマシテ、先キホド申上ゲマシタ通り、報告書告ニゴザイマスル通リ可決シマシタ次第デアリマス、サテ尙ホ此際ニ委員會ニ於キマシテゴザイマシタ質問竝ニ政府ノソレニ對スル所ノ答辯ノ中デ重モナル二三ノ點ヲ茲ニ申上ゲルコトハ、強チ不要デナイト存ジマスルカラ、聊カ御清聽ヲ煩ハシマス、ソレデ第一ノ御問ヒハ輸出糖ニ對シマシテ、即チ外國ニ輸出スル所ノ砂糖又ハ糖蜜或ハ糖水等ニ對シマシテ、六箇月以内ニ外國ニ陸揚ヲシタ著荷ヲシタト云フ其證明ガナケレバ課稅ヲスルト云フノガ現在ノ規定デアリマスルケレドモ、今日ニ於キマシテハ遠ク大洋ヲ隔テテ加奈陀マデ砂糖ヲ輸出セムトシテ居リマスル、又或ハ其他の遠隔ノ地ニモ砂糖ヲ輸出セムトシタ著荷ヲシタト云フコトナノデアリマス、保稅ヲ移スコトガ出來レバ非常ニ便利デアルガ、サウ云フヤウナ便法ハ政府ニ於テ取レルモノデアラウカ……此保稅ヲ移スト云フコトノ例ヘテ見マスレバ臺灣ヨリ砂糖ガアツタノデアリマス、之ニ對シテ、政府ハ矢張リ施行規則ノ方デ是非解除シテヤル方法ヲ取ル積リデアルト云フ御答デアツタノデアリマス、其次ニゴザリマシタ所ノ問題ハ保稅ヲ移スト云フコトナノデアリマス、保稅ヲ移スコトガ出來レバ非常ニ便利デアルガ、サウ云フヤウナ便法ハ政府ニ於テ取レルモノデアラウカ……此保稅ヲ移スト云フコトノ例ヘテ見マスレバ臺灣ヨリ砂糖ヲ内地ニ移入イタシマスルノニハ、下關ニ著キマシタ砂糖ヲ、或ハ取引上ノ都合デアルトカ、其他ノ便宜ノ爲ニ、之ヲ神戸ニ移ストカ、又ハ青森ニ持ツテ行クトカ云フコトガアル場合ヲ想像イタシマシテ、其シテ居ル際デアリマスカラ、此規定ヲ實行イタシマスルニ、或ハ六箇月以内ニ陸揚證書著荷證書ト云フモノガ届イテ來ナイ場合ガアルデアラウ、ソレデ或ハ輸出セムトシテ居リマスル、又或ハ其他の遠隔ノ地ニモ砂糖ヲ輸出セムトシタ著荷ヲシタト云フコトナノデアリマス、保稅ヲ移スコトガ出來テ、横濱ヘトシテハ甚ダ不便ヲ感ズルノデアルカラ、此保稅ヲ移スコトガ出來テ、横濱ヘトシテ來タ場合ニハ横濱デ拂フ、青森ヘ持ツテ行 CCTA場合ニハ青森デ拂フ、ソレガ許サレルト云フ便利ナ方法ハ出來ヌモノカト云フ御尋デアリマシタ、之ニウ云フ不便ガアツタナラバ政府ハ如何ニ處置シテ其調節ヲ圖ル積リデアルカ、ソレガ伺ヒタイト云フ御尋デアリマシタ、之ニ對シテハ政府ハ、ソレハ成ルホド質問サレタ如ク困難ナ事情モアルデアラウ、併ナガラ施行細則ノ方デ事實實際ニ已ムヲ得ズト認メタ場合ニ於キマシテハ陸揚證書ハ免ルシテヤルト云カラ、強チヒトイ差障リハナイト思フ、斯ウ云フコトデアリマシタ、其政府委員ノ説明ニ對シマシテ又委員ノ質問ノアリマシタノハ、サウナルト著荷證書ト云フモノニ重キヲ置カズシテ、寧ロ船積證書ト云フモノニ重キヲ置クヤウニナリハセヌカ、サウスルト又ソレニ伴フ不便又ハ弊害ガ起ツテ來ル

デアラウト思フガ、其點ハ如何ト云フ質問デアリマシタ、之ニ對シテハ、成ルホド原則トシテハドコマデモ著荷證書ニ重キヲ置ク、著荷證書ヲ提供セシムルノデアル、併ナガラ實際稅務署ニ於キマシテ事實不可能ト確認イタシタトキハ、之ヲ承認シテ之ヲ取ラヌデモ宜イト云フコトニスルノデアルカラ、是ハルノデアル、併ナガラ實際稅務署ニ於キマシテ事實不可能ト確認イタシタト事實政府ニ於テモ心配スルカラ、此點ニ付テハ事實不都合ナク運バレルデアラウ、斯ウ云フ御答デアツタノデアリマス、又其次ノ質問ハ此砂糖消費稅法中改正法律案ガ決定ニナリマス前ノ規定ニ從ヒマシテ既ニ提供シテ居リマスル所ノ擔保品ハドウスルノデアルカラ、此擔保品ハ解除シテソレ／＼當業者ニ戾スノデアルカ、其移リ換ル所ハ如何ナル方法ヲ取ルモノデアラウカト云フ御尋ガアツタノデアリマス、之ニ對シテ、政府ハ矢張リ施行規則ノ方デ是非解除シテヤル方法ヲ取ル積リデアルト云フ御答デアツタノデアリマス、其次ニゴザリマシタ所ノ問題ハ保稅ヲ移スト云フコトナノデアリマス、保稅ヲ移スコトガ出來レバ非常ニ便利デアルガ、サウ云フヤウナ便法ハ政府ニ於テ取レルモノデアラウカ……此保稅ヲ移スト云フコトノ例ヘテ見マスレバ臺灣ヨリ砂糖ヲ内地ニ移入イタシマスルノニハ、下關ニ著キマシタ砂糖ヲ、或ハ取引上ノ都合デアルトカ、其他ノ便宜ノ爲ニ、之ヲ神戸ニ移ストカ、又ハ青森ニ持ツテ行クトカ云フコトガアル場合ヲ想像イタシマシテ、其シテ居ル際デアリマスカラ、此規定ヲ實行イタシマスルニ、或ハ六箇月以内ニ陸揚證書著荷證書ト云フモノガ届イテ來ナイ場合ガアルデアラウ、ソレデ或ハ輸出セムトシテ居リマスル、又或ハ其他の遠隔ノ地ニモ砂糖ヲ輸出セムトシタ著荷ヲシタト云フコトナノデアリマス、保稅ヲ移スコトガ出來テ、横濱ヘトシテハ甚ダ不便ヲ感ズルノデアルカラ、此保稅ヲ移スコトガ出來テ、政府ト持ツテ來タ場合ニハ横濱デ拂フ、青森ヘ持ツテ行 CCTA場合ニハ青森デ拂フ、ソレガ許サレルト云フ便利ナ方法ハ出來ヌモノカト云フ御尋デアリマシタ、之ニ對シテ政府ハ、成ルホド取引上ニ於テ不便ヲ感ゼラルルコトデアレバ、政府トシテハ或ル制限ヲ設ケテナラバ、或ハソシモ出來ナイコトモナイカト考ヘテ居ルガ……ト云フ御答デアリマシタガ、到底今日ノ場合ハ之ヲ實行スルコトニナツテ居ラヌノデアルト云フ御答ニ止マツタノデアリマス、以上申上ゲマシタル通リデ、委員會ニ於テハ此案ハ全會一致ヲ以テ可決ニナリマシタ次第デアリマス、何卒本會ニ於キマシテモ諸公ノ御贊成ヲ得ムコトヲ希望イタシマス○議長（公爵徳川家達君）本案ノ第二讀會ヲ開クベシトスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス

- 議長(公爵徳川家達君) 過半數ト認メマス
- 伯爵寺島誠一郎君 直チニ第二讀會ヲ開カレムコトヲ勧議イタシマス
- 議長(公爵徳川家達君) 直チニト云フコトデスカ、直チニト云フ意味デス
カ
- 伯爵寺島誠一郎君 ハイ
- 伯爵柳澤保恵君 贊成
- 議長(公爵徳川家達君) 直チニ第二讀會ヲ開イテ御異存ゴザイマセヌカ
〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕
- 議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス
- 議長(公爵徳川家達君) 直チニ第二讀會ヲ開キマス、全部ヲ問題ニ供シマ
ス……全部原案通リデ御異存ゴザイマセヌカ
- 〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕
- 議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス
- 伯爵寺島誠一郎君 直チニ第三讀會ヲ開カレムコトヲ……
- 伯爵柳澤保恵君 贊成
- 議長(公爵徳川家達君) 直チニ本案ノ第三讀會ヲ開クコトニ御異存ゴザイ
マセヌカ
- 〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕
- 議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス
- 議長(公爵徳川家達君) 直チニ本案ノ第三讀會ヲ開クコトヲ……
- 伯爵寺島誠一郎君 直チニ第三讀會ヲ開カレムコトヲ……
- 議長(公爵徳川家達君) 直チニ本案ノ第三讀會ヲ開クコトニ御異存ゴザイ
マセヌカ
- 〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕
- 議長(公爵徳川家達君) 是ヨリ第三讀會ヲ開キマス、全部ヲ問題ニ供シマ
ス……第一讀會ノ決議通リデ御異存ゴザイマセヌカ
- 〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕
- 議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス
- 議長(公爵徳川家達君) 是ヨリ第三讀會ヲ開キマス、全部ヲ問題ニ供シマ
ス……第一讀會ノ決議通リデ御異存ゴザイマセヌカ
- 〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕
- 議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス
- 議長(公爵徳川家達君) 議事日程第八、私立學校及公益法人ノ用地免租ニ
關スル法律案、衆議院提出、第一讀會、前會ノ續
- 〔議案ハ一五二頁ニ掲ケタルヲ以テ茲ニ之ヲ略ス〕
- 議長(公爵徳川家達君) 特別委員ノ氏名ヲ書記官ヲシテ朗讀イダサセマス
〔河井書記官朗讀〕

私立學校及公益法人ノ用地免租ニ關スル法律案特別委員

子爵稻垣太祥君 男爵山川健次郎君 折田彦市君
男爵神田乃武君 男爵肝付兼行君 伊澤修二君
江原素六君 石橋謹二君 木本源吉君

○議長(公爵徳川家達君) 議事日程第九、市制中改正法律案、衆議院提出、
第十、町村制中改正法律案、衆議院提出、第十一、府縣制中改正法律案、衆議
院提出、第一讀會

市制中改正法律案

右本院提出案及送付候也
大正五年二月八日

○議長(公爵徳川家達君) 議事日程第九、市制中改正法律案、衆議院提出、
第十、町村制中改正法律案、衆議院提出、第十一、府縣制中改正法律案、衆議
院提出、第一讀會

市制中改正法律案

右本院提出案及送付候也
大正五年二月八日

貴族院議長公爵徳川家達殿 衆議院議長島田三郎

町村制中改正法律案

市制中左ノ通改正ス
第十一條第二項中「禁錮以上ノ刑ノ宣告ヲ受ケタル」ヲ「禁錮以上ノ刑ニ處
セラレタル」ニ改ム

町村制中改正法律案

右本院提出案及送付候也
大正五年二月八日

衆議院議長島田三郎

貴族院議長公爵徳川家達殿

町村制中左ノ通改正ス
第九條第二項中「禁錮以上ノ刑ノ宣告ヲ受ケタル」ヲ「禁錮以上ノ刑ニ處セ
ラレタル」ニ改ム

府縣制中改正法律案
右本院提出案及送付候也
大正五年二月八日

衆議院議長島田三郎

貴族院議長公爵徳川家達殿

府縣制中改正法律案

府縣制中左ノ通改正ス

第三十七條第一項中「禁錮以上ノ刑ノ宣告ヲ受ケタル者」ヲ「禁錮以上ノ刑ニ處セラレタル者」ニ改ム

○議長（公爵徳川家達君） 諸君ニ御諮詢シマスガ、唯今議長ノ議題ト致シマシタ三案ハ、議事日程第五ノ北海道會法中改正法律案ノ特別委員ニ付託シテ御異議ゴザイマセヌカ

「異議ナシ」ト呼フ者アリ

○議長（公爵徳川家達君） 御異議ナイト認メマス、是デ本日ノ會議ハ終リマシタ、次ノ議事日程ハ決定次第御通知ニ及ビマス、本日ハ是デ散會イタシマス、

午後五時四十九分散會